滿洲日報
九月二十六日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

關東軍の通告に應じ 方振武軍懷柔を撤退 協定線上の順義に移動

【新京特電】北平乘つ取りに乘出した方振武軍は本月二十日懷柔に入城後、關東軍の期限附き撤退要求に一時は强硬態度を示したが、二十四日午後に至り遂次全軍を順義方面に移動を開始し、二十五日朝には懷柔城內には既に一兵をも殘留せしめてゐないことが判明した、關東軍の要求に對し恐れをなした方振武軍の移動した順義は不戰協定線上にあり同軍の今後の行動に對し關東軍では極力監視の眼を放つてゐる

南下せる方振武軍 何軍と衝突の危機迫る

【新京二十六日發國通】關東軍の撤退要求に對し懷柔に在つた方振武軍は不遜極まる回答文を二十四日我軍に寄せ大いに强がりを示して來たが、事實同軍の行動はその回答と裏り二十四日夜行動を起し順義(停戰協定線)方面に移動を開始せる模様で、二十五日朝懷柔の市街は全く同軍の姿を見ざる狀態となつた、同軍今後の行動は停戰協定線に沿ひ南下するものと觀測されてゐるが、既に順義附近には何應欽が待機の姿勢を執りつゝあり空氣頓に險惡化し兩軍の正面衝突は時期の問題とされてゐる

北平の人心 漸く動搖

【北平二十五日發國通】方振武問題の擴大と共に北平市當局は城內出入の通行人を一々檢査するなど嚴戒を極めてゐるが未だ何事もなく只謠言頻りと飛び人心漸く動搖の色が見えんとしてゐる

方振武等 反蔣通電

【北平特電二十五日發】方振武、吉鴻昌、湯玉麟、劉桂堂は各二十四日連名にて反蔣通電を發した

鐵道省新京辦事處

【東京二十五日發國通】鐵道省は上海辦事處を滿洲國內に移轉する事になつたが、事務所は恐らく新京におかるゝこととなる模様で駐在官には少壯書記官を派する筈である

5・15事件

民間側被告を裁く 劃期的大公判開く けふ東京地方法廷で

【東京廿六日發國通】民間側被告法學博士大川周明(四八)愛鄕塾々長橘孝三郎(四一)天行會長頭山秀三(二七)紫山塾頭本間憲一郎(四四)氏等廿名に對する爆發物取締罰則違反、殺人及び殺人未遂、同幇助事件の第一回公判は二十六日午前九時二十五分より東京地方裁判所第一號法廷において刑事第七部神垣裁判長、八木田、長野兩陪席判事、木內、吉江兩檢事係り、堀田、成瀬、向井三書記、辯護人中川、岡田、鵜澤、古部博士以下秋山(高)平松、竹內、角岡、林、稻本、塚田、江橋、花井氏等合計六十八名立會の下に開廷された、起訴罪名は爆發物取締罰則違反、殺人等に問はれてゐるとはいへその內容は昭和維新の確立を目指した內亂罪に相當するもので、司法裁判所としても劃期的大公判であり、審理は異常なる緊張裡に開始された

被告の氏名と罪名

▲爆發物取締罰則違反殺人及び殺人未遂
本籍 茨城縣水戶市上市馬口勞町二二〇八 住所 同縣東茨城郡常盤村三〇三九 愛鄕塾主 橘孝三郎(四一)
本籍 茨城縣那珂郡五臺村字東木ノ倉八一六 住所 愛鄕塾內 同塾教師 後藤圀彦(二三)
本籍 茨城縣東茨城郡常盤村三〇三九 住所 愛鄕塾內 橘の義弟 林正三(四一)
本籍 茨城縣久慈郡世矢村字小目一九八七 住所 愛鄕塾內 同塾々生 矢吹省吾(二二)
本籍 茨城縣東茨城郡上大野村字中大野一一九 住所 愛鄕塾內 同塾々生 横須賀喜久雄(二二)
本籍 茨城縣西茨城郡笠間町字桝形一三六二 住所 愛鄕塾內 同塾々生 塙五百枝(二二)
本籍 茨城縣那珂郡勝田村武田五三九 住所 愛鄕塾內 同塾々生 大貫明幹(二四)
本籍 茨城縣那珂郡大賀村岩崎三一九 住所 愛鄕塾內 同塾々生 小室力也(二二)
本籍 茨城縣西茨城郡笠間町一一〇九 住所 愛鄕塾內 同塾々生 春田信義(二七)
本籍 廣島縣安藝郡音戶村字畑 住所 東京市中野區藥師町四五三 林方 明大生 奥田秀夫(二四)
本籍 鹿兒島縣出水郡出水町上鯖淵 住所 右同 上宮學校中途退學 池松武志(二四)
▲爆發物取締罰則違反及殺人
本籍 茨城縣鹿島郡沼前村字瀬掛一二三 住所 同縣水戶市上市柵町四ノ一八 商店員 高根澤與一(二三)
▲爆發物取締罰則違反及殺人幇助
本籍 愛知縣寶飯郡蒲郡町字神ノ鄕殿屋敷八 住所 愛鄕塾內 同塾々生 杉浦孝(二五)
▲爆發物取締罰則違反及殺人未遂教唆
本籍 茨城縣那珂郡湊町泉町八〇三 住所 同縣同郡神崎村本米崎綿引方 本米崎小學校訓導 堀川秀雄(二八)
本籍 茨城縣那珂郡湊町長崎四八 住所 右同 前渡小學校准訓導 照沼操(二四)
本籍 茨城縣那珂郡前渡村字前濱八三五 住所 右同 農 黑澤金吉(二六)
▲爆發物取締罰則違反及殺人未遂
本籍 茨城縣那珂郡前渡村字前濱九九 農 川崎長光(二三)
▲爆發物取締罰則違反及殺人幇助
本籍 山形縣飽海郡西荒瀬村字藤塚一二五 住所 東京市品川區上大崎町一三一 東亞經濟調査局理事長 法學博士 大川周明(四八)
本籍 東京市澁谷區常盤松町一二六 住所 同市杉並區阿佐ケ谷町二ノ六 天行會々長 頭山秀三(二七)
本籍 東京市日本橋區蠣殻町三ノ一 住所 茨城縣新治郡眞鍋町字眞鍋臺一三三二 紫山塾々頭 本間憲一郎(四四)

公訴事實概要

橘孝三郎 は昭和六年四月自警的農村勤勞學校愛鄕塾を設立し愛鄕主義のもとに農村子弟の啓蒙教育に努めて來たが、之れより先き國家革正の志に燃え同志獲得に努めてゐた井上日召、古內榮司等と相識り農村を救濟するためには非常手段によつて政黨財閥並びに特權階級を打倒するに如かずと思惟し海軍中尉古賀清志以下陸軍士官候補生十一名が決行した五・一五事件に參加するに至つたものである、而してその犯罪事實としては
一、昭和七年四月中旬より五月上旬迄の間に古賀中尉より行動資金合計千四百圓を受取り
二、同年五月六日黑岩少尉より手榴彈六個を受取り
義弟林正三、教師後藤圀彦と協議の上(イ)塾生矢吹省吾、横須賀喜久雄、塙五百枝、大貫明幹、小室力也、春田信義等をして東京近郊各變電所を襲撃せしめ(ロ)堀川秀雄、照沼操、黑澤金吉の三名を通じ川崎長光をして計畫を暴露の惧れある陸軍中尉西田税の暗殺を擔當せしめた
▲後藤圀彦 は右謀議に參畫した外昭和七年五月十三日古賀中尉より拳銃一挺を受取り林正三の手を通じて川崎長光に交付した
▲林正三 は橘の參謀として計畫に參與した
▲矢吹省吾 は五月十五日の夜變電所襲撃隊に參加し東電龜戶變電所のポンプ小屋に手榴彈を投擲した
▲横須賀喜久雄 は同じく東電鳩ケ谷變電所の屋外變壓器に手榴彈を投擲した
▲塙五百枝 は同じく東電田端變電所に投擲せんと企て未遂に終つた
▲大貫明幹 は同じく鬼怒電東京變電所に投擲した
▲小室力也 は同じく東電目白變電所に投擲せんとしたが未遂に終つた
▲春田信義 は變電所襲撃の謀議に參與し且つ東電田端、鳩ケ谷鬼怒電東京變電所の狀況視察並に同志間の聯絡に當つた
▲奥田秀夫 は古賀中尉より中村中尉の手を經て手榴彈二個を受取り三菱銀行構內に投擲した
▲池松武志 は古賀中尉の指揮する內府官邸襲撃隊に加はり同官邸に手榴彈を投擲した外警視廳にて拳銃を亂射し讀賣新聞記者高橋穰並びに同廳巡査長坂弘一に貫通銃創を負はしめた
▲高根澤與一 は大貫明幹の勸誘により同人と共に鬼怒電東京變電所に手榴彈を投擲した
▲杉浦孝 は橘、後藤、林等の命によつて
一、救濟水秀則、大貫明幹、矢吹省吾等に變電所襲撃に關する協議會に出席すべき旨指令を與へ
二、訴外宮本幸雄に同計畫を通知し
三、川崎長光の上京便宜を計つたりなどして事件決行を幇助した
▲堀川秀雄、照沼操、黑澤金吉 三名は橘、後藤、林等の勸誘によつて直接行動による國家革新に賛意を表し
一、右三名と共に事件決行の謀議に參與し
二、共謀の上川崎長光をして西田暗殺を引受けさした
▲川崎長光 は日蓮を信仰し堀川、照沼、黑澤等と共に護國堂に出入し井上日召、古內榮司等の國家革新理論に共鳴してゐたが、前記三名より同志の計畫を阻害する西田税を暗殺すべきことを說かれてその任務を引受け拳銃五發を浴びせかけたが未遂に終つた
大川周明 は神武會を組織し維新日本の建設を企圖してゐたが、古賀中尉より陸海軍民間同志の革新行動援助方を懇請されてこれを承諾し
一、七年四月三日古賀に對し拳銃五挺、實彈百二十五發、現金千圓を交付し
二、同月二十九日現金二千圓を交付し
三、五月十三日黑岩少尉の手を經て二千五百圓を交付して一味の行動を幇助した
頭山秀三 は東亞民族提携を目的とする天行會を創設してゐたが、昭和七年三月十三日頃古賀、中村兩中尉の訪問をうけて國家改造を目的とする直接行動に賛意を表し
一、本間憲一郎に右に要する拳銃の調達方を命じ
二、同年四月十七日古賀に對し拳銃三挺及び實彈五十發を交付して行動を援助した
本間憲一郎 は頭山秀三から說かれて國家革新に贊成し
一、七年四月二十日紫山塾において古賀に對し拳銃一挺及び實彈二十五發を供與し
二、同月三十日土浦町東鄕館主染谷忠助の手を經て同じく古賀に對し拳銃一挺實彈七十五發を供與して決行を幇助したものである

"愛國の至情 天人共に泣かん" 深作辯護人の辯論

【東京二十六日發國通】五・一五事件民間側公判は九時二十五分開廷、神垣裁判長の取調に對し橘は低い聲で、大川は重い聲で、その他は元氣な若い聲で茨城辯丸出しで答へる、終つて木內檢事は豫審終結通り公訴事實を簡單に述べる公訴事實の陳述を終り審理開始に先立ち、鵜山辯護人より全國より集まつた激勵手紙を提出、深作辯護人は愛鄕塾の精神を稱揚し
愛國の至情天人共に泣かんと叫び
裁判長よ三千萬の農民の心を心として裁かれよ
と結んで着席、その他辯護人次ぎ次ぎに立ち歎願書を提出後裁判長より
大川周明、頭山秀三、本間憲一郎三名は分離し適當の時機において再び併合する
旨を宣し午前十時二十五分休憩、午後零時半再開

北支駐屯軍 交代部隊 天津に無事到着

【天津二十五日發國通】北支那駐屯軍新交代部隊は今朝塘沽に無事到着、直に上陸、山海關、唐山派遣部隊と天津駐屯部隊とに分れ各々午後二時塘沽發の特別列車で目的地へ向つた、中村駐屯軍司令官は午前九時四十五分東站發列車で幕僚を從へ塘沽において山海關派遣部隊(旭川)と唐山派遣部隊(久留米)とに對し訓示を與へるところがあつた、天津駐屯部隊(大阪)は中村司令官以下便乘のもとに午後三時東站着、威風堂々沿道居留邦人の歡迎裡に海光寺兵營に入つた

近く北上の宋子文 聯盟のライヒマン氏を同伴し 外交方面も援助期待

【東京二十六日發國通】二十五日陸軍省に達したる情報によれば宋子文は河北における財政情況を視察のため本月末北上する事になりその際ライヒマン氏を伴ひ行政、財政に關する改革案を樹てしめ且つ外交方面に關しても或種の援助を期待し以つて歐米の聯絡に資せしむる豫定であると

聯盟を監視 佐藤大使急行

【東京二十六日發國通】目下壽府に開會中の聯盟理事會に對し帝國政府は去る三月二十七日の聯盟脫退に基き代表者を派遣せず政治的には全くの絶緣狀態となつてゐるが、今期聯盟理事會は對支技術協力委員會を任命せるを始めとして日支問題處理經過報告を求めんとして相當警戒を要するものあり、ベルギー大使館參事官横山正幸氏を特派し、聯盟の動靜を監視せしめることとなつたが今回更に一般軍縮會議帝國全權佐藤駐白大使を壽府に急行せしむるに決し同大使は二十四日ブラッセル出發二十六日中に壽府到着の筈であるが、大使は側面的監視の任に當る筈である

その後の熱河(4) 山口特派員撮影 島田特派員記

日語學校魁星閣
◇…承德の東方八十キロ、灤河の上流を渡り、瀑河を渡ると、大寶山の麓に平泉の街がある。
◇…平泉は蒙古街道の十字路に當り、北は赤峰、南は天津、東は朝陽に通ずる要衝で、熱河經濟の中心であつたが聖戰前までは軍閥の壓制に疲弊の底にあつた。
◇…現在では市街に五色旗飜へり、人口も四萬を超え、對蒙貿易も頗る隆盛に赴きつゝある狀態で熱河の富豪は皆此處に集まつてゐる。

航空事業と電氣統制に努力 遞信局明年度豫算

藤井遞信局長並に加藤航空官は東亞の新情勢に鑑み關東州における航空事業發展の重要性を痛感してゐたが、偶々電信電話事業を電信電話會社に委讓したので今後特に航空事業と電氣統制に力を注ぐことになり、明年度航空關係事業において航空無線電信電話局新設費九萬二千圓、飛行場設備補足費約十五萬圓を計上し、その他航空事務增加による人件費增額を要求し目下關東廳當局において查定中のところ、これら豫算の可及的承認は關東州をわが極東航空網の根據地にすべしとの意見が有力に行はれる折から好望視される

市政記念日 十年勤續者表彰

十月一日は大連市の施政記念日に當るので市役所では十年勤續者の表彰式を行ひ民政署長官め市政關係者を招待し祝宴を張る筈である

滿鐵北支情報 係員發令

滿鐵では北支方面の新狀勢に適應するため北支一帶に完全な情報網を張ることゝなり、總務部で準備を進めてゐたが、その第一着手として濟南天津兩地に情報關係者を駐在せしめることに決定、二十六日附社報で左の辭令を發表した
奉天地方事務所涉外係長 事務員 河野通一 北平事務所濟南駐在を命ず
吉林事務所事務員 新田亮 北平事務所天津在勤を命ず

鐵道部新社員 學校出は採らず

鐵道省から滿鐵に採用する鐵道省員希望者の顏ぶれは大體揃つたので、これの最後決定をなすため總務部土肥人事課長は二十七日旅客機で上京するに際し語る
大體揃つたので上京することになつた、今度の採用人員は五、六百名であるが、學校出のものは採らない積りで現場で鍛へた實力のあるものを連れてくる積りだ、來月十五日ごろには歸連する

林總裁歸任期

【東京二十六日發國通】上京中の林滿鐵總裁は滿鐵增資後における新規事業其他對滿投資事業等に關する東京支社並に政府當局との打合せ此程終了したので一日午後一時東京驛發朝鮮經由歸任することゝなつた

德川公使着奉

【奉天電話】德川家正加奈陀公使は滿洲の實狀と北支一帶の狀況を視察のため二十五日午後二時十分の安奉線で蜂谷總領事、栗野所長中野副領事その他の出迎へ裡に着奉した

實業學校修了式

大連市立實業學校では三十日午後七時より同校本校修料第十九回修了證書授與式を擧行する

うらる丸

二十七日午前十時二十分大連港外着豫定

人事

▲金子文作氏(日本アルミ製造所顧問)二十六日入港あめりか丸にて來連
▲藪重雄氏(同專務)同上
▲寺岡洪斗氏(外務書記官)外二名 同上
▲岸田正記氏(幾久屋デパート主代議士)同上
▲靜岡縣參事會員一行十名 二十六日午前十時出帆ばいかる丸にて離連
▲廣島縣尾道商業一行五四名同上
▲姫路師範旅行團一行七九名同上
▲金井章次氏(奉天省總務廳長)二十六日午前八時着列車にて來連ヤマトホテル投宿
▲三浦計氏(大日本製糖株式會社取締役)同上遼東ホテル投宿
▲讃井源輔氏(朝鮮銀行支店課長)同午前九時發はとにて北行
▲志波信孝氏(兵站司令官步兵少佐)同上
▲高崎秀夫氏(線區司令部砲兵少佐)同上
▲黑瀨積穩氏(航空兵少佐)同上
▲御影池辰雄氏(大連民政署長)關東廳に公用のため二十六日旅大往復

蛇角

◇探偵小說を地で行く兒玉博士邸の怪殺人事件。
◇登場人物は美貌の人妻、美男の會社員及び船員、それに音樂家、世界的の醫學博士等々。
◇役者は揃つて居るし、舞臺は國際都市大連から尾道へ京都へ。
◇三角關係、四角關係、或はそれ以上の多角關係さへも。
◇懊悩に狂ふ人々、秘められた謎々、何ぞ事件の複雜多岐なる。
◇色テープの亂れて飛ぶや海の秋

東天紅 (210)

田中純 / 林一三畫

モンナ・ヴンナ(六)

その翌朝、晶子は、松波を玄關に送り出すと、大急ぎで身裝を整へて、鎌倉に出向いて行つた。
丁度、文子も、良人を東京に送り出したばかりだつたので、彼等はすぐ、二階の居間で、二人きり座につくと、晶子はすぐにさう報告した。
「昨日のあの話、どうにか都合よく運びさうだわよ」
「あら、さう。ぢやア、松波さんお金を貸して下さるとおつしやるの？」
文子の顏には、忽ち、嬉びと希望の色が輝いて來た。
「いえ、まだ、さうはつきりした返事もしないのですけれど、兎に角、一度、あなたにお目にかゝつてからのことにしたいと言つてるの」
「ああ、さう。それで、私たちの今の立場を、あなたよく說明して下すつた？」
「ええ、ちよつと說明しては置いたけど、別に詳しくは話さなかつたわ。だつて、あの人、忘れつぽい老人だから、詳しいことを話したつて無駄なんですもの」
「それでは、私に會つて見て、話しによつては貸さうとおつしやるの？」
「さうなの。だから、あなた自身、あの人に會つて、詳しくお話しになると好いんだわ。あなたがどんなに困つてゐらつしやるか、その點だけは、わたしよく話して置いたから、大槪大丈夫だと思ふの」
「ああ、さう。それで私も安心したわ。あなたには、どんなにお禮を言つても足りないわね」
文子が言ふと、晶子は、頸を振つて、
「いいえ、まだお禮を言はれるには早いわよ。問題は、あなたとの會見の結果で決定するんだから」
「だけど、わたし、お目にかゝつてから、どんな風にお話しすれば好いのか知ら」
文子は、ちよつと心配さうに言つた。
「さうねえ」と、晶子は考へるやうにして、
「それは、無論、あなたの方の事情を詳しくお話しになる方が好いけれど、それよりも、あなたの態度の問題だわね。あんな金持ちの老人なぞ、理窟よりは氣持で財布の口をあけるんだから、その氣持を動かすやうにお話しになれば好いのよ。つまり、出來るだけ哀れつぽく、而も、それでゐて色つぽく話しこめば、必ずあなたのいふことを聞いて呉れるわよ」
「まア、色つぽくなんて……」
と、文子は顏を赧らめて、「私にはそんな器用な藝當は出來さうにないわよ」
「大丈夫よ。あなたなんぞ、かうしてゐらしたつて、色つぽいんだもの。だから、ただ、餘り堅くならないで、馬鹿な老人を對手にして居る氣で、少し陽氣にお話しになれば好いのよ。あんな老人なんて、若い女の云ふことならば、何でも聞きたがつてゐるのだから」
「まア隨分むつかしさうだわね」
と、文子は微笑を浮べて云つた。
「ちつともむつかしくはないわよ。わたしなんぞ、何時でも、その手で、指輪だの何だの買はせてやるんですもの」
「まア」
文子はさう言つて、晶子の手に目を落した。そこには、文子さへ、これまで滅多に見たこともないやうな大きなダイヤが、幾つも幾つも、その白いほつそりした指の上に、ぎらりと青白い光りを放つてゐた。

兒玉博士邸殺人事件

中薗と同船歸國した夫人は何處に?

自殺、他殺、生存說を續つて 舞臺は內地へ轉換

市民の目と耳を獵奇的なるつぼの中に投げ込んだ兒玉醫學博士邸における怪殺人事件は捜査第二日目の二十六日に至りさらに大きいクロスワードの輪を投げて怪奇の謎はいよ〳〵探偵小說的な興味を添へて來た、卽ち事件解決の重要な鍵を握る博士夫人が直接下手人と見られる中薗秀雄と共に手を携へて同船歸國した事實が確定となつたと同時に、博士夫人らしき死體が廣島縣尾道に現れたといふ情報が同地警察署から沙河口署に達し、これに續いて夫人は中薗の兇手にかゝつたものではないかとの推理が連想され、沙河口署の捜査本部では目下旺んに尾道警察署と電報を交換し眞相把握に懸命となつてゐる、一方生存說を決定づける有力な資料としては別項の如く男女は京都市內に潛伏してゐるとの情報に基き捜査本部では男女取押へ方を京都府警察部に打電してをり當局ではこの方面を眞相に近きものと見て、事件の解決を急いでをり夫人をめぐる自殺、他殺、生存の三說はさらに大きい疑問符の波紋を描いて獵奇の舞臺は日本にまで展開された

同時に京都、尾道を始め內地各地に電報手配して中薗を始め兒玉夫人の處在捜査に當る等沙河口署は全く緊張し切つた空氣につゝまれてゐる

夫人らしい死體を尾ノ道で發見

中薗の手で殺したか

犯罪事件發覺と同時に沙河口署捜査本部では博士夫人と犯人中薗が內地に逃亡したとの見込みを立て殊に夫人は流產後の衰弱で何れかの地に保養するものとの推定の下に內地溫泉地には洩れなく用意周到な手配が施されてゐたが、二十六日朝に至り廣島縣尾道警察署から夫人らしき死體が當地において發見された

この公電に接したので俄然色めき立ち折返し尾道署宛に人相、風體、所持品等に關する詳細なる調査返電方を依賴したがこの事實により疑問は更に疑問を生み捜査本部でもこの解決に頗る頭を惱ましてゐる

卽ち夫人勝美と中薗は兇行後の九日目の十三日うすりい丸で三等船客に紛れ込み內地へ逃避行してゐる事實があり夫人は流產後の身體養生の爲め尾道に下車こゝで中薗の手にかゝり殺されたものではないかと見られる點であるがこの重大な謎は尾道署の返電を待つて解決するであらう

兒玉博士は懲罰か

滿鐵の取扱

依願免になつた兒玉博士と殺された青柳用度課員を滿鐵は如何に取扱ふか——兒玉博士は二十二日に辭表を提出し當時は事件は全然知られてなかつたので滿鐵でもこれを聽許し二三日中に退職手當を支給する筈だつたが、休日が二日續いたゝめ偶然二十五日の事件發覺日まで支給されて居なかつた、故にたとひ博士が無罪であつても家庭納まらず社員の體面を汚した點において懲罰は免れまいと見られてゐる、更に青柳用度課員は若し瀆職の事實があれば當然懲戒免職となるべく青柳家では一家の柱を奪はれた上に退職手當も貰へぬか極端に減らされるといふ窮境に立つわけで最も同情されて居る

有力な潛伏說

京都市上京區塔ノ段町に 府刑事課へ手配

犯人中薗は何處に潛んでゐるのか?兒玉博士夫人勝美は何處に居るのか、最も有力な說として勝美夫人は中薗と共に大連を逃れ、途中尾道に立寄つたが、同地に於いて夫人が發病したためしばらく滯在し、全治を待つて京都に赴き、上京區塔ノ段櫻ノ木町三三高須合資會社々員高須三雄方に潛伏、初秋の京洛の地に葛藤に疲れきつた魂を休めてゐるとの情報が最も確實性を有して居り、沙河口署では直に京都府警察部刑事課に宛て取押へ方依賴の電報を發し返電を鶴首してゐる、若し事實二人が京都に潛伏してゐるとするなれば遠からず犯人逮捕の運びとなる筈で怪奇極まりなき事件は更に怪奇を生み事件は惡魔の嘲笑にも似て不可解なる謎を限りなく投げつけて行く

沙河口署 大活動

參考人を召喚

徹宵犯人中薗の捜査に全力を擧げた沙河口署司法係では二十六日早朝より續々參考人を本署に連行、友人關係をたぐつた上、午前十時過市內各署の司法刑事を沙河口署司法刑事室に招集し、市內に於ける足取りを追つて大活動を開始し

陣痛がありて七ケ月で早死產

原產婦人科醫長語る

結婚後十年、子無き勝美夫人が本年一月姙娠した胤は夫博士のものでなく青柳のものか或は中薗のものと見られてゐるがこの謎の肉塊は本年七月三十一日午後一時三十分大連醫院に於いて姙娠七ケ月を以て早死產、つひに闇から闇へ消えて行つた、この疑問の出產を扱つた大連醫院產婦人科醫長原博士の談はこの問題にデリケートな暗示を與へるものとして興味あるものである

七月三十一日朝兒玉博士宅から夫人の陣痛があるから來てくれと電話があつたので當院から北村醫師が往診した、其の時は事實陣痛が來て居り夫人は前から產婆にかゝつてゐたが出產の陣痛が見えたから直ちに當日午前十一時入院さした、入院後痛みがとてもひどいので痛み止めの爲めパントポン注射を行つた、それから間もなく出產したが胎兒は既に死んでゐた、丁度姙娠七ケ月に當り早死產として診斷當院では出產上の疑問は全くなかつたのでそのまゝ濟ました、早死產は初期の姙娠には間々あるがこのほか姙娠中機械的激動を與へた場合起り得る、藥品の墮胎の疑問に對しては血液檢査をしてみたが陰性であり此點には疑はなかつた、そして又普通斯くの如き早死產をなした場合は夫から問合せがあるものだが私は博士とはその後一度も會はないから知らない

勝美夫人と中薗のうすりい丸乘船申込書

大阪商船株式會社大連支店 電話代表四一三七番

滿日婦人團が凱旋兵接待

正午から待合所で

昨日の第一次凱旋を送つてけふ二十六日は城島大佐麾下の野○兵○隊が第二次凱旋の日である春晴丸は九番バースに繫留され甲埠頭では早朝から砲及び軍馬の積込みに多忙を極めてゐる、昨日に引續いて埠頭待合所を利用した滿日婦人團の凱旋兵接待は正午の晝食時間を利用して開始したが、婦人團を始め各女學校同窓會有志會員の心からなる接待を以ておでん、まんぢう、うどん等を特に晝食として食べて貰つた、城島大佐を先頭に凱旋兵全員があの廣い待合所の椅子に腰かけ或は立つたまゝ戰塵に燒けた顏をほころばしながら心よく食べ非常な喜びを受けた

傷にガーゼを詰め縫ひ合せ施術

被害者青柳の死體解剖の結果 兒玉博士に新疑問符

世紀末的戀愛葛藤の末、はかなくもトランク詰となつて現れた青柳貢の死體は廿六日午前八時三十分より博愛醫院に於て解剖に附されることゝなり、午前七時半トランク詰のまゝ沙河口署より博愛醫院に運ばれた、柳製大トランクは堅く錠が下ろされてゐたゝめ係官と雖もその內の樣子を知り得ず、たゞ腐爛死體より流れ出る汚汁がトランクの外部にまでしみ出して來る有樣に腐爛程度の甚だしさを想像し得るのみであつたが、午前八時半、解剖室にて先づトランクの蓋が打わられ、死體が明るみに取り出された時には、流石物なれた醫員係官も顏をそむけざるを得なかつた、被害者は丸裸にせられ兩手兩足は折曲げられて太いロープでぐる〳〵卷に縛し上げられ油紙に包んだ上を蒲團包み用ズツク袋に入れられてゐたが大膽な犯人と雖も餘程あわてたものとみえ袋からは腐爛してふくれ上つた片脚がヌツと突き出てゐた、死體檢査の結果、外傷は頭部の眞中、咽喉上部、外九ケ所で致命傷は前から後につきぬけた咽喉上部の突き傷であつた、而も此等の傷は何れも傷口にガーゼを詰め、立派に縫ひ合せてあつたが、右施術は兒玉博士の手によつて行はれたものと推定されてゐる、解剖は午後零時卅分頃終了、死體は泣きくずれる老母に引渡されたが、右解剖の結果傷口の施術その他の點より兒玉博士の身邊を繞つて更に疑問符がつけ加へられることゝなつた、卽ち

一、博士は青柳殺害に當つて中薗と共犯關係にあり、施術は進んで行つたものである?

二、博士は中薗より脅迫され止むを得ず傷口を縫ひ合せたものであるか?

何れにせよ右二疑問の解決は兒玉博士を決定的位置におくことゝなる、疑問に續く疑問、謎に續く謎——青柳殺害事件は何處まで迷路を走つて行くのか?

金井博士來連

兒玉博士家の怪事件の報を聞いて慌てゝ廿六日はとにて來連した金井章次博士は直に滿鐵本社に出頭し土肥人事課長その他と密議を凝したが記者に語る

滿日の奉天支局から電話で知らしてくれたので驚いて汽車にかけつけて來連したわけである、あんな眞面目な男が犯罪に關係したとは思へない、たゞ極端な吃音で研究と論文執筆との他は一切に興味を感じない本當の學究だからこんな學者の家庭に起り易い悲劇であつたとはいはれても致し方はない

滿洲チフスの病原菌發見者

金井章次博士の談

【奉天電話】この事件の中心人物とされてゐる兒玉博士と數十年來の親交ありし現奉天省公署總務廳長金井章次博士は愕然として語る

夢のやうな感がする、自分と兒玉君とは鄕里を同じくし尚千葉醫專、北里研究所當時、滿鐵衞生研究所當時も永い間友交ある間柄だ、氏の兄は鄕里の縣會議員であり有數の資產家であるとともに北里研究所時代は寧ろ兒弟子として研鑽を共にして來たものであり、衞生研究所にも私が所長時代氏を招聘した位だ、從つて兒玉博士の性格は他の誰よりも知り盡してゐる、兒玉博士は至極人の好い方で稀に見る純然たる學者肌の人であり且つ世事の何物たるに關心を持たぬ寧ろ世間知らずの人であり研究一方の人である、醫學界の謎である滿洲チフスの病原菌を發見する等細菌學者としては東洋に重きをなす人で昨年の如きは榮譽ある淺川獎學資金をも贏ち得た人である、今回の事件に關係ある如きは氏の數十年來の性格を知り盡せる者としては何人も信じ得ないであらう、こんな事件に關係があるとは考へられもせず、おそらく何かの間違ひではなからうかと思ふ

なほ同夫人は

兒玉博士は溫厚な人であり奧さんは內面的にはよく知りませんが松本女學校出身で美人です

保險金詐欺の大芝居

羅津で急死したのは中本で遊興したのが坂上

【羅津特電二十五日發】奈良縣の素封家坂上富三郎が旅先羅津で急死し遺骨が突然鄕里へ送り屆けられた事件は十七萬五千圓の保險に二ケ月前加入した坂上富三郎が中本重太郎の死を早め恰も自己が死亡したる如く世間を欺き保險金を詐取せんとしたる近年稀な大芝居であることが鹽見布敎師、宮本醫師、曙旅館の證言で寸分も疑ふべからざる事實となつた

坂上は曙旅館で十日宮本醫師の診察を受ける時宮本醫師に向つて私は中本重太郎ですと述べた事實あり、同日宮本醫師が處方箋に中本重太郎と記載したるに拘らず藥を取りに來た自稱中本は患者は中本にあらず坂上だと申立てるため中本を削除し坂上富三郎と記載させた事實あり、死んだ坂上の人相につき宮本醫師と曙旅館主との談は一致して身長五尺五寸位中肉瘦せたる方、顏長く色淺黑く髮七三の左分け上髭少しあり、自稱中本の人相について宮本醫師、鹽見布敎師、曙旅館主は丈五尺四寸位顏丸く色白く髮角刈鼻太しと語り、坂上を火葬した十四日の晩から翌朝八時まで百圓札束を持ちながらもケチな遊び方をした自稱中本が遊興した藝妓梅千代(二一)の談話も同一であるのみならず、死んだ者としてその遺骨が送り屆けられた坂上の實弟長谷川淸次郎が「兄坂上富三郎の人相と十五日羅津より姿を消した自稱中本の人相は合致し死者は坂上でない」と語つてゐるなほ中本の死因は今後遺骨につき鑑定の結果毒殺なるか否かが判然するものと見られてゐる、一方赴任早々の羅津警察官駐在所長前田警部補は全署員を指揮し坂上の逮捕に努めてゐる

東京から開原へ

十二歲の少女が母を訪ねて

たつた十二の少女が遙々一人で滿洲に居る兩親の許へ二十六日入港のあめりか丸でやつて來た、東京市大森小學校五年生の槻見千代子(一二)さんは兩親と別れて親戚の家から學校に通つてゐたが、開原に居るお母さんが腎臟病だと聞き、たつた一人で東京から神戶へ、神戶からあめりか丸で大連にやつて來た、親切な水上署のお巡りさんから迎ひの鈴木政子さんに引繼され午前九時發の汽車でいそ〳〵と開原に向つた

北西の風 晴 二十七日

滿潮(午前二時五十五分 午後二時五十五分)

干潮(午前九時四十五分 午後九時十五分)

各地溫度(二十六日午前十一時)

大連 一六 奉天 一四

旅順 一八 新京 一二

營口 一六 新義州 一一

暴風警報 風強かるべし午前八時滿洲附近を警戒す

三角關係の新登場者

中薗と關係し結婚解消した ピアノ教師御旗三輪子

事件の裏に潛む疑問の女性——ピアノ教師佐藤こと御旗三輪子(三七)は有閑マダムに有勝ちな愉痴の世界を泳ぎ廻り博士夫人、中薗とをめぐつて三角關係を描いた結果、愛兒二人を犧牲に結婚解消までした倫亂な女だけに今度の殺人事件には何等かの關連あるものとの見込みの下に沙河口署では同女の行方を極力捜査してゐるが未だその住居を突き止めるに至らない

……◇……

三輪子は昨年七月頃市內藤町北野某方に間借りし中薗とのたゞれ切つた戀に醉ひしれてゐたがそれが博士夫人勝美の耳に入り、醜い三角戀愛のトラブルが持ち上つたことがある、當時三輪子の夫で某會社に勤務する御旗氏は妻の不貞を知る一方、兒玉博士に對し書面をもつて三角關係を知らせて注意を與へた事實がある、博士は既にその當時から夫人の行狀に對し總てを知つてゐたらしいが學究的な博士は研究に全精魂を打ち込んで夫人に對して放任主義を執つた結果、今日の如き重大結果を招く原因ともなつた

……◇……

其後御旗夫人は愛兒二人を棄てゝ結婚解消し沙河口當內田村元雄方に移り住み、相變らず中薗とのたゞれた戀を繼續してゐたもので博士邸における慘劇後、博士夫人と屢々會見し埠頭にまで見送つたといふ事實が判つた、三角關係の男を見送る——こゝにも有閑マダムらしき變質的な色彩を見せてゐるがこれ等の點より綜合し御旗夫人は事件に何等かの役割を勤めてゐるといふことがいよ〳〵決定的なものとなつた

……◇……

右につき御旗氏を某會社に訪れると

事實上結婚解消しましたが戶籍面では未だ私の妻です、妻の行狀に對しては私としては忍ぶべからざるところを忍んで來ましたがこれも二人の愛兒の爲めでした、中薗と沙河口で居た樣へ子供などを持ち出したこともあり遂に總てをあきらめて別れ今では精神的にも平穩となつてゐる時今度の問題が持ち上り再び私の氣持ちを搔き亂してゐます、妻の住居は私にも判りませんが早速正式離婚の手續きを執る考へです【寫眞は御旗三輪子】

抽籤券附特賣當籤番號										
			1483	2617	3652	4657	5571	6309	7607	8865
			1501	2632	3663	4679	5585	6327	7609	8905
			1506	2701	3675	4703	5586	6334	7622	8925
壹等	3075	431	1519	2712	3693	4704	5615	6344	7629	8926
3351	3174	476	1541	2725	3698	4745	5640	6357	7632	8933
3939	3321	482	1557	2767	3704	4751	5681	6398	7642	9005
5369	3823	536	1574	2794	3728	4762	5683	6400	7646	9008
—	4305	577	1614	2798	3733	4773	5693	6490	7648	9019
貳等	4330	610	1617	2815	3742	4776	5698	6513	7670	9049
788	4620	634	1621	2831	3769	4839	5710	6564	7679	9052
806	4766	596	1684	2864	3848	4847	5736	6610	7713	9054
1206	4795	707	1705	2894	3886	4872	5746	6639	7738	9105
1625	4828	738	1712	2899	3953	4886	5752	6641	7839	9147
3296	4986	837	1733	2902	3960	4913	5756	6681	7847	9157
6539	5676	855	1761	2934	3962	4923	5758	6683	7870	9165
—	5731	864	1780	2941	3981	4959	5759	6694	7877	9166
參等	6388	876	1787	2950	3996	4977	5763	6714	7884	9183
790	6423	877	1790	2961	4076	4979	5813	6759	7897	9191
1385	6467	888	1792	2969	4086	5010	5820	6762	7929	9234
2376	6501	904	1795	2994	4151	5051	5824	6872	8001	9247
2743	6642	934	1855	3001	4157	5072	5827	6886	8018	9257
3110	6765	932	1885	3069	4186	5119	5842	6917	8019	9306
3258	7040	981	1906	3085	4192	5122	5845	6922	8039	9325
4202	7467	995	1920	3145	4213	5158	5861	6924	8069	9366
4264	8219	997	1935	3199	4228	5176	5879	6934	8073	9371
6208	8332	1001	1968	3234	4233	5187	5891	6959	8074	9417
6712	[illegible]	1067	1991	3247	4252	5204	5941	6962	8116	9457
6937	9012	1073	2008	3303	4255	5213	5942	6974	8123	9465
7061	9314	1090	2010	3352	4272	5218	5956	6987	7200	9480
7149	9479	1125	2024	3359	4277	5219	5997	7045	8211	9485
8045	9508	1128	2055	3362	4316	5226	6003	7047	8260	9501
9662	9537	1139	2067	3385	4324	5309	6004	7068	8320	9582
—	9811	1152	2103	3442	4351	5324	6007	7086	8393	9628
四等	—	1189	2135	3444	4396	5325	6016	7176	8415	9644
275	五等	1199	2140	3449	4419	5326	6045	7184	8419	9663
331	7	1211	2182	3455	4422	5331	6056	7239	8476	9714
348	97	1235	2193	3457	4425	5344	6081	7282	8496	9784
848	115	1271	2257	3470	4427	5355	6106	7294	8407	9800
952	162	1274	2282	3485	4442	5371	6146	7295	8652	9805
1017	173	1317	2309	3488	4480	5375	6195	7314	8670	9827
1248	182	1320	2311	3496	4481	5392	6202	7319	8752	9839
1305	[illegible]	1322	2319	3521	4523	5405	6207	7347	8776	9846
1633	212	1329	2320	3547	4542	5409	6211	7384	8815	9869
1789	239	1345	2421	3552	4548	5411	6214	7390	8821	9890
1816	249	1410	2529	3565	4570	5452	6215	7394	8830	9891
2366	295	1430	2534	3591	4573	5468	6216	7409	8837	9971
2519	337	1462	2572	3612	4599	5505	6217	7434	8848	9989
2733	351	1465	2596	3620	4615	5509	6254	7447	8856	
3020	416	1477	2611	3642	4653	5511	6262	7466	8863	

善鬼惡鬼 (210)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

電　火（五）

「長吉どの、待たつしやい」と、吉兵衛は心配さうにとめた。

「その死骸に一仕事働かせるさいひなすつたが、下手な事をして、吉祥寺どのに、迷惑をかけるのではないかな」

「ははは、御心配にや及びませんツはありませんやれ」

長吉のする事ですもの、その邊に

膽がびつしやりしまつた。膽の外で死骸の始末をしてゐるらしかつたが、外から云つた。

「水門には舟が一艘つないでありまず。堀割を出れば大川だ。大川を向ふへ突つ切れば、千住の灯がちらちら見える。ははは、吉兵衛さん、長吉の目ろみはお判りになりましたかえ」

「判らないね」

「まア御安心なさいましよ。惡いやうにや計らひませんからね。では行つてまゐります」

死骸をかつぎ出すらしい物音、つゞいて水門の塀わりをぬけてゆく舟の音。

怖ろしいエレキの強藥をかけて二人を殺すまでは、周到な用意と沈着な氣持を持つてゐた樂齋だが目のあたりに、無殘な死骸を見ると、一時に氣ぬけがしたやうになつてゐた。

それでもはじめの中は興奮が止まないで、頻に獨り言を云ひつづけた。云ひつづける中に、だんだん氣ぬけがはげしくなつて、吉兵衛が死骸の始末をはじめた頃は、ぼうつとして了つたらしい。長吉と吉兵衛の打合せなどはまるきり知らなかつた樣子だつた。

「樂齋どの、御安心なさいまし、都合よく片付けておきましたからな」

さう云つて吉兵衛がふりむいた時、室内のけむりはすつかり晴れてゐた。而も、そこに樂齋の姿は見えなかつた。

「おや、樂齋さん、どこへ行きなすつた。樂齋どの、樂齋どの」

吉兵衛はびつくりした。

樂齋の怖ろしい獨り言をすつかり聽いたのは、長吉ひとりではなかつたらしい。お銀も五郎兵衛さへも、聽いたやうな長吉の口ぶりだ。

おはまと五郎兵衛との間を疑ひぬいてゐる樂齋、そうして、今、目前の無殘な死骸同樣、やがては五郎兵衛までも燒き殺されば承知しないやうな樂齋の高言。もしそれが五郎兵衛の耳に入つたとしたら、どうなるだらう、どんなことが起るだらう。

吉兵衛は身ぶるひして驚いた。

「樂齋どの、樂齋どの」

小聲でよびかけながら、座敷牢を出て、廊下へ、廊下づたひに離れの一間へとやつて來た。

眞暗がりを、吉兵衛の手にある雪洞がほんのりと照らした。

「樂齋どの」

雪洞で一應、離れを見まはすと堀割に向いた出窓の肱かけに、兩手を打ちかけ、兩手の上へ顔を伏せて、樂齋の瘠せてひよろ長い身體が、小さく固まつてゐる。

「どうしました、樂齋どの」

聲をかけてゆすぶつても、返事をしない。

「御安心なさい。あと始末は私がうまくやつて來ましたからな」

さう云つて、も一度、樂齋の肩を叩いた時、吉兵衛はアツと驚いた。樂齋の身體が燒けるやうな熱さだ。而もしつかりとしめつてゐる。おまけに、肩のあたりが、小きざみにゆれてゐる。

「やゝこれは大變だ。ひどい高熱です。樂齋どの、樂齋どの」

齒の根が、がくがくと動くばかりで、ものが云へないらしい。

「しつかりなさいまし。只今、手あてをいたします」

吉兵衛は、大急ぎで床をのべて抱くやうにして樂齋に枕をあてさせた。ありつたけの蒲團をかけ、なほその上に、いろいろなおもなかけたが、樂齋はがたがた震ひつゞけた。

「寒い、寒い、ウー苦しい」

呻りつゞけに呻つて、あとはこんこんと睡つた。

雁治郎の孫 銀幕へ

『初陣』に主演

關西劇壇の大御所中村雁治郎の愛孫で林長三郎の長男林敏夫（一九）が叔父に當る林長二郎の紹介で松竹京都に入社し銀幕界にスタート切る事になつた彼は明朗溌剌たる近代青年でその前途は非常に囑望されてゐる、第一回主演映畫は冬島泰三監督が原作脚色メガホン執る「初陣」と決定、之には特に林長二郎、阪東好太郎、高田浩吉、尾上榮五郎、阪東橘之助等が應援出演するもので白虎隊を描く悲壯篇である

うわさ話

映樂館は明日から文藝春秋に載つた「十二階下の少年達」と宮川美子のトーキー「笑ふ父」の再上映で短期興行をやつたあと▲十一月三日から野口博士の傳記を映畫化した「ナガナ」を上映するので全市の醫師及び各醫院の看護婦長招待の計畫をたてゝゐる▲中央映畫館は十一月二日から松竹蒲田のオールトーキー「頰を寄すれば」と柳さく子一行の實演を組むが▲近來珍しい吸引力を持つ強力として業界の注目を集めてゐるの兩館の特別興行に對立して日活館は前篇が受けた大谷日出夫の「曉野の涯」の後篇▲次週で上映するメリー・ピックフォードの「お轉婆キキ」は無聲のノータル主演で知られた名篇のトーキー化である

〃お轉婆キキ〃 アンドレ・ピカール原作の名喜劇のトーキー化で久振りでメリー・ピックフォードが主演してゐる イト映畫、相手俳優はレヂナルド・デニイ、監督はサム・テイラー【常盤館次週上映】

シムラ會商第一日

先づ我方より提案

會議は圓卓で自由討議

【シムラ二十五日發國通】日印會商は愈々廿五日午前十時より立法議事堂で第一次正式交渉が開始された、ボア商務長官は遂に缺席したが、日本代表首席澤田代表以下各代表並にインド側代表全部出席し、茲に日印間の重大會議の幕は切つて落された、會議劈頭日本側より或る種の提案が提出され、これに對しインド側では愼重審議の必要あるため明日は會議を行はず内容を檢討し、二十七日より再開したしとの提議あり、日本側はこれを承認して本日の會議を終了した、尚ほ本日の會議で今回會議の形式が議せられたが、結局圓卓會議とし、日印兩國代表間で形式張らずに自由に問題を論議することに決定した、シムラ會商におけるインド側の態度はもつとも懸念されて居たところだが、會議第一日の會議より押して相當强硬な樣だ、政廳としては之れに卽答するを得ず、日本の眞正面からの堂々たる戰法に當惑した模樣だ、右に關聯してボア長官の病氣缺席も之れを恐れて政策的に行はれたものではないかとの觀測も行はれてる

澤田代表から差別待遇を抗議

現行條約存續を希望

【シムラ二十五日發國通】本日の日印會商で劈頭澤田代表はインドの日本に對する差別待遇に遺憾の意を表し曩に廢棄を通告された日印通商條約をその儘存續せられん事を希望する旨を述べた、これに對しノイス代表は差別待遇は余も遺憾に思ふ處だ今日はボア長官が缺席のためこれ以上言ふ事が出來ぬのは殘念だが貴下の御意思は充分ボア長官に傳へて置くと答へた後ボア長官の病氣其の他の雜談に入り僅か二十分で散會した

印度側足並亂れ輿論も不統一

日本は官民代表共結束

【シムラ二十六日發國通】シムラ會商に對する日本側政策は先づ暫定協定に依り十月十日以後印度と無條約關係となる憂ひをなくしておき、しかる後新條約締結の折衝を行はんとするものだが、この暫定協定の締結は印度に外交權が與へられてゐないので諸種の困難を伴ひ、印度には從前から外交自主を要求する聲が相當强く、この機會に完全な外交權を獲得せんと策動するものもあつて、印度政廳はこれを抑壓するに努めんとしてをり、更に印度側では棉花商と貿易業者との間に利害一致せず更に又英本國のランカシアと印度紡績業者の利害も相反するので印度側の輿論は不統一複雜を極め、足並亂れてゐる、これに反し日本側は一致團結政府民間兩代表ともしつくり手を握り合つてゐるがこの點非常に强味である

堂々の戰法に印度側當惑

【シムラ二十五日發國通】本日の日印會商内容は二十七日の會議を終る迄雙方より一切發表しないやうインド側より申出があつた爲め、コムミユニケの發表もなかつた、印度側の眞意不明だが本日の會議でインドはもつとも痛い點を突かれたのでその發表をよろこばぬ爲めと觀られる、仄聞するに日本側は或種の修正を附して現行條約の存續を要求したが、之れはインドの自主權に關する事でインド

北鮮海港の大連對抗は至難

呑吐力と運賃の關係で

【奉天二十五日發國通】京圖線の全通と相俟ち北滿新線に依る羅津、雄基、清津各港の距離短縮し北滿特産物の輸出は一般的に期待されてゐるが、運賃問題で大連港、北鮮港との折合つかず滿鐵において北滿特産の中心地、克山、雄基間と克山、大連間の運賃をほゞ同一價格にすべく傳へられてゐるがこれにしても一年後の北鮮各港による呑吐力は大連に比し雲泥の相違で、大連現在約九百萬トンに對し清津、雄基兩港合せて約百二十萬トンで、尤も

羅津 は未だ計數に上げ得ないが、非常な相違を示してゐる右に關し九月十一日清津方面を視察せるハルビン特産商の報告によればハルビンを中心とせる特産年額大豆、豆粕、百五十萬噸は北鮮各港に振り向けられる豫想となつてゐるが、右數量は前記呑吐力より見て受取り難いと共に大連には永く特産取引市場としての地盤があり施設船便の點においても便なるを以て內地側において北鮮谷港筋を以て直に商談に應ずるや否や甚だ疑問とされ、また現在運賃單位を比較するも豆粕一車につきハルビン雄基間六三七、六〇圓、ハルビン大連間七〇〇、四四圓でピクルにすれば僅か五錢の開きしかなく從つて北鮮各港積の場合船運賃は大連積より僅か五錢のマーヂンよりないといふ結果となる、この點より見て大連積に對抗することは甚だ困難と見られてゐる、從つて

北滿 特産物に對して北鮮各港が如何に利用されるかは鐵道運賃の調節が最も重要なる問題であり、滿鐵、特産商間に問題となつてゐるが、海運筋の見積りによれば第一年度(明年一月より五月まで)の北鮮各港に輸送される數量は約十萬噸とみられてゐる

朝鮮採鹽高七千萬斤增加

【京城】朝鮮總督府專賣局發表=九月[illegible]日現在採鹽高は合計三億一千六百四十一萬九千斤にして豫想高に比し七千一萬三千斤の增加を示した

大連商議會頭等長官に陳情

大連商議では電信料引下問題に關し目下旅順滯在中の菱刈長官に更めて陳情するため正副會頭並長永書記長は廿七日午前出旅する筈

三菱支店が特産係を分割

松田富家兩氏任命

三菱商事大連支店では特産業務のいよいよ擴大されるに鑑み、特産主任前島純夫氏が今回ハルビン出張所主任に轉任するを機とし、豆粕、豆油係主任に松田榮三郎氏を大豆穀物係主任に富家一一氏を任命して、從來の一係を二係に分類した

國幣の州內不流通

當業者に不便でないか

舊幣の回收順調に進捗

來連の山成中銀副總裁語る

滿洲中央銀行大連支行は二十六日午後六時より大連ヤマトホテルにおいて開業披露宴を開くので榮厚總裁、吳理事らは既に來連してゐたが、副總裁山成喬六氏は五十嵐理事、村上、佐々木兩行員を隨へ二十六日はとにて來連、星ケ浦ヤマトホテルに投宿した、車中金州まで出迎へれば山成副總裁は快よく語る

我々の銀行の大連支行は今年三月に開いたが、旅大の官民に披露をしてゐないので遲ればせながら今回やることになつたので一同出連したわけである、大連支行も滿洲方面との爲替業務を主とし、あまり表面的な活躍はしてゐないが、すべて漫々的に手を擴げて行くつもりだ、中央銀行券の關東州內流通問題は複雜な問題で沿革は充分尊重せればならぬが、いづれ便利なところに落ちつくことにならう、すべてマーケットは大きくなる程便利なもので、その意味で我々の支店も出て來て

仲間入 りをすることはそれだけ貢獻し得るものと思つてゐる、中央銀行券が州內に流通せぬことは我々の銀行自體としては別に窮屈に感ぜぬが、税關の取扱貨幣となつて居るので多くの人に不便を與へて居はせぬかと恐れてゐる、結局流通區域の廣い通貨が州內に入つて來ることが一般の便利なのではなからうか、中銀紙幣は現在一億五百萬圓出て居り、全滿に亘つて大なる信用の下に堅實に流通してゐる、かく中銀紙幣が短時日中に堅實な基礎を植えつけ得たことは圓銀の理想とする純銀を單位としたことが最大の原因だと信じてゐる、中銀紙幣の圓滿な流通と共に舊幣の回收も順調に進行し、現在まで六割五分を回收してゐるから豫定通り來年六月以降は舊幣の流通を禁ずることが出來ると信じてゐる

滿洲國 の幣制を金本位にするか銀本位にするかは長い間の論議の的であつたが當分の間は現在の銀本位を維持することに決したことは事實だ、これは各方面の人が色々研究し盡された結果自ら落ちつくところに落着したもので、幣制の改革はあまり激變しない方が穩當といへる、中銀の特産買付問題は大分世間を騒がしたが、あれは官銀號に屬してゐた糧業者が中銀に一緒に轉り込んで來たため一個年間を限つて行はした結果で、問題を起したことは我々も遺憾に思つてゐる、これら糧業者は今は全部關係を絕つたから今後は問題を起す餘地はない、尤も特産は滿洲の生命であり從つて特産金融は中銀の使命であるから此の出廻期には他の金融機關を通じ、又特産商に直接に全力を擧げて金融につとめ遺憾なき期す考へである、しかし

中銀が 直接買付けるより不便はないかといふのかそれは不便を感ずるのは免れなからうが過渡期には色々の事があるものだ、もつともこの不便が實際には相當問題にはなるかも知れぬが

滿洲國商標法の一瞥 (一)

中村如峰

本月二十一日附を以て公布し、來る十一月二十日から實施される滿洲國商標法については本紙は去月廿七、廿九の兩日その全文を掲載したから、その後多少の訂正はあつたが重複を避け、茲に中村如峰氏の執筆にかゝる同商標法に關する解說と批判とを連載することゝした

一、商標法制定と日本

新興滿洲國政府が建國匆々の際に於て、國家建設に對する重要法令の制定に着手すると同時に、商標法の如き工業所有權に屬する經濟産業法規の發布を企圖した事は恰も日本が明治維新の直後たる明治四年に、早くも太政官布告第百七十五號を以て、特許法の萌芽とも稱すべき專賣略規則を公布して工業所有權保護の端を開いたにも比すべく、滿洲國政府當局が傳東北政權の秕政に鑑み、王道樂土の基調は産業の開發、貿易の振興に在りとなし、夫れに向つて銳意努力を拂ひつゝある一端の具現とも首肯することが出來やう。

元來、工業所有權法規の制定は一國經濟政策上の積極的施設である。國家が法を設けて商工業の不正競爭を防止し、正當權利者を保護し、相當の利益を以て之に酬いんとするものは、一に産業の發達貿易の增進を企圖するからである

滿洲國が獨立國家として支那の羈絆を脫した以上は、當然、新に工業所有權に關する保護法規を制定し、文明國家たるの實を示す必要のあることは言ふまでもないが、滿洲國の産業狀態は今のところ事實まだ幼稚であり、文化の程度も日本や歐米先進國に遠く及ばないものがあるから、必ずしも工業所有權に屬する發明特許、實用新案、意匠、商標の四法規を同時に發布する要はないが、日常、商工業と經濟的に最も密接な關係を有つ商標法の如きは、その實施を焦眉の急務としなければならぬ。

◇

滿洲國政府が斯うした事由からして、議を定めて先づ商標法の制定に着手したのは、大同元年(昨年)六月であつた、爾來、種々研究を重ね、結局、我が特許局で假成した滿洲國商標法草案を基礎として審議が進められた。

當時特許局方面では日本の商標法その儘を滿洲に持つて行つたらといふ說もあり、又た支那商標法を改訂して施行したらといふ議もあつたが、この兩說とも相當に反對があつた、本文の記者の如きも、前者は日本と文化並に經濟的民度を異にする滿洲に、日本そのまゝの法規を持つて來るは面白くなく、後者の如きは不完全極まるものであるから、これを改訂して見たところが、よいものになる見込はないが、滿洲國には滿洲國の人情、風俗習慣と民度に卽した商標法を制定すべきであると主張したものである。

斯くして滿洲國商標法其他關係法規の審議を終り、輙くその成案を得、九月六日國務院會議に上程し、次で同十二日參議府の諮詢を經、直に執政の裁可を得て、先づ九月十三日に商標局官制、同二十一日には商標法並に同法施行細則を公布した、滿洲國が建國一年有半にして商標法を發布したことは何れからしても成功と稱しなければならぬ。

日本は滿洲國を以て生命線なりとなし、政治的にも國防的にも經濟的にも、特殊地域として古くより緊密不離な關係と交渉を有つて居つた事は、滿洲國が建國宣言後未だ半歲ならずして其の獨立を承認し、次で國運を賭し孤立を覺悟して、國際聯盟を脫退したことに依つても、その間の事情は明瞭である。而もこの關係は日滿經濟の總てにおいて如實に現れ、全面的に交渉を有つが故に、滿洲國商標法の如きも單なる滿洲國の國內法として、これを見ることは出來ない、加之、滿洲建國前、張家二代の侮日抗日排日政策に累せられて我が商標權は隨時隨所に侵害、蹂躪され、市場の開拓、商權の確保は意の如くならず、之が爲に産業の開發を阻止せられ、通商の進展は支障を受け、猶額大の關東州、滿鐵附屬地に跼蹐を餘儀なくせられたことは、相當長い年月であつた、この長い年月の苦痛と犧牲を耐へ忍び來つた我が商工業は、柳條溝の銃火に妖雲が一掃されて以來は、軍部の諒解によつて軍警の庇護を受け、辛うじて商標權其他の工業所有權を自衞したが、これは所謂一時的便法に過ぎないのである。

◇

斯うした事情の下にあつた我が商工業者は、滿洲國の出現に依つて、政治、經濟機構の革新を見、着々建國の基礎は成り、産業立國を目標に諸般の施設を進め、之に伴ふ法規の制定に着手し、殊に商標法の實施を急ぎつゝありと傳へらるゝに至つて、舉つて之に多大の注意を拂ひ、その發布の日を鶴首待望したは、久しい苦痛と犧牲の苦い體驗によつたに外ならぬ、滿洲國商標法發布の聲を始めて聞いたのは舊臘のことであるからして、同法の發布を待つたのは僅か九ケ月に過ぎなかつたが、夫れでも我が商工業者に取つては待ち遠い九ケ月であつたこと程、滿洲國商標法と我が商工業者は深刻な利害關係を有つて居る、殊に滿洲國と地理的、歷史的、政治的、經濟的に同じサークル內に在る關東州の業者が一層な關心を之に有ちつゝあつたことはいふまでもない、去るにても滿洲國が建國早々僅か一年有半で商標法を公布した努力を、支那が列國に督促されつゝ二十年を經過して、輙く商標法を發布し而も强硬な反對を受けた當時の事實に比すれば、そこには餘りに多くの變化を見出すのである。(未完)

デパートの所在地は何處も賑ふ

小賣店には影響ないと

廿六日歸連の岸田氏語る

デパート時代への躍進、伸び行く百貨店の觸手、近代的な豪壯を誇り浪速ストリートに君臨すべく近く開店の運びにいたる幾久屋デパートの主人、代議士岸田正記氏は約一ケ月半に亘り多忙な旅行を東京、大阪に過ごしてゐたが、二十六日入港あめりか丸で歸連、語る

永らく留守をしてゐたので實はどの位工事が進捗したか知らない、初めは內地から新らしく採用しやうと思つたが、それより澤山の有爲の青年子女が大きな希望をもつて渡滿し、空しく遊んでゐるので、さういふ人達を活用して新興滿洲國で働き場所を作つてやる事は頗る有意義だと信じたので、こちらで募集する事にした、約三百六十七名採用する、このうち百名位は東京、大阪、廣島各地から採つた、かうしたデパートの

進出は 小賣商に痛手を與へるといつて反對する人もある樣だが、內地の例によると百貨店のあるストリートは人出が多く自然近隣の商舗も繁昌してゐるそれが證據には大阪のデパートは八の日休むが、その日は一般小賣商も賣揚げが少い、とにかく自分は出來るだけさうした方面の商舗と協調主義でやつて行く、そして小賣の人にも利益をあげて貰ふ、次にこちらのデパートに影響といふ人もあるが、人口と比較すると京城の如きからみて非常に有利な立場にある卽ちデパートが少いことを證據立てるものである、幾久屋デパートは地下ともに四階二千二百六十坪、經營系體は岸田個人の經營にする、これは幾多內地の大デパートの成績を見てもその方が好いと信じたからだ、百貨店は色々な品物を扱ひ經營事務も繁雜だけに統制をとる事が急務でその點個人經營は間違ひあるまい、まあ多少でも植民政策の一端にお役に立てば好いと思つてゐる、そして

若い人 の慰安場所になつてくれる事を期待してゐる、仕入方法は問屋を通さずすべて直接生産業者、製作工場よりとの事にしてゐる、例の地下の小賣市場問題はそのまゝになつてゐるが自分は食料品店舗を作る積りだ、開店は判然とはしないが十月五日頃にしたいと思つてゐる

大汽株主總會 廿六日開催

前期同樣無配

大連汽船會社の定時總會は二十六日午前十一時より本社重役室に於て開催

一、昭和八年度前半期營業報告書、貸借對照表、財産目錄及損益計算書承認の件

二、昭和八年度前半期利益金處分の件(無配繼續)

は原案通り可決

三、借入金借替の爲社債募集の件は既報の如く野村證券引受期限六年、一年据置、利率四分五厘の社債五百萬圓發行のことに決定

四、監查役堀義雄氏辭任に付補缺選擧の件

は改選の結果八木聞一氏が當選した、而して上期の總收入金は六百二萬四千百五十六圓にして總支出金五百七十九萬五千四十一圓を控除し、差引當期の利益金として二十二萬九千百十五圓を擧げ、前期繰越金八萬一千七百四十六圓を合して三十一萬八百六十一圓の利益金を計上し得たるも、海運界の實情に鑑み前期通り無配として十八萬八千八百六十一圓を後期に繰越すこととした、利益金處分案を示せば左の如し(單位圓以下切捨)

項目	金額
總收入金	六、〇二四、一五六
總支出金	五、七九五、〇四一
差引	
當期利益金	二二九、一一五
前期繰越金	八一、七四六
合計	三一〇、八六一
此の處分	
法定積立金	一一、五〇〇
社員退職手當資金	一〇〇、〇〇〇
役員賞與金	一〇、五〇〇
後期繰越金	一八八、八六一

三井財閥が獨占形態を緩和

傍系會社持株を解放

【東京特電二十六日發】三井財閥は池田成彬氏の合名入りと共にその獨占形態緩和の方針を更に擴大し、傍系會社の持株を賣出す外三井家一手に所有する物産、鑛山、東神倉庫等の株式まで解放する決心をなしたと傳へられてゐる

黄塵

◇…三井では豫ての風說通り傍系會社の持株を一般に解放するらしい、新に合名入りをした池田氏の建策かどうか知らぬが、とにも角にも天下の財閥が事業の獨占主義を棄てたことは刮目に値する、これも時代の變轉といふべきか。

◇…シムラ會商いよいよ開始、日本の正々の論陣に對して印度側は官民の意見不一致、おのづから足並も亂れ勝だとはさもあらう、背後の怪物、いかにこれをあやつるかゞ問題。

◇…けふの鈔票市場前場、あす發令の管理令懸念でとかく下向き銀問への相場を見せてる、開けて見て一しほ苦い顏を見ればならぬとあつては當業者も一段ウンザリと來る、さても待たるゝ今宵の一夜かなだ。

管理令懸念で鈔票低落

二十六日前場大連錢鈔市場の鈔票は海外情報としては倫敦銀塊現物十六分の一安、先物同事、紐育銀塊八分の七安、孟買十六分の三安、米日爲替同事、神戸日米第一回八分の一安、上海標金小戾りとさしたる軟材料ではなかつたが本紙所報の通り當地における爲替管理法はいよいよ二十七日附廳報を以て發令し、來月五日より之れを實施するが可なり嚴格なる內容であるとの報を入れ現物より崩れて安値は百十一圓二十五錢をみせ、先物は一圓四十錢安の百十一圓七十錢に寄りアト小戾しをみせたが結局一圓揃み安に引けた

市場電報 (廿六日)

銀塊及爲替

銘柄	相場
倫敦銀塊	一八片一六分七
同 先物	一八片一六分五
紐育銀塊	三九仙八分五
孟買銀塊	五六留比八分五
スチール	四八弗八分三
アナコンダ	一六弗三分一
英米爲替	四弗七[illegible]仙三分一
米日爲替	二六弗〇〇仙
米支爲替	三〇弗七五仙

神戸日米

回	相場
第一回	二七弗四分三
第二回	二七弗四分三
第三回	二七弗四分三

棉花

米棉	相場
現物	一〇仙〇五
十月	九仙六六
十二月	一〇仙一三
一月	一〇仙二三
三月	一〇仙三〇
五月	一〇仙四四
七月	一〇仙七一

●印棉

銘柄	相場
ベンコール	一三三留比
ブローチ	二〇三留比
オムラ	一七五留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日糖	—	[illegible]
郵船	—	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	—	—
東株	—	—
東新(短期)	[illegible]	[illegible]

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
大新 寄値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]
鐘新 寄値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

大阪期米 / 神戸期米 / 東京期米

銘柄	前場寄	前場引
大阪期米 當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
神戸期米 當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
東京期米 當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸 / 大阪棉花 / 橫濱生糸 / 印度麻袋

銘柄	寄付	引
大阪綿糸 先限	[illegible]	[illegible]
九月	—	—
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
大阪棉花 當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
橫濱生糸 九月	—	—
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
印度麻袋 鐵筋直積	三三留比八分三	
靑筋直積	三三留比〇分〇	
爲替相場	六留比四分一	

市況 (廿六日)

特産 銀安と買氣に大豆强調

今朝の定期は大豆は銀價の低落と買氣ありて强調を辿り、豆粕は米價高を眺めて堅調を示し、豆油は銀安に綻り、高粱は大豆高に强調を呈した

◇定期前場(銀建)

▲大豆(强調)單位厘 限月 寄付 高値 安値 大引

▲高粱(强調)單位厘 出來高 二千五百箱

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三十八車

▲包米(出來不申)

◇現物前場(銀建) 寄付 大引

銘柄	寄付	大引
混保(袋込)大豆(裸物)	四三六〇	四三八〇
出來高	六十車	
普通(袋物)大豆(裸物)	四三五〇	四三五〇
出來高	五車	

▲普通大豆(出來不申)

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二百三十七車

▲豆粕(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一萬四千枚

▲豆油(堅調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

品目	出來高	寄付	大引
豆粕	一千枚	一二五〇	一二五〇
豆油	出來不申		
高粱	出來不申		
包米	二車	二五二〇	二五二〇

豆粕生産高(二十六日) 九、〇〇〇枚

定期喰合高(廿五日)(帳入)

品目	喰合高	前日對比較(△印減)
大豆	三一〇七車	△三二車
高粱	七六二車	△一九車
豆粕	四二五千枚	一一千枚
豆油	六五〇百箱	一〇百箱

豆 けさ大豆は銀價の低落と天候不良を眺め奧地筋及外商の買物に强調を辿り▲豆粕は大豆及內地米價高を眺めて强調を示し豆油は銀安に綻り高粱は大豆高に伴れて堅調を呈した▲爲替管理法施行の聲に先づ銀市場が脅かされ特産市場も自然氣迷ひ奧地天候不良に奧地筋が買ふなどして輸出筋は一寸一服の形▲現物大豆も寶隆一〇、三井五、三菱三、豐年二、澤田五、裕豐祥五、油房二〇で六十車と小手合で閑散▲新大豆の出廻りで到着大豆が漸增の狀勢にある

錢鈔 管理法控へに鈔票低落

海外情報は倫敦銀塊現物十六分の一安、先物同事、紐育銀塊八分の七安、孟買十六分の三安、米英クロス三仙四分の一安、米支二十五仙安、米日同事、滙申九七圓一五〇、神戸日米第一回八分の一安、上海標金三、四元高、當市鈔票は滙煙九五四七二五、大洋九五圓一五、管理法發令を控へてマバラの投げもの多く一圓四十錢安に寄り引際稍見直したが結局前日より一圓方安に止めた

◇定期前場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(期近二百八十五萬圓 遠期五百三十七萬圓)

◇現物前場(單位錢)

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	—	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	—	[illegible]

出來高(銀對金十六萬四千圓 銀對洋二萬三千圓)

銀 昨日後場は爲替管理法發令近しとの情報やフランスの金本位制停止或は宋子文の辭職說等々▲眞僞いろいろの流說あり相場も氣迷ひをみせたがけさ本紙所報の通り管理法はいよいよ二十七日發令に決定したとの報を入れ▲定期立會前現物から崩れて近遠期共一圓揃み安と下押した▲管理法の內容は發布をみなければ判らないが可なり嚴格なことは事實らしい▲材料は出れば仕舞ひなどと餘りに樂觀することは考へものであるが結局實施後は取引が可なり窮屈になるだけで銀自體の原本的弱材料といふ譯ではないからひどく狼狽する必要もあるまい

株 北濱定期の寄は軟弱東新も三圓臺と安寄りしたが引は四圓臺に小戾し▲當市は相變らず氣乘薄で五品は一二十錢安、新豆錢鈔もザリ安商狀で新安値をつけた▲內地主力株も國際情勢の不安定を眺めて氣迷ひ深く依然不透明な商狀を呈してゐる▲殊に當限は可なり高値喰合となつてゐるので納會までは不引立を免れまい▲しかし國際事情に甚だしい變化がない限り十月相場は玉整理の進捗と相俟つて買氣の再燃をみるのではあるまいかと思はれる

株式 東新冴えず五品弱保合

北濱定期の前場寄は大株六十錢安大新九十錢安、鐘紡一圓六十錢安鐘新八十錢安、引は殆ど不變、東京短期の東新は寄付き一圓安と四圓臺を割つたが引は八十錢高の四圓臺へと引戾し當市定期の五品は一、二十錢安の保合、延は寄十錢安、引十錢安、新豆、錢鈔軟弱東新五圓臺割りの四圓六十錢と寄り四十錢安に引けた

滿鐵株(保合)

銘柄	相場
東短前場 滿鐵新株	六十七圓二十錢
大阪短期 滿鐵舊株	六十七圓八十錢

前場

◇定期(單位十錢)

銘柄		當限	先限
東新	寄	一九五二	一九六七
	引	—	—
五品	寄	[illegible]	[illegible]
	中	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
滿鐵新	—	[illegible]	[illegible]	—

◇驛取引 東拓新七七、正隆舊二六〇、隆新一三一、正隆二新七五、滿鐵舊二七〇、滿鐵乙新一八三、滿鐵西新七五、鮮銀新一七五、星ケ浦土地三五、郊外土地六九、周水土地四二、不動産信託四五、大連火災一一七、湯崗子溫泉四五

○爲替及受渡日步

銘柄	受渡	代渡	代引 日步
五品	[illegible]	[illegible]	三、五
新豆	[illegible]	[illegible]	三、五
錢鈔	[illegible]	[illegible]	三、五
氷新	[illegible]	—	—
大新	[illegible]	—	三、五
東新	[illegible]	[illegible]	三、五
鐘新	[illegible]	—	三、五
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	三、五

株式出來高(廿五日)

項目	數量
定期	三六〇枚
延	一、〇五〇枚
合計	一、四二〇枚
早渡	一、四三〇枚
金額	五七、八四〇圓

商品 綿糸近物高 麻袋弱保合

麻袋▲ 産地商狀保合、米日同事に地場鈔票は一圓四十錢方安と下岐れに寄付き、あと二圓臺の小往來商狀、當市は買氣にて三十五錢五、六厘揃みの唱へであつたがあと小口午ら買物現はれて二、三厘方見直した、引際氣配は現物三十五錢八厘、當限先限共に三十五錢八厘の一本相場であつた

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	十月限	三五七	一〇
同	同	三五八	二〇

出來高 三萬枚

綿糸▲ 米棉現物は十ポイント安先限二乃至九ポイント安、印棉二留比方高に米日爲替不變、大阪三品は近物二圓二、三十錢高と寄付き先限小一圓高、あと近物七、八十錢安、先限小一圓安と引け、當市はマバラ筋の賣物現はれた

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十月限	二一四二	二〇
同	十一月限	二一三四	一〇
同	十二月限	二一〇七三	二〇
同	一月限	二一〇六五	二〇
同	同	二一〇四三	一〇
同	二月限	二一〇三八	三〇
同	同	二一〇四〇	一〇

出來高 二百梱

手形交換高(廿六日)

	枚數	金額
金	一、[illegible]枚	[illegible]圓
銀	[illegible]枚	[illegible]圓

爲替相場

鮮銀

銘柄	相場
倫敦向電賣(一圓)	一志二片〇分〇
紐育向電賣(金百圓)	二七弗八分五
同上海電賣(百弗)	一〇九圓七〇
同 賣(銀百圓)	九八圓一〇
日本向電賣(同)	一〇二圓七〇
同 去日拂買(同)	一〇〇圓〇〇

奧地相場

錢鈔

銘柄	相場	
金票對奉天票(現物)	[illegible]	—
(奉天)		
國幣對金票(現物)	[illegible]	[illegible]
(奉天)		
金票對國幣(先物)	[illegible]	[illegible]
開原國幣對金(現物)	[illegible]	[illegible]
新京國幣對金(現物)	—	—
安東鎭平銀(當限/先限)	[illegible]	—
哈國幣對金票(現物)	[illegible]	[illegible]

特産

▲大豆 寄付 大引

限月	寄付	大引
哈爾濱 十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]

▲小麥

限月	寄付	大引
哈爾濱 十月限	—	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]

各地特産發送高

地名	大豆	高粱	豆粕	雜穀
開原	二車	三車	—	二車
公主嶺	三車	—	—	二車
四平街	三四車	一車	—	六車
新京	一三車	—	二六車	一〇車

大連埠頭到着高

品目	數量
大豆	一一三車
高粱	五車

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價　一部　金五錢　一ヶ月　金一圓二十錢　郵稅　金五十錢
廣告料　普通一行　金一圓三十錢　特別一行　金二圓六十錢　場所指定　二割以上加算
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社　振替口座大連六〇番

人心不安の拂拭に緊急對策を樹立せよ
怪文書亂飛の世相へ關心
高橋藏相閣議で提言

【東京二十六日發國通】五・一五事件陸海民間被告公判に伴ふ人心の刺戟又最近怪文書等に依る思想不安に關し高橋藏相は二十六日の閣議席上

此種國内の人心不安に對して政府は緊急對策を樹立せねばならぬ

との意味の重大發言をなした之に對し齋藤首相以下同意の旨を表し荒木陸相に對しては陸軍、大角海相に對しては海軍の情勢に就き質問あり、政府としては此の險惡な世相に對し具體策を樹立する必要があると云ふに意見一致し小山法相の如きは新聞が自由なる言論を發表し得る狀態に置かれることが緊要なりと述べた、本日の閣議にては具體的案の提示は見なかつたが今後閣僚は何れも之が研究に沒頭することにならう

＝定例閣議＝

【東京二十六日發國通】二十六日の定例閣議は午前十時半開會大角海相より軍令部條例改正に關し、軍令部條例改正手續を了し二十七日公布の豫定であると述べ改正要點に就き左の如く述べた

一、海軍軍令部を軍令部とす
一、軍令部内の班長の名稱を部長に改める
一、海軍大臣と軍令部長との權限變更
一、平時用兵の指揮を軍令部に於て行ふ

斯くて正午散會

東郷元帥
伏見軍令部長宮殿下に拜謁

【東京二十六日發國通】東郷元帥は二十六日午前九時五十分軍令部長伏見宮殿下に拜謁今回改正になつた軍令部條例の内容に就き二、三言上、終つて大角海相と會見時局問題を懇談した

軍令部〃總長〃制
海軍諸規定改正さる

【東京二十六日發國通】海軍省公表＝帝國海軍は從來の經驗に鑑み統帥と軍政の關係を一層明確ならしめ又國防用兵に關する計畫の完璧を期する目的を以て今回海軍々令部條例、艦隊令、鎭守府令、要港部令の改正行はれ十月一日より施行せらるる豫定である

軍令部は例の改正は從來の海軍々令部を軍令部に、同部長を總長とし用兵の事は平時も總長大命を傳達する事に改められ又艦隊令以下の改正に依り艦隊鎭守府司令長官、要港部司令官等は作戰計畫に關し總長の指示を受くる事に定められた、なほ之に伴ひ海軍省、軍令部の關聯業務の事務規定も制定せられた、此の改正に依り用兵の事は一層的確圓滑に處理せられ得るに至り帝國海軍の任務達成上貢獻する處大なるものあるを確信す

軍令部條例

第一條　軍令部は國防用兵の事を掌る
第二條　軍令部に總長を置き親補とす、總長は天皇に直隷し帷幄の政務に參畫し軍令部を統轄す
第三條　總長は國防用兵の計畫を掌り用兵の事を傳達す
第四條　軍令部に左の職員を置く
次長、副官、部長、課長、部員、部附、此の外出仕として士官を置く
第五條　次長は總長を補佐し各部を監督し部務を整理す
第六條　副官は總長の命を受け諸務を整理す
第七條　部長は總長の命を受け課長以下を指揮し其の主務を處理す、課長部員は上官の命を受け服務す
第八條　總長、次長、部長、課長部員は參謀官とす
第九條　出仕は總長の命を受け服務す
第十條　在外帝國大、公使館附武官は補佐官として兵科將校を置き總長之を監理す
第十一條　附は士官、特務士官、准士官、下士官、兵、書記又は技手を以て之に充つ、各上官の命を受け服務す
第十二條　軍令部に於ける服務規定は總長之を定む

艦隊令(抄)

第十條　聯合艦隊司令官は天皇に直隷し聯合艦隊を統率しこれに關する隊務を統督す、聯合艦隊司令官は軍政に關しては海軍大臣の指揮を受け又作戰計畫に關しては軍令部總長の指揮を受く
第十一條　艦隊司令長官は天皇に直隷し麾下の艦隊を統率し隊務を綜理す、艦隊司令長官は軍政に關しては海軍大臣の指揮を受け又作戰計畫に關しては軍令部總長の指示を受く
第十五條　艦隊司令長官は必要に應じ麾下の艦隊又は其一部を艦隊行動區域外に派遣する時は豫め海軍大臣に上申すべし、但し緊急の場合にありては直ちにこれを艦隊區域外に派遣する事を得この場合に於いては事後これを海軍大臣及び軍令部總長に報告すべし、艦隊行動區域は別にこれを定む

鎭守府令(抄)

第四條　司令長官は天皇に直隷し部下の艦船部隊を統率し又海軍大臣の命を受け軍政を掌る司令長官は作戰計畫に關しては軍令部總長の指示を受く

要港部令(抄)

第九條　司令官は天皇に直隷し部下の艦船部隊を統率し又海軍大臣の命を受け軍政を掌る司令官は作戰計畫に關しては軍令部總長の指示を受く

旅順要港部令(抄)

第八條　司令官は天皇に直隷し部下の艦船部隊を統率し又海軍大臣の命を受け軍政を掌る司令官は作戰計畫に關しては軍令部總長の指示を受く

駐滿海軍部令(抄)

第五條　司令官は天皇に直隷し部下艦船部隊を統率し又海軍大臣の命を受け軍政を掌る司令官は作戰計畫に關しては軍令部總長の指示を受く

第二次五年計畫
進程を見る
生産増加の初年度

ソウエート聯邦は愈々本年から第二次五ケ年計畫を開始したが、最近ソウエート商業會議所より上半期の建設成績が發表された、その内容は單に生産のパーセンテーヂに止まり、未だ實數を發表するに至らないが、然し之によつて大體の傾向を觀取する事が出來やう

工業生産の増加

本年上半期に於ける工業生産は例年に比し異常な増加を見せ、六月の生産高は昨年六月に比し一〇%一の増加を見せてゐる、この中生産財の生産高は一三%四増、消費財の生産高は五%八増を告げ、一方重工業は一五%増、食糧品工業は一三%七増を示してゐる、而して之を重要部門別に見ると左の如き増加率である

（各六月と前年六月との比較）

部門	増加率
電力	一三%四
銑鐵	一三・二
壓延金屬	二五・九
△トラクター	六一・〇
△變壓器	四九・一
△ディーゼル・エンヂン	九八・七
石炭	一八・四
鋼鐵	一八・七
機械	二六・六
△自動車	一三一・九
△電動器	三九・五

（△印本年及前年各上半期比較）

即ちトラクター、自動車及びディーゼル・エンヂンの生産高が殊に激増した、之は工業建設と並んで農業の機械化が急テムポを以て進行せることを示すものである

生産能力の増進

工業生産の増加と共に勞働者一人當りの生産能力も増大しつゝある、之は一面から見れば工業生産實數の増加以上に重要である、工業生産全體の根幹をなすが故である、今前年同期を基準とせる勞働者一人當りの生産高指數を見るに重工業人民委員部管下は本年第一期一一〇・一、第二期一一八・六、上半期一一四・三にして、輕工業人民委員部管下は同じく一〇五・一、一〇二・〇、一〇八・〇となり即ち何づれも一割内外の増大を示してゐる、次に之を第二次計畫第一年度各四半期の統制數字に比較すれば

	第一期	第二期
重工業	九五・六	一〇〇・五
輕工業	九三・一	一〇〇・五

即ち本年第一期においては計畫以下であつたが、第二期には計畫よりも〇%五方上廻つてゐる

農業集團化進行

次に農業方面を一瞥するに、本年度穀物春蒔計畫に對し國營農場では一〇九%二の實績を擧げ、共營農場では一〇二%の實績を擧げてゐる、而して全國春蒔完了地域の八五%は國營農場及び共營農場が占めて居り農業における集團化が着々と行はれつゝあることを物語つてゐる、又農業集團化促進の事實上の中心機關たるM・T・S即ち機械及トラクター配給所の活動によつて播種を完了せる地域は共營農場の中六〇%である、更に消費方面を見るに本年上半期の小賣々上總額は百七十二億七千四百萬ルーブルで、昨年同期よりも二五%四方の増加である、この中消費組合取扱の分は九十四億八千七百八十萬ルーブルで五割五分に當り、昨年より七%九の増加を示してゐる、又州營販賣所の賣上高は昨年同期より一一%七増、供給人民委員部のそれは五二%六増となつてゐる

方振武軍の遁路
灤東へ外れる
わが飛行機偵察に活動

【北平特電二十六日發】わが軍部より要求せる方振武軍の撤退期限は二十六日限りとなし撤退に應ぜざれば關東軍の討伐に會ひ非武裝地帶外に出づれば中央軍の討伐に會ふこと必然的となり方軍は目下進退兩難に陷り順義から道を東方にとつて老耗子等と合流して夜陰に乘じて全部灤東地區へ遁竄するものとみられてゐる、現在中央軍當局は河北にある軍隊を大動員して張家口から天津一帶に配置し方振武等の聯合軍に備へてゐる、關東軍の飛行機は勇ましく活動しつゝあり本日午後零時半三機北平城内交民巷の上空に現れて鮮かなる飛行をなし一機は交民巷のわが兵營に通信筒を投下して行つた

嚴重警告

【北平二十六日發國通】北支軍憲が最近次の如き宣傳をなして居る即ち

滿洲國は黄河以北占領を企圖して畫策中であるが方振武、吉鴻昌、湯玉麟等の軍隊を使嗾し且つ匪賊團を糾合し以てこれを進出せしめ侵略の第一歩を踏んで居る云々

右に對し關東軍は皇軍を侮辱するも甚だしきものとなし之等の流言蜚語を取締るに非ざれば時局は益々惡化すべき旨を北平武官を通じ何應欽に今朝十時通告するところあつた、何應欽は右警告を諒せるも更に北平日本官憲は嚴重監視する事となつた

わが部隊配置

【北平二十六日發國通】懷柔にあつて反蔣抗日通電を發せる方振武軍は二十四日夜より順義方面に移動を開始し次いで東方に逃走した不逞匪賊と合流し停戰協定に依る不侵入地域内に永く蟠居せん事を企畫してゐる模樣である、關東軍は停戰協定を無視し右地域内に斯くの如き武裝團體の存在する事は許容し得ざるところである、依つて右部隊の行動を監視し苟くも違犯行爲を發見したならば隨時隨所之を破碎すべく決定し各部隊の準備を完了した

在外使臣へ訓令

【東京二十六日發國通】馮玉祥系方振武軍が反蔣抗日に藉口して北支に軍事行動を開始したが外務省では支那側が開會中の聯盟及び英米各國に反日的逆宣傳し我國を誣告するの惧れあるので本日松平駐英大使以下在外大、公使と伊藤帝國事務次長に對し帝國の態度表明せる訓電を發し誤解なきやう説得させた

北平へ避難民

【北平特電二十六日發】方振武軍は二十四日より順義に向つて前進し二十五日にはその先頭は順義を去る七哩の地點に達した、二十五日夜北平の北高麗營附近に方振武軍の便衣隊現れ公安局を夜襲、平綏線昌平に湯玉麟軍四千が迫ると傳へられ平綏沿線の避難民北平に殺到しつゝあり

蔣介石南昌へ

【上海特電二十五日發】蔣介石は十月一日より第五次共産軍總攻撃を開始するに決し、廬山から南昌に赴いた、同地にはすでに中央軍の八十五師、八十七師の第四旅の外新募兵約二萬集中し武器彈藥は連日長江下流より運搬され物々しき情勢を示して相當大がゝりの討伐が行はれる模樣である

日支紛爭とキユバ問題
聯盟理論轉向

【東京特電二十六日發】ジエネーヴ來電によれば聯盟はキユーバ問題を契機として日支紛爭に對する考へを變へなくてはならないことを感じ始めた、即ち滿洲における日本の行動を糺彈したアメリカがキユーバにおいて日本同樣の行動に出でたことを聯盟がどう扱ふかについて少からず當惑するとともに滿洲問題を再認識する必要に迫られてゐる模樣であると

預金部融資
滿洲へ三百萬圓

【東京二十六日發國通】四十八回預金部資金運用委員會は二十六日午後二時藏相官邸に開かれ長期運用一億六千三百萬圓並に融通總額一億七千二百六十九萬圓を決定した、滿洲關係の分左の通り

一、關東州及び滿鐵附屬地に於ける政府保證不動産金融資金融通額三百萬圓

秋風に送られて凱旋第二軍船出
埠頭塗り潰す日本色

必勝か死か、友邦建國多事多難の昨冬全國民の輿望を雙肩に擔ひ、黄塵吹き荒ぶ熱河に長驅して鬼狄を粉碎し、前進また前進長城萬里の彼方に馳せては國威を中外に宣揚し去る二十四日市民の湧き返る歡呼の裡に着連した凱旋第二陣城島大佐麾下の野〇兵〇隊、鷲津〇隊の一部及武内軍醫正の率ゐる衞生班〇〇〇名は思ひを遠く故鄕の空に馳せながら秋風立ち初めた二十六日午後五時再び見ぬであらう滿洲の赤い夕陽を浴びながら、滿船飾の春晴丸に乘船、一路懷しい故鄕へ凱旋の途についた

◇…この日は朝から兵器及軍馬の積込みに忙殺されてゐたが四時頃から將兵の乘船が開始された見送りは例によつて市長を始め知名士の顏觸れ、熊本縣人會の旗を先頭に各種團體の旗が數十旒秋風にへんぽんとはためく、それに續いて一般市民が本社配布の小旗を手に手に打ち振り甲埠頭を埋め盡した人の波は溢れる感激を乘せて左に右に寄せては返し、上から下から投げ交す五色のテープは見る間に舷側を蔽うて七彩の虹の如く九番バースにかゝつた

國際バンドのあざやかな國歌行進曲が終るや小川市長は市民を代表して凱旋の祝辭を述べ續いて城島大佐は

吾々が今日晴れて凱旋出來るのは國民諸君の後援の賜であり殊に大連市民の御厚意に對しては深くお禮申上げます、國家多難の時に當り帝國のため、滿洲國のため益々御奮鬪されんことを祈る

と謝辭を述べ市長の發聲にて凱旋將兵萬歲を三唱するや人々の胸は感激の極に達し送る人も送られる人も双頰に浮ぶ笑双眸に光る露の玉非常時模樣の色は褪せても大和魂は消えやらず外國人にはわからぬ美しい情緒だ、やがて勇ましい汽笛を殘し故鄕の山河を胸に描く喜びの凱旋兵をのせた春晴丸は切れ殘るテープの尾を曳いて港外に影を消した（寫眞は埠頭にて出帆直前の場景）

凱旋の殿軍

熱河聖戰に殊勳の第〇師團松本部隊長麾下のつはものは二十三、四五日と引續いて大連に凱旋し松田將軍始め鷲津部隊及城島部隊はそれぞれ二十五、六の兩日に亘つて第七平榮丸、春晴丸で故鄕へ凱旋したが殿部隊の鶴岡〇隊はけふ午後五時出帆の羽後丸に乘船前の二部隊の後を追つて故鄕に錦を飾る筈である

見送りませう
第三次凱旋部隊
けふ　午後四時羽後丸乘船　午後五時九番區拔錨

關税引下を餌に日本を釣る狡い肚
借款米棉に悩む支那

【上海特電二十五日發】借款米棉の處理について張中國銀行總裁と船津紡績同業會理事長との間に懇談行はれてゐるが、わが當業者は國家的見地から輕擧を避け外務當局と歩調の一致につとめつゝある

一説によれば支那が日本綿製品排撃を嚴禁し日本の或種の商品に對する輸入税を引上げず又統税引上げを中止することを交換條件とするともいうてゐる

日蘭協議會
蘭政府の提議
我方は斷乎拒絕意向

【東京特電二十六日發】蘭領東印度政府は明年一月より人絹に從價二割、綿糸綿織物に對し從價一割二分及び輸入税額の二割の附加税設定を決定同時に非常時輸入輕減案別割當數量による輸入制限も具體化せんとしてゐる、これらの問題に對しオランダ政府は日蘭協議會開催方を日本政府に申出でた、よつて當局は蘭印輸出貿易の半ばを占むる紡績業者の意見を聽取すべく傳達した、紡績聯合會委員會及び輸出綿糸布同業會理事會では二十五日聯合協議會を開き左の申合せをなした

一、オランダ及び蘭印政府の意見は未だ具體的でないこと
二、蘭印ののオランダに對する關係は印度の英國に對する關係と異り特に蘭印政府の政策を見極める要あり暫らく愼重審議を續けること

なほ日蘭協議會は英國のさしがねによるもので且つ一々貿易相手國の申出でに協議會を開くは惡例を殘すものなるためこの協議會は斷乎拒絕すべしとの强硬意見も出た模樣である

機械注文
昭和製鋼所

久しき紛糾の後撫順に新設されることになつた五萬KWの五十サイクル大發電所は建設費六百萬圓を要する大工事丈けに内地の電氣機械製造業者間に機械納入に關する激烈な競爭を呼び起し就中芝浦、石川島、三菱、日立等の間に鎬り合ひが演ぜられたが結局三菱に決定、注文が發せられた、なほ同發電所は昭和製鋼所に配電する必要上建設を急ぐので出來るだけ速かに製作納入せしめ來年九月ごろまでには工事完成を見る筈

臺灣自治制具體化か
中川總督東上

【東京二十六日發國通】中川臺灣總督は二十八日上京する事となつたので、撚れて懸案中の臺灣地方自治制改革案は愈々具體的進捗を見るものと期待されて居る

辭令

【東京二十六日發國通】
公立高女教諭　恩田ゑい
任公立高女教諭（七等）
理事官　北村三郎
依願免本官
關東廳　中澤基一
任關東廳理事官（六等）

社說

非武裝地不安と日本の迷惑

方振武、湯玉麟、劉桂堂、吉鴻昌の東省聯合軍と稱するものは北平を指して進擊中にあり、北支又もや風雲の急を告ぐるに至つた。曩に馮玉祥の叛あり、抗日を標榜して實は北平乘取りを策したが、蔣介石と妥協し、軍を捨てゝ山東省泰安に隱退した。そこで宋哲元察哈爾省主席に入りて殘軍の整理に當り、一時平靜の樣であつたが、方振武等尚其間に策動を怠らず漸次勢力を作るに至つた。蓋しこれ等の雜軍は何でもして生活せねばならぬ。隨つて、集まれば一地方を占領して誅求を事とし、散ずれば匪賊となるより外に途はない。宋哲元が察哈爾を整理するに當りて、此等の軍隊が占領地を逐はれたるにより、他に何れにか占領地を求めねばならないので、結局北平を指すに至つたものと思はる。

◇

黃郛、何應欽共力して北支の治安に努めつゝある際、此種雜軍の行動によりて擾亂を受くるは誠に困つたものであるが、それは支那の內政問題として外間よりは如何ともなし難し。併しながらその爲めに方振武軍の如きは懷柔に侵入してその保安隊を解散せしめ、日支協定の違反を敢てする如きは、我軍に於ては默視し難き所である。而して此れを討伐せんが爲めに支那中央軍を進めんとする如きも、斯くては、再び此の地域を戰亂の巷と化す可く、折角非武裝地域を作りて、此の地方の治安を保持せんとする精神に背馳する現象を呈することになる。

◇

是に於て我軍にありては、事態の面倒になるを恐れて、方振武軍に對して非武裝地域よりの撤退を求めたるも、方振武よりは、內政關係であるから日本は干與せざることを希望する旨返答して來たと傳へられる。方の此回答は日本軍の主旨を解せざるものといふ可く、日本軍は敢て內政に干與せんとするにあらず、唯日支協定を維持せんとするに過ぎないのである。一方北平に於ては漸く人心の動搖を來したので、各城門を嚴重に警戒してゐるさうだが、日本に對しては、援助と中立とを希望したとの消息である。併し援助といふは恐らく軍事的援助ではあるまい。軍事的には中立を希望し北平の警戒治安に對して相當の援助を希望するのであらう。日本軍としては非武裝地域に於て支那軍同士を戰鬪せしむることは出來ず、又戰鬪の準備をさせる事も出來ないから、方軍にして自ら撤退せずんば、武力を用ひて之を地域外に驅逐するの決意を示したのは已むを得ない。此の決意に恐れたものか、方振武軍は既に順義まで退卻した。

◇

而して驅逐された東省聯合軍が一路北平に向ふならば何應欽軍との衝突を見る可きは免れざる勢である。そこで勝敗如何の問題となるが、北平軍にして若し敗北せば此處に新北支政府が發生するわけである。しかもそれにて北支の情勢は決して安定を見るべからず、更に混亂を生ずべきは疑ひない。若し又聯合軍にして敗北せんか、その殘兵潰亂して更に關東方面の匪賊と化して非武裝地域を荒すことなきを保し難い。此處に又もや何れにしても我軍の默視し難き情態を發生する虞れがある。その場合々々に應じて善處しなければならぬが、兎角支那の無秩序な現狀には、我國としては誠に迷惑至極である。

協定破棄への抗議に 滿鐵より逐條反駁す 烏鐵側駐哈代表に手交

滿鐵が烏鐵當局に致した滿烏協定破棄聲明に對する烏鐵側の抗議文は八月二十二日滿鐵側に手交されその後滿鐵々道部が中心となつてこれの反駁文を作成中であつたが重役會議の決裁も得二十五日附を以て二十六日午後三時滿鐵ハルビン事務所長の手を通じ駐哈烏鐵代表に手渡すところあつた、今回の滿鐵の反駁文は烏鐵側の抗議文を細かに檢討してこれに對する反駁を加へたものでその範圍外に出ることはなく、從つて滿鐵は本問題を徹頭徹尾事務的に取扱ひ、事務的見地から本協定破棄の通告をなしたにかゝはらずソウエート側が本問題を政治問題として取扱ひ北滿鐵路買收問題と結びつけて一種の逆宣傳を行ひつゝある事實に對しては、それが烏鐵抗議文の內容に含まれてゐないため何等の反駁もなさざることゝなつた、なほ反駁文の通告に關し二十六日午後三時滿鐵々道部營業課長室で山口營業課長から談話の形を以て左の如く反駁文の內容の大要を發表した

反駁文內容

一、協約第十二條(本協約を更新するには九月三十日、即ち協定の終る期日の九十日前に更新の豫告をすることを要す)に違反してゐる故滿鐵の通告は協定違反なりと主張する烏鐵の抗議に對する反駁

本協定は一九三一年九月三十日を以て滿了しその時滿鐵側から一九三一年七月一日附を以て滿鐵としては協約第五條に定める輸送調節の圓滿なる實行を可能ならしむべき總ての手續が速かに完了せらるゝに非ざれば一九三一年十月一日以降何時にても本協約を廢棄し得るの權利を留保す、との書面を正式に烏鐵側に提出して居り即ち今回滿鐵が行つた廢棄聲明はその保留した權利を執行したもので協約第十二條には何等拘束をされずこの豫告を以て充分効力を主張し得るものである

一、輸送調節の細目協定の不成立が滿鐵の責任であるが如きことを主張する烏鐵側抗議に對する反駁

一九三〇年十二月ハルビンにおける共同事務所兩鐵道代表者間にて調節賃および同割引の設定に關する細目の取極めをなし滿鐵では何時にてもこれを實行し得る手續を整へたるに拘らず烏鐵においては兎角の辭柄を並べて遷延し遂に實行不可能に陷入れた、これ即ち滿鐵の責任でなくして烏鐵の責任において協定不成立となつた明らかな證據である

一、一九三二年四月十六日に遡つて本協定を廢棄したことを不當とする烏鐵の抗議に對する反駁

一九三二年四月十六日に遡つて廢棄を聲明したことは一九三一年七月一日既に豫告してある理由に基く當然の措置であり、且つ一九三二年四月十七日以降は事實上ポグラニチナヤ經由浦鹽向輸送は不可抗力のため全く運送停止せられたる事實によりその期間中は協約の効力は停止中のものである故四月十六日に遡及して協約の廢棄をなしたことは當然のことである

山口營業課長談

抗議文は大要三つの點にあるがそれに對する反駁は今說明した通りだ、いづれまた再抗議が來るだらうがこれはソウエートの常套手段で同じことを繰返すだらう

羽田班消息

松花江下流梧桐河へ派遣されてゐる採金調査班中、羽田班はほとんど消息なく案ぜられてゐた處二十五日採金調査部本部より滿鐵あて二名の班員の行方不明を報じて來たが二十六日左のごとく無事歸還の報知が來た

第一報 十九日羽田班員三名匪賊に襲擊され岩崎秀雄、若松薫の兩氏は行方不明にて目下搜查中渡邊義雄は無事歸還せり

第二報 岩崎秀雄、若松薫の兩氏は重圍を脫し無事歸還せり

秋を聽く長官

滿鐵では二十六日滿旅中の菱刈軍司令官を招待星乃家に於いて晩餐會を催したが菱刈軍司令官はこの日珍しく和服鳥打帽の打寬いだ輕裝で午後三時旅順より自動車にて來連、滿鐵側は正副總裁が不在の爲め十河、山崎、山西、河本、竹中の各理事が出席、主客共格式を拔きゆつくりした氣持で星ヶ浦の秋色を賞でながら夕刻四時半頃から宴を始め歡談した(寫眞は自動車より降り立つ菱刈長官)

爲替管理 關東廳令(一) 二十七日附公布

關東州及南滿洲鐵道附屬地外國爲替管理規則及同施行細則は廿七日附關報を以て公布されたが全文左の如し

規則

關東州及南滿洲鐵道附屬地外國爲替管理規則

第一條 關東長官の許可を受くるに非ざれば金貨幣、金地金、金の合金又は金を主たる材料とする物を本令施行地外(內地、朝鮮、臺灣及樺太を除く)に輸移出し又は其の豫備を爲すことを得ず但し本令施行地外に赴かんとする者が自己の用として携帶する手廻品及身邊裝飾品は此の限に在らず

第二條 關東長官の許可を受くるに非ざれば左に揭ぐる取引又は行爲を爲すことを得ず

一、邦貨を對價とする外國通貨の賣買(業として外國通貨の賣買を爲す者に委託して爲す賣買を含む)

二、邦貨又は外國通貨を對價とする外國爲替(本令施行地より本令施行地外に仕向け又は本令施行地外より本令施行地に仕向けたる爲替手形、小切手、電信爲替及郵便爲替を謂ふ、但し本令施行地と內地、朝鮮、臺灣及樺太との間の爲替を除く以下同じ)の賣買

三、外國通貨を對價とする本令施行地と內地、朝鮮臺灣及樺太との間の爲替の賣買

四、邦貨を對價とする外國通貨を以て表示する債權(外國爲替及外貨證券たるものを除く以下同じ「第五條の場合を除く」)の賣買

五、通貨、外國通貨、小切手又は手形の送付又は携帶其の他本令施行地外(內地、朝鮮、臺灣及樺太を除く)に對する送金にして第一條及本條の他の各號に包含する方法に依らざるもの

六、本令施行地外(內地、朝鮮臺灣及樺太を除く)に於て爲したる委託に基き本令施行地內に於て爲す支拂

第三條 左に揭ぐる場合には前條の規定に拘らず前條の取引又は行爲を爲すに付關東長官の許可を受くることを要せず

一、本令施行地若くは滿洲國よりの貨物の輸移出又は本令施行地若くは滿洲國への貨物の輸移入の爲必要なるとき

二、保險金若は保險料(六月內に支拂ふべきものに限る)の支拂又は保險契約に伴ふ其の他の支拂を爲す爲必要なるとき

三、本令施行地內に於て支拂はるゝ公債、社債若は銀行預金の利子、信託の利益、株式配當金其の他の收益を本令施行地外に住所を有する權利者に送る爲必要なるとき

四、契約上の義務として本令施行地外に於て六月內に爲すべき公債又は社債の元利拂基金……

市側折れて 世話料復活 市長の無定見

小川市長、岡野助役、長濱市場長および岩光市場主任は二十六日午前十時より午後一時まで鳩首密議したが右は中央卸賣市場問題が危急を告げてゐる折から市當局において腹を固めて出荷奬勵金支出による蔬菜政策が意外に不評なるため急遽對策を講究したものである、協議終つて市長は……

中央銀行披露宴 ゆうべヤマトホテル

滿洲中央銀行總裁榮厚、同副總裁山成喬六兩氏は同行創立以來一年三ケ月、大連支行設置より半歲を經過して行務軌道に乘り滿洲國の最重要機關としての發達順調なるを披露し併せて旅大官民の篤き支援……

拓務遞信の意見一致 電報料引下げず

【東京特電二十六日發】日滿電報料について滿洲關東州地方の猛烈な陳情について日本商工會議所を中心に內地側の反對運動が盛んになつたので……

八相

五十行以內 投書歡迎 (掲載謝禮なし)

兵士と鮮銀紙幣 不審生

◇どうも銀行員はとかく市民との行動に一致しない憾みが多く、例へば在鄕軍人の集合にも銀行員の會員の集まりは極くまれだといはれてゐるが、面白くない傾向である。

◇自分が先日第六師團の凱旋兵の內地へ歸る日痛切に感じた事だがそれ等の勇士等はいづれも鮮銀の札をもつてゐるわけだが、一つ鮮銀では埠頭邊に出張して日銀札に交換の便宜を計つたら內地に歸つても頗る便利だらうと思つたが、一向そんな事をしてゐる樣子もない。

◇これなぞ少くも銀行の方から氣を利かせて軍の方にでも申し出るのが本當じやないかと思ふが一つ鮮銀の意見を聞きたい。

お答へ いや御注意ありがたう、こちらではなるべくやらせてゐるんですが、大抵軍の方からの指示に從ふことにしてゐるものですが、將來はモツと積極的に出たいと思つてゐます(鮮銀支店長)

金州被損害生へ 大連中央電話局

◇去る二十一日伊勢町公衆電話より御通話に關する當局への御注意を感謝致します。

◇公衆電話機の檢査は局員が隔日に巡回して行ひ障碍のない樣に努めて居るのでありますが未だ斯樣な故障を絕無ならしめ得ないのを遺憾に存じます。

◇貴方のに該當するものと認めらるゝ通話請求の時刻は午後四時三十五分となつて居ります、さうして當日の同公衆電話に對する交換證を調べますとその直前まで通話が出來て居ります。

◇當時貴方の御言葉によつて電話機の檢査を致しました處錢道に不具合な點のあることを認め修理を施し復舊したのであります、が交換取扱者の應酬の不行屆と檢査が多少手間取つた爲め御滿足を與へ得ず御迷惑をかけましたことを御詫び申上げます。

人事

任關東廳警部補 勳七等 柳澤……

任關東廳警部(各通) 中山……

任關東廳遞信書記補 福田……

任關東州公立實業學校教諭 ……

依願免本官(各通) 關東州公立實業學校教諭 田中……

文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず

任關東廳技手 山口……

▲瀨田常男氏(滿洲電信電話會社文書課長)就任挨拶の爲二十六日市內各方面歷訪

▲楊井勇三氏(正隆銀行常務取締役)北滿及北鮮視察のため二十七日朝ハルビンに向け出發約一週間の豫定

▲大場鑑次郎氏(關東廳警務局……)二十六日新任挨拶のため市內……

家庭

九月・十月は 大連兒童の健康增進の季節

運動會シーズンを控へ 家庭人への注意

スポーツに相應しい九、十の兩月は各學校でも頻繁に運動會が催されます、で湯下大連霞小學校長に運動會を控へて家庭人への希望を伺ひませう

大連 兒童の健康狀態を統計的に眺めて見ますと七、八の兩月は身長、體重ともに平均して成績惡く世界的に類のないやうな激減で九、十の兩月は反對に世界に珍しい位身長、體重共に激增といつた極端な差を示してゐます、この事實から見ても七、八月は大連の兒童にとつては健康に相應しい氣候ではない事が判り、九、十の結實、收穫の好シーズンは兒童の健康を

恢復 さす意味で家庭人が充分注意を拂はなければならない事が判ります、この九、十月の好シーズンを覘つて兒童に相應しい運動をさせる事は大へん好い事でこの時季各學校で運動會が催されることは意義ある事と嬉しく思つてゐるのです、運動會近くになれば少々元氣のない兒童も氣が張つて熱心に運動を行ひます、勿論よい事です、然し家庭人に注意して貰ひたい事は兒童の健康狀態をよく觀察して、萬一疲勞の影が見られたり、其他健康上に思はしくない點がある場合は必ず受持先生にその由を告げて、たゞ兒童の

興味 によつて、無理に引ずられて行く事がないやうに聯絡なさつて、無理をしないだけの注意を拂つて頂きたいと思ひます、次に學校によつて規則も違ひますが、學校の希望する所を裏切らないやうにして欲しいと思ひます、小學兒童で過激な運動をさす事はありませんが、相當運動し疲勞を覺えてゐますから、運動直後、食物に充分注意して戴きたいのです殊に夜中は晝の疲れで寢冷え勝ちになりますから御注意下さい、それから特に保護者に希望いたしたい事はお辨當包其他食物の紙切れ

果實 の皮などを散らさぬ樣に願ひたいのです、疲勞してゐる兒童を運動會後殘して、それらのお掃除をさせる手數を省く上からも是非お願ひします。

不用品の廉賣會 十月五日・沙河口で ―"友の會"が主催―

生活の合理化をモットーとしてゐる大連友の會では昨今の秋の大掃除にあたつて各家庭の物置や押入の隅に全く忘れられて朽ちるに任せてあるやうな家具、衣類、服飾品、娯樂用具玩具等一切の不用品を整理しその利用更生の途を講ずるために來る十月五日午前九時から午後五時まで沙河口霞町クラブ(沙河口[illegible]前下車)で友愛セール([illegible]賣會)を催しますが、[illegible]希望の方は出品物に希望の賣値をつけて左の三ケ所の何れかへ御屆けになれば友の會で萬事お世話するさうです

▲大連市柳町三八中島美代子▲同革町三九ノ一〇岩山利子▲同一 平和臺七七高梨いち

ネクタイの選び方 こんな御注意が大切です

殿方がネクタイをお求めになる時は次の樣な點を注意して求めて下さい、いつも氣持よいネクタイがきちんと結べます。

◆芯を調べて見て、毛芯が入つて居たら先づ上物です、安物ですと、毛芯の代りにネルとか木綿が入つてゐます、木綿では折角結んだネクタイに皺が寄つて見にくゝ又感じよくすらりと結べません、スルくと結べて、皺よらずネクタイの感觸を充分發揮するものはやはり毛芯です。

◆次にネクタイの縁はミシンで縫つてあつて差支ありませんが眞ん中をミシンで縫つてあるものはよくありません…と申すのはミシンであれば結んで袋になりますから必ず手縫ひの物を求めることです

結髮の御注意 こんなカモジがあれば 斷髮でも大丈夫

"おめでた"のシーズンです

秋の好シーズンを迎へめでたい結婚式を目前に控へてゐられるお孃樣方のために結髮に必要な注意を申し上げませう

斷髮で前髮、鬢を切つてゐられる方はあの水々しい高島田は望む資格がないものとあきらめ洋髮で洋式に式をお擧げになる方もあるやうですが、斷髮の方でも肩から一寸あれば高島田も結べます、勿論前髮、鬢など切つて居られる方も心配はありません、前以て專門家に相談されその不足の部を補ふ附屬品(カモジ)をお求めになればよいのです

洗髮は一月程前一度結び、中で洗髮し洋髮、日本髮と交互に結び慣らし三回目位が手頃です、式前に洗髮なされた場合は水油を少量つけます、餘りつけ過ぎると髮が膨れませんから根の所にだけつけます、馴らし髮は桃割れがよろしいでせう、掛物は初めの人はかのこよりあつさりと丈長にされたら見た目にも上品に見えます

次ぎにカモジの種類とお値段を紹介いたしませう

▲根かもじ 五、六十錢―二圓
▲びんみの 一圓五、六十錢より二圓
▲ばら毛 一圓(島田用)
▲つりたぼ 一圓(斷髮用)
▲前髮かもじ 七、八十錢―一圓
▲横毛 五、六十錢より七、八十錢(桃割用)
▲かけみの 七、八十錢(短髮用)

といつた種類があります、カモジをお持ち合はせの方は古いのを使用されて結構です、餘り古く油ぎつてゐるものは前以て洗ひます、然しカモジは染髮したのもあり、餘りひどく洗ひますと色が褪める恐れがありますから次の樣にしてお洗ひ下さい

洗面器にラックスを溶き平な板の上にカモジをおきラックスの液をつけて毛並に從つてなでゝ行きます、萬一もつれましたら平な板の上において逆毛梳かしで梳きますと、どんなもつれでもさけて了ひます(東京美容院德川千代子さん談)

日本髮用かもじ 右から…根かもじ、びんみの、ばら毛、つりたぼ、前髮かもじ、横毛、かけみの

お惣菜向の支那料理(C)

叉・燒(チヤシウ)

豚肉を紅燒したものです、これにきざみキヤベツ、或はマッシユポテトをつけ合はし惣菜にも客膳にも上せられるおいしい料理です、又五目そば、その他の汁物に實として入れることも出來ます

▲材料(五人前) 豚股肉百五十匁、砂糖茶さじ二杯、食料紅少々、酒大さじ一杯、生姜少々、葱二本、醬油大匙四杯、キヤベツ適度

▲調理法 (イ)豚肉三寸角の拍子木に切つておきます (ロ)生姜を細かに刻み、丼に入れて紅、酒、醬油を加へ、葱は一本を二つに切つたものと豚肉とを加へてよくまぜ成べくは一晩位つけておくとよく味がしみて美味しいのですが卽席の場合でも三十分位はおかればなりません (ハ)肉をとり出して天板に載せその上に葱と生姜をのせ、ごく弱火で時々かへしながら卅分位蒸燒にいたします、天火のない時はフライパンに油を引き同樣にのせて上からもう一枚フライパンを鍋ぶた代りに被せ弱火にかけて燒きます、この場合は途中で一度かへして兩側とも燒きます (ニ)燒けたら葱と生姜をのぞき冷めてから薄く切つて皿に盛ります、キヤベツの纖切りを附合せウスターソースを添へて食膳に上せます

面白い統計 イギリス人は?

フランスの一統計ファンが最近英國人について次の樣な面白い統計を發表した

一、イギリス人は每朝食に鷄卵を總計一千二百萬個食べる
一、一日に飲むビールの量は二千五百萬パイント(一パイントは約三合に當る)
一、日曜日教會に通ふ人より映畫を觀に行く人の方が三十萬人程多い
一、イギリス人は三分間每に一組の割合で結婚する

卓上日誌

▲音樂會 愛國婦人會旅順支部では十月六日(金曜日)午後四時から高女講堂で同七時から昭和園で音樂會を開催、この收益金を軍事救護並に出動警察官慰問に充てると

▲吉田六郎氏 大連醫院小兒科にお勤めになつてゐた吉田先生が今般市內若狹町二十二に小兒科醫院を開業されました

わたしの結婚觀(七)

戀愛をスタートに 近頃の男の方は勇氣がない

大汽の 小泉道子さん

(寫眞は美しい小泉道子さんです)

神明高女から同志社の女子英文科を立派な成績で卒業され大汽船客部に唯一の女性社員として働いてゐらつしやる小泉道子さん(二三)を訪れた記者は、そのしとやかな美しさと、高ぶらない上品さと、教養にすつかり驚いてしまひました道子さんにはインテリ女性特有の理智的な冷たさはなく溫かい愛情の持主であることを物語るやうな優しい輝きを持つた瞳……笑ふたびに左の頰に出來るエクボ……何となしに人懷しい感じがたゞよつてゐました。

……◇……

近頃の男の方つてさあ……社會の影響もありませうが勇氣がないやうに思はれます、例へば自分の抱負や思考等勇敢に發表したりする點等において又婦人に對する見解も私には不滿足に思はれます、人間は兩性が互に補充し合つて向上するものですから婦人の立場の過去から現在への動き等理解すべきであり無關心であつてはならないと思ひます。――目醒めて來た女性がかつての隷屬的な立場から脫しやうとする惱みと、男性への反省をうながすにたるものが道子さんの言葉にもられてゐます。

……◇……

戀愛決して享樂やなぐさみを意味するものでなく魂をゆすぶつて希望に生き大きな愛の下にお互を助長し向上させ生きる道を與へてくれる美しい力だと思ひます、そして當然結婚もこゝから出發すべきでないでせうか、正しい見解と信頼の上に立つ男女の交際、その結果結ばれる結婚……一番無理のない自然な道程であると思ひます。この意味で私は戀愛結婚が最も理想的な結婚だと考へます、ですけれど見合から始まつて正しい交際期間を經て結婚に到達する見合結婚も現在の日本に於ては喜ばしいものだと思ひます。えゝ勿論或程度までは經濟的に惠まれてゐることが望ましいです、でも經濟的にも惠まれ愛情の上でも滿足出來るつて仲々大變でせうね……。

……◇……

從來の家族制度ですか、さうですわね、もつと改めたいと思ふ點が澤山御座いますけれどご氣付いたとは……自分の時間を持つべきではないか知らと思ひます、餘りに家庭にとらはれ過ぎることは、考へるべきことでも少し解放的であつていゝと思ひます。

……◇……

最後に道子さんは五・一五事件の被告について、こんな御感想をお洩らしになりました。

「勿論あの方達の愛國心は尊いと思ひますが、も少しなんたうな手段はなかつたでせうか?」

「併し三六年の日本の危機を認識したら……?」

「若いといふことは……?」

さういつて道子さんは沈默されました聞けばこの方も減稅運動の歎願書にサインした一人とか……

ラヂオ

大連 JQAK 九月二十七日

▲午前六時 ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分 ラヂオ體操第一
▲午前十一時 相場(錢鈔、特產株式、各地相場)
▲午前十一時五分(新京より)講演「滿洲に於ける軍用犬の狀態に就て」關東軍獸醫部長渡邊中
▲午後零時十分 相場(錢鈔、特產、株式、各地相場、公設市場値段)ニュース
▲午後三時三十分 相場(錢鈔、特產株式、各地相場)ニュース
▲午後六時 ニュース
▲午後六時三十分 子供の時間 (一)コドモノシンブン (二)齊唱「運動會」大連下藤小學校三年男神山政孝外二名 (三)齊唱「さんび」三年女中村玉子外二名、補導黑子先生 (四)對話「十五夜」三年男女島田トシ子、三宅テル子、大山忠、補導佐賀田先生 (五)齊唱「飛行機」六年女野村島小夜子外七名 (六)獨唱「我が駒」六年女佐藤博子 (七)二部合唱「船出」六年女古賀美惠子外七名、補導笠木先生
▲洋樂 (一)ソプラノ獨唱山本幸子イ「椰子の實」島田英雄作ロ「早春賦」田中章作 (二)アルト獨唱加藤富子イ「秋の月」瀧廉太郎作ロ「歌の翼」メンデルスゾーン作
▲新日本音樂 一「春の初花」久本玄智作 二「春興」久本玄智作 三「輝く陽」箏木村佳子、尺八西村的山、第一箏木村佳子、尺八西村的山、第二箏福森勾當、尺八西村的山
▲筑前琵琶「川中島」町田旭霙
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

東京 JOAK 九月二十七日

▲午後六時三十分(廣島より)講演「求道と人生」福島政雄 ▲午後七時管絃樂(新交響樂團練習所より中繼) 一、歌劇「ソロチンクの市場」序曲ムソルグスキー作曲 二、交響詩「中央アジアの曠野にて」ボロディン作曲 三「マドリッドの夏の夜の思ひ出」グリンカ作曲、日本放送交響樂團、指揮ニコライ・シフエルブラット ▲午後七時三十分俚謠野澤神樂獅子舞神歌一「劍の舞岩戶開き」二「御幣舞惡魔祓ひ」唄太鼓河野滿治郎、同片野精一郎、笛粋上俊士、同森虎造、獅子河野正治、同富井周作 ▲午後七時四十五分連續講談「安政の大獄」(第壹講)伊藤痴遊

本社特選 新棋戰(其四)

平手 先四段 △市川一郎 / 四段 ▲加藤富久

【圖は六七金迄の局面】 △市川氏持駒歩

▲九二香 △七七桂 ▲八五歩 △同桂 ▲同桂 △同歩 ▲四五歩 △同銀左 ▲三三桂 △三四銀 ▲同銀 △同飛 累計六十九手

土居八段講評 加藤君の八五歩の仕掛けは無謀で、却つて自己の玉頭に危險を生じた、茲は六五歩突きの心算の下に一旦五三角と上り敵の八、九兩筋を狙へば面白い、續いて四五歩以下の指手も却つて敵の飛車銀に活躍さるゝ模樣となり形勢一變したのは評者の諒解に苦しむ愚手である、九五歩とつき敵同歩なら九八歩、同香八六桂と打つところ、又九五歩に對し敵八四桂なら同銀、同歩、九六歩の取り込みにて面白い。

萩原七段解說 加藤氏の九二香は八五歩突を逸した爲に指し手に窮したので九二香と上つたのである、之れは模樣に寄つて九一飛と廻り端よりの仕掛けをも含むものである、市川氏の八五歩に對し同桂は至當同歩と取ると同桂、八四歩と打たれ反つて後手を招くので八五桂と取つたのである、加藤氏の四五歩は以下三三桂の順になつた時三四銀と出られるのを見落して、三四銀で五四銀と引かして四四桂打の順でよいと思つたのであらう、市川氏の三四銀は當然で、五四銀では四四桂と打たれて惡い。

第廿八回 滿日特選碁戰

三段 渡邊英夫 / 先 初段 松林茂比古

百八十二手(完) 白中押勝

滿日各地版

九・一八に失敗して擾亂團又蠢動

支那側青シャツ黨を組織し反滿抗日の潜行運動

【奉天】九・一八記念日當日を期して一齊に活動を開始すべく南支方面から潜入した不逞團も日滿當局の嚴重なる警戒のため遂にその目的を達することが出來ず依然としてその機を窺つて居り、一方反滿抗日に躍起となつてゐる南京政府では九・一八當日の擾亂に失敗したため更に最近では日滿要人暗殺隊としてブリニージヤケツ團(青シャツ黨)なるものを組織することもに過般來より募集中であつた朝鮮獨立黨及び朝鮮民族解放運動の團員をこれに配合參加せしめ滿洲國に派遣飽くまで反滿抗日を企てることゝなり彼等は既に上海を出發北上しつゝあり、滿洲國當局では嚴重警戒を行つてゐる

瀋海線愛護村建設懇談會

【奉天】鐵路總局の國鐵愛護村建設運動はます〳〵盛んであるが瀋海鐵路局では二十三日撫順縣、瀋陽縣の兩縣長を初め多數要人知名士集合の上相原撫順守備隊長等出席産業開發文化向上の鐵路に依存する處の多大なる事を力說し更に鐵路の愛護について種々懇談し有意義な會合であつた

二千名參加 學生聯合大演習

廿六日から始まる

【奉天】秋晴の滿洲の曠野で華々しく行はれる州外中等學校(醫大豫科生も參加)聯合秋季大演習は本年も愈々廿六、七の兩日遼陽、鞍山間で擧行される事になり、南軍の第一中隊である奉天中學校生徒二百八名は教官、職員に引率され二十六日午前五時發列車で鞍山に又北軍である醫大豫科生百六十名も同日午前七時五分發列車で遼陽に向け出發したが

この演習は北軍の鐵道輸送を防止し首山を占領して南下するを阻止する目的を以て二十六日朝大石橋を出發した南軍は午前八時頃鞍山に到着し北軍約四百名は二十六日午前九時遼陽に下車し南進中との報告に接し直に第一中隊が尖兵中隊となり目的地に向け強行軍で前進續行……との想定の下に首山、橘山に於て兩軍圖らずも出會し廿六日正午頃花々しい遭遇戰を展開、目的を達した南軍は鞍山まで後退して同夜は同地に前哨線を張り露營、暗中南軍の狀況を探索しつゝ、南進中の北軍と廿七日拂曉戰を演じ演習終了、次いで鞍山練兵場に於て分列式が擧行され解散することになつてゐる

北軍は安中、新京商業、醫大豫科その他新京、四平街、鐵嶺、奉天本溪湖、安東、遼陽、蘇家屯の各青訓生それに機關銃隊、野砲中隊參加、又南軍は奉中(第一中隊)鞍中(第二中隊)撫中(第三中隊)撫鐵(第四中隊)その他鞍山以北各地青訓生、野砲中隊、機關銃隊參加し總人員二千餘名に達するので若人の意氣に燃える遭遇戰、秋晴の曠野に轟く銃聲等相呼應して實戰以上の興味ある演習が期待されてゐる

支那內地の旅行 邦人も支障なし

支那側護照を發給

【奉天】南京政府に於いては滿洲事變以來邦人の支那內地旅行は支那人との紛糾を惹起する恐れありとて護照を給しなかつたが最近に至り各地の情勢も概ね平靜に歸したので危險區域を除き邦人の支那內地旅行者に對し護照の發給捺印をなす旨各地方政府に對し訓令を發した

樺太の養狐事業 滿洲でも有望

詳細な研究に着手

【奉天】奉天居留民會においては內鮮人の副業奬勵のため養狐事業の適否について研究を重ねつゝあるが各方面より多大の興味を持たれて居るので養狐事業に多年の研究と經驗を有する樺太廳農林部に詳細調査報告方を依頼したがそれによると現在樺太において飼育中の種狐銀黑狐二頭の價格六百圓以上千二百圓にて普通七八百圓である、飼育に際して一日一頭の給與食量は干鰊廿五匁、野菜適宜、穀類十匁、肉類五十匁、肝油少量、骨粉少量、牛乳五勺にて滿洲においても有望なる副業として期待されて居るので氣候風土、飼育方法について更に詳細な研究をなす事になつたが毛皮の相場は銀黑狐上等三百圓中二百圓、普通百五十圓十字狐百圓、紅狐九十五圓赤狐五十圓であり毛皮の需要は海外において徐々增加しつゝあると

本溪湖地委戰 無競爭か

【本溪湖】本溪湖地方委員選擧は期日の切迫と共に猛烈なる白兵戰が展開されんとするに至つたが、煤鐵公司は從來の公司側候補者三名を一名引退せしめて守屋、阪田の兩氏を推すこととなつて、市中側候補者五名を全部當選せしむるといふ推量を示したので、さしもに大混戰を豫期された本溪湖の選擧戰も颱風一過平穩におさまり、各候補者は悠々無競爭當選といふことになり、市中側は春華秋實一時に來たるの觀を示してゐる 併し無競爭當選の平和を破らんとする策謀もちらほら聞え出てゐるので各候補者とも未だ戰陣を堅くして油斷怠りないが目下の情勢では今期は無競爭は免れ得ない模樣である

旅順案內書 編纂委員會組織

各方面の權威者を網羅

旅順市案內書は種々あるがいづれも多少の間違ひがあり且又不統一である爲め今回之れが統一をなす爲め旅順市役所では陸軍側より飯野要塞參謀、海軍側より加世田參謀、戰史研究者として大塚大佐の外平井民政署庶務課長、島田博物館主事、今井女學校長、村上、中村兩議長、岸田助役等を以て組織せる旅順案內書編纂委員會なる機關を設け來る廿七日午後一時から第一回委員會を開催する事となつた

奉天大東區 分校新設

【奉天】民會管內殊に最近大東區方面在住の邦人が日々增加し之等の子弟は何れも敷島小學校に通學しつゝある狀態にて通學兒童は勿論その父兄も多大の不便を感ずるところから大東區に敷島小學校の分校を設置すべく計畫中にて既に民會より總領事館を經て滿鐵當局に要請中であるが更に二十七日野口民會長が赴連し滿鐵と具體的折衝をなす事となつたが校舍は本年度中に決定し來春より開校の運びとなる模樣にて現在大東區方面よりの通學兒童は二十一名にて明春は七八十名に增加の筈である、なほ朝鮮人普通學校、高等普通學校の將來その論が擡頭しつゝある

鄭總理の詩行腳

鄭國務總理は二十三、四日の休日を利し目下來京中の詩家國分靑崖、長尾雨山、仁賀保香山、土屋竹雨氏等と秋の吉林を尋ねて清遊を行ひ直自來水局(水道局)農事試驗所等を視察し二十四日午後四時半着にて歸京した(寫眞は吉林北山關帝廟にて一行の記念撮影)

二年前を顧みて(八) 實戰參加勇士の手記

河本中尉

茲に二年前の當時を追憶すれば舊東北軍閥の暴虐無道の行爲が目前に彷彿として現れ今尚鐵拳を振はざるを得ない感に打たる

◇

正義人道に走る我大和民族を、また無盡の力を有する我神國を何等認識せぬ野犬に等しき學良麾下の舊軍閥は徒らに吠え、暴威を振ひ我國を蹂躙し、極度の侮辱を與へたのである

彼の萬寶山事件、中村事件「ビラ」「ポスター」または講演等による排日宣傳、小學校生徒に對する排日教育等の行爲を擧ぐれば枚擧に遑がない

これ等行爲が積り積つて遂に北大營正規兵の鐵道爆破となつたのである

◇

當時北大營第六百二十一團の正規兵は柳條溝北方の煉瓦燒場附近に隱れて午後十時ごろ我等巡察兵の通過した後を爆破した、この時の物凄い爆音は今なほ耳に殘り、天に沖する濛々たる黑煙の有樣も目の前にぶらついて居る

◇

彼等は將校の指揮する六、七名の兵員を以て直接鐵道爆破に當て其後方には約四、五百の兵員を以て之が掩護をなさしめて我巡察兵を猛射した、此の計畫的の彼等の仕打ちには如何に我慢しやうと思つても我慢が出來ないで遂に勘忍袋の緒を切つて火蓋を開いたのである

其の日夕刻彼等が軍用電話線を切斷して居た爲携帶電話器に依る中隊及大隊への報告は全く通せない此の電話報告が水泡に歸するや中隊へは徒步の傳令を又大隊へは柳條溝分遣隊へ馳け付け報告の手段を採つた

◇

此の狀況を知つた川島大尉の指揮する虎石臺中隊は午後十一時過ぎ疾風迅雷の如く我等の戰鬪地點に到着した

◇

敵の一部は我中隊に向ひ攻擊を指向したので最早容赦すべからざるものと中隊長は決心し線路上より敵を猛射することを命じた、我威力に堪兼ねた敵は逐次北大營內に敗退するに至つた

此正規兵の計畫的になつた鐵道爆破この挑戰に對する我軍の行動を檢討すれば何人も首肯するであらう中隊長は益々攻擊の決心を固め演習服裝の儘の兵員僅かに百餘名を提げて約一萬を有する北大營の一角に突入した

◇

正子過ぎに奉天より島本大隊長の率ゐる二ケ中隊が來り北大營總攻擊前進の命令が發せられた

各中隊は各所に於て抵抗する敵を攻擊し敵に四百以上の遺棄死體の損害を與へ、無數の兵器を押收し翌朝太陽出づる頃には全く北大營を占領し故國に向ひ萬歲を三唱したが

此戰鬪にて護國の神と消えし新國士に對しては萬感胸に迫り悶々の情禁する能はなかつた

◇

國際聯盟より派遣せられたる「リツトン」一行はこの當然なる我行動なるに拘らず毛色が違ふだけに遂に理解するを得ない

否理解しても理解しない振りをしたのである、然るに權益擁護に基く我帝國の決心は斷乎として微動だにせず遂に國際聯盟より脫退するの餘儀なきに至つた

我帝國の將來は多事多端にして此重大危機に遭遇せる吾人は一層覺醒を要し更に滿洲事變二周年の日を迎ふるに當り、益々軍民の協力一致日本精神を一層熾烈ならしめ國防の完璧を期するは最大の急務である

◇

茲に當時を追憶し戰死者の靈を弔ふと共に所懷の一端を述べた次第である

邦人ルンペンが意外、自轉車泥棒

生活に窮しての盜み

【奉天】當地附屬地內でも每日の如く數件もある自轉車盜難の犯人は滿人とのみ考へられてゐたが、最近生活に窮した邦人ルンペンが自轉車を窃取するといふ不況の裏面を如實に物語るといふ世の中となつた、二十四日午後十時頃市內藤浪町九番地飲食店大久保吉一が自轉車に乘りオーシヤン倶樂部に赴き內に入つた隙に乘じて玄關に置いてあつた大久保の自轉車を窃取し逃走せんとしたものあり直に追跡逮捕し本署につき出したが、この奴は意外にも邦人で熊本縣生れ住所不定無職野口實(三一)と稱するルンペンで生活に窮しこの始末に及んだもので目下引續き取調中である

安東の市民運動會

【安東】安東市最大の行事である市民運動會は二十四日午前八時から爽涼の鎭江山麓グラウンドで開催された、全市を地區的に赤、白、紫、青の四組に分ち得點を爭ふ責任競技に爆笑を誘ふ一般競技に各組とりどりの應援物凄く大觀衆はひねもすどよめき賑つた【寫眞は各組責任競技選手の入場式】

大谷紝子裏方

【營口】大谷紝子裏方は廿五日午前十一時四十分營口に到着した此日驛は早くから掃き清められ本願寺信徒並に世話役有志婦人團等一同出迎へ、裏方一行を乘せた列車到着するや福原本願寺住職は先導して列車より降り續いて裏方並に從者と順々に出迎への小學生、婦人團、信徒、有志の群衆に一々答禮して一と先づ驛長室に入り少憩この間訪問者に面接一々答禮終つて差廻しの自動車にて一旦清林館に入り晝餐をとり午後二時より營口本願寺に於て法要に列し午後三時過ぎ滿鐵小蒸汽船にて遼河を視察し午後六時より小學校講堂に於て信徒及市民有志の歡迎宴に望んだ

宣撫班出發

【奉天】奉天省治安維持會を設置された移動宣撫班三ケ班は曩に寬甸、岫巖、柳河方面を中心として宣撫工作を行ひ豫期以上の成績を擧げて去る十九日無事歸奉したが更に獨立守備隊石橋宣傳主任、情報處大櫻主任、平山股長等の訓練を受け準備萬端なりて二十五日朝關係機關の盛んな見送りを受けて第一班は開原より西豐方面へ第二班は鳳城縣東方地帶へ第三班は東豐西安方面へ何れも元氣旺盛出發した

防疫班を組織して奉天驛で望診開始

奉天のペスト豫防策

【奉天】洮南、農安方面のペストの猖獗に鑑み奉天でもこれが豫防のため去る二十日滿衞生機關代表者は奉天地方事務所に參集し防疫會議を開催したことは既報の通りであるが、その第一期計畫として二十六日から野村紙幣檢査所長が班長となり四名の防疫員と共に奉天驛に出張し列車到着每に乘降客の望診を行ふこととなつた、又一般市民に對しては捕鼠、蚤、南京虫等の驅除を奬勵すると共に奉天署では防疫に關するポスターを各要所に貼付する外講演會を開催し防疫上の大宣傳を行ふことゝなつた、尚第一期の狀況を見て第二期の對策を講じ實施する筈である

から列車到着每に驛改札口にて防疫員により降車客の檢診を開始、萬一被疑患者を發見した場合は一人宛隔離個所に收容し防疫上絕對遺漏なきを期する事となつた

チチハルのペスト對策

【チチハル】黑龍江省警務廳にては過般來四洮沿線にペスト發生し逐日蔓延の兆あり四洮、洮昂線旅客によつてチチハルに傳播の恐れあるに鑑み取敢ず二十一日から江橋、三間房、チチハル三驛にて通過客の望診を行ふ事に決定したがチチハル驛にては二十一日早朝

彰武の豫防

【奉天】ペスト發生地打通線彰武においては我方派遣の警察官と滿洲國側と協力して通遼方面より來る乘客に對し十九日より徹底的調査を開始すると共に在留邦人の衞生に注意を與へ打通線によるペストの侵入を防止しつゝあると

錦縣農事試驗場

十月一日開場式擧行

【奉天】滿洲國實業部では農業の開發の爲めに滿洲農學會の創設を始め着々其の具體化を計つて居るが奉天省錦縣農事試驗場兗山農事試驗場の開設を企圖し錦縣小嶺子の奉天省農事試驗場はいよ〳〵來る十月一日開場式を擧行する事となつた、尚該試驗場は主として棉花煙草の試驗に當る筈で兗山試驗場はもう今年中には開場の運びに至るべく其處では主として小麥の試驗に當る筈である

戰跡リレー選手 旅順の推戴式

【旅順】來る十月十七日擧行される戰跡リレー旅順市代表選手推戴式は二十五日午前十時から昭和園において擧行米岡市長、上島監督よりの激勵辭あり、次で宮本選手より各選手を紹介の上一同を代表し必勝を期する旨を述べ答辭に代へ茶菓を喫し閉式、因に旅順の各選手名並に所屬を示せば左の如し

宮本平次郎(體研)米岡律(市)福永建三(市)藤松頼(博物館)杉山祐安(市)富永勉(地方課)積秀雄(刑事課)安永豐(調査課)柳澤忠次郎(市)積嚴(博物館)宮崎繁治(土木課)

チチハルの晩秋 水銀柱は下り坂

【チチハル】蕭々たる晩秋の雨にチチハルの氣溫は俄に低下し朝夕は冬來るの感を抱かせてゐるが滿鐵事務所の觀測によれば

	最低	平均
十六日	七度三	一四度三
十七日	六度四	一五度六
十八日	一二度一	一八度六
十九日	一一度二	一六度八
二十日	七度〇	一一度七
廿一日	五度六	一一度五

と水銀柱が愈々下り坂へ凋落の一路を辿つてゐる事を如實に現してゐる

ス總領事歸哈

フラルチに滯在靜養して

【チチハル】駐哈蘇聯總領事スラウツキー氏は過般來病氣靜養と稱して富拉爾基に滯在中なりしため其の行動を注視されてゐたが、滯在中何等疑念視すべき行動もなく河遊び等に興じ二十日午前一時半同地發國際列車で歸哈したと

本溪湖日滿教育座談會

【本溪湖】本溪縣公署は縣內に於ける教育機能の刷新と機關の充實に關心を注いで着々と其の實現を期してゐたが、其の一として日滿教育座談會が二十三日午後一時から本溪湖小學校に開催された 出席者は滿洲國側教育者十四名それに教育局長、同課長二名及び縣參事官、同副參事官、日本側から教育者二十一名、管理者父兄會長等出席した、一行は先づ校內を參觀しそれより各自の教育に關する研究を發表して懇談にうつり互に腹藏なき意見を吐露し、秋晴れに輝く校庭に黃昏がせまる頃まで懇談は續き最後に會食して散會

鞍山の競馬

【鞍山】鞍山競馬倶樂部主催秋期競馬會は十月六日より向ふ六日間滿鐵西馬場に於て開催さるゝこととなり、二十三日許可されたが、單勝式勝馬投票及福券附入場券等前回同樣である

北村博士留學

【奉天】滿洲醫大皮膚科助教授北村精一博士は皮膚科學研究のため一ケ年半の豫定で歐洲各國大學留學を命ぜられ二十五日十三時四十分のはとで奉天大連經由で出發した

遼陽片々

▲西本願寺裏方は廿四日午後零時三十分遼陽に到着信者を初め多數官民の出迎へあり忠靈塔に參拜した後本願寺で一場の法話をなし午後六時から歡迎會に臨み翌二十五日午前八時三十四分發列車で營口へ▲定員八人の地方委員も七人迄は名乘りをあげるとか發表するとかは別として兎も角現はれた未だ一人定員に不足今明日には定員には達するならん▲今回こそ運動もいらぬ譯七票か八票あれば選擧規則で當選者となるのだもの樂なことだ▲全國神職會理事一行五名二十五日來遼忠靈塔參拜、衞戍病院軍隊の慰問をなし北行した▲滿鐵弓道部福島教士、三浦幹事が二十四日來遼午後一時から遼陽弓道場で進級試驗を施行したが受驗者は現四段、岸、小山三段片桐、山野井、熊谷、初段姫野、平井、足立一級森、吉村、長澤、福島の諸氏

旅順放送

▲文英堂書店主催全旅順アマチユアー庭球大會は二十四日午前九時から博物館コートに於て開催出場チーム三十五組にて優勝戰は民政署對タイガーであつたが四對一の戰績を殘し民政署軍榮冠を得主催寄贈のカップを受領した▲明治町十二ノ二岩井鐵吉氏方では十日四女昭子さんが出生▲要港部二等水兵菊地秋定(二三)君は(愛媛縣中津川信次郎氏二男)二十三日腳氣衝心にて死亡

撫順の火事

【撫順】二十日午前一時頃撫順西三番町三一番地吳服雜貨商福順增梁友鵬方の倉庫より出火、その大半を燒き盡し三十分後鎭火したが損害額一千圓の見込である、出火原因については放火の疑あり目下嚴重取調中

奉天の小火

【奉天】二十四日午前十一時四十分ごろ松島町十四番地建築請負業岩本德松方炊事場より發火し消防隊の活動で大事に至らず消し止めたが原因は煙突の不完全、損害七十圓

孫其昌省長歸齊す

【チチハル】黑龍江省長孫其昌氏は中央政府と重要事務打合せのため約三週間に亙つて滯京中であつたが、一段落ついたので二十日午後十一時中東驛着北鐵で歸任した

敦化領事分館

【奉天】吉林總領事館敦化分館は草野副領事の着任と共に去る十七日より事務を開始した

社告

本社は九月二十五日付左の通り金州支局擔任者の更迭を行ひました

金州支局通信員を囑託す 松尾佐市

解任す 金州通信員 江口光夫

昭和八年九月二十六日

滿洲日報社

圖解滿洲産業大系

全國民の寶典滿洲産業案内最高權威

全五册!!（定價一册二圓五十錢　送料二十七錢　滿鮮五十五錢）

四六倍判天金クロース上製箱入美本・原色刷三葉入・アート紙美術寫眞統計地圖二〇〇餘頁及解說記事三二一頁（斯界の諸權威者執筆）・實物見本全國書店に有り

既刊
- 第一卷　農業篇　上　六月廿日第一回配本濟
- 第三卷　鑛業篇　上　七月廿日第二回配本濟
- 第二卷　農業篇　下　八月廿日第三回配本濟

近日配本
- 第四卷　鑛業篇　下
  解說・滿洲に於ける化學工業鑛産資源槪說・（滿鐵計畫部岡崎直喜）滿洲の銀・亞鉛鑛及銅鑛（滿鐵地質調査所原口九萬）滿洲における鑛業總論（理學博士　村上飯藏）
  寫眞及統計圖大略菱苦土—苦灰土—石灰石・耐火粘土—礬土原岩・銅—鉛—亞鉛—銀・黄鐵鑛—硫黄・滿俺・黑鉛・滑石—石綿—螢石—硅石—長石—方解石・天然ソーダ・石材・其他鑛石
- 第五卷　各種工業篇　十月廿日配本

拓務大臣　永井柳太郎・文部大臣　鳩山一郎
陸軍政務次官兼滿蒙資源館長　土岐　章其の他諸權威者絶讃の空前絶後の大快著!! 會社學校・圖書館・全國家庭に必ず備へよ。

十月號出來!!

定價各五十錢　送料各二錢　半年三圓一年六圓

陸軍　海と空

飛行機の山岳征服!!
世界陸軍大畫報!!（未發表の珍しい寫眞、飛行機、山岳、雲、兵器軍裝等々）

目次＝關東防空演習觀戰記（技術本部町田大尉）陸軍と現代化學（科學研究所長久村少將）滿洲事變の懷古（調査班藤堂中佐）劍銃と彈丸（陸軍大學教官資藏寺中佐）空中より見たる支那軍の陣地と戰鬪法（辻航空兵大佐）山岳と飛行機（大掘少將）青少年戰史・クリカラ合戰（新聞班松井少佐）軍用氣象の話（能登大尉）列國歩兵の軍裝と兵器（平野中佐）海外軍事ニュース。

大觀艦式記念特別號!!（アート刷り美術寫眞三十數頁、空中より又海上より本社寫眞班により撮影せる一大盛觀他誌に斷じて見能はざる記念大畫集!!）

目次＝四大海戰の勝敗とその主將（安保大將）防空演習と航空母艦の威力…（古田中大佐）佛國の潜水艦…（福田少將）航空母艦の話…（岩本中佐）列强の驅逐艦…（廣瀨大佐）ヴエルダン空中戰手記…（磯部機關少佐）成層圏征服飛行…（吉田少佐）世界航空記錄畫解・帝國軍艦圖解・グライダーはどうして飛ぶか…（白石工學士）近代海戰は斯くして戰ふ…（江口海軍大尉）

兵營の異聞と秘話

陸軍省新聞班つはもの編輯部著

定價三十五錢　送料四錢

好評・軍隊學校靑訓軍教　注文殺到!!

兵營は血氣盛な各種階級の壯丁が集る一社會の縮圖、軍規整然たる中にも人間生死苦樂の種々相を示現したユーモアあり激情あり過誤失態あり慈悲罪惡父なきにしもあらずである。本書は現しか興味津々たる軍隊生活の表裏實相を忌憚なく表現し反省自得せしめんとする中に自ら讀者をして興味と感激・教育と修養の爲めの好讀物!!

軍隊生活の表裏を忌憚なく寫せる珠玉の如き名作品在營者は勿論入營者も一般國民も必ず讀め!!

海鼠は祈る（滿洲國旅行記）

陸軍大學校兵學教官　陸軍砲兵中佐　寶藏寺久雄著

定價一圓八十錢　送料十二錢

全陸軍切つての名筆・日滿兩國人必讀の快著!!

陸軍大臣　荒木貞夫閣下題
陸軍大將　眞崎甚三郎閣下序
陸軍大學校長陸軍中將　廣瀨猛閣下題
陸軍大學校幹事陸軍少將　今井清閣下序

之こそ國防經濟産業讀本・地歷風俗教科書とも云ふべく滿鮮の山野都市を敍して寫眞あり短歌あり俳句あり興味津々驚異的一大藝術品＝日滿兩國の軍人教育家政治家實業家中小學生は勿論老人にも一般婦人にも必讀必携の良書!!

眞崎陸軍大將曰く『寶藏寺中佐の「海鼠は祈る」を讀むに滿鮮の風物見るが如く其間中佐獨特の指導精神を藏するが如し而して非常時內外の狀勢と滿洲國及朝鮮の實相とに即し其の可なるもの多きを認む。我が國民一同は非常時を認識し各自其本分に向ひ一層邁進するを要するの秋本書は各種の意味に於て好參考書たり。切に一般各位の閲讀を望み之を廣く江湖に推奬す』以て本書の眞價を知れ!!

好評嘖々!!　注文殺到!!　即刻申込め!!

東京市麴町區內幸町一ノ四　振替東京四〇五七四　**新知社**

測量機及製圖用品　內田洋行　大連市連鎖街　電四八五六番

婦人倶樂部十月號、毛絲編物の本が二册ついて大賣行!!

第二別册附錄　毛絲模樣編み二百種

三版出來

婦人倶樂部十月號は、大變な賣行です

編物の本が、二册一度に揃ふ、本誌の愛讀者のみが持つ大特典!!

呉々も大急ぎ、お求め下さい。

惚々する樣な素敵な模樣の編み方二百種發表

毛絲編物をなさる方が一番苦心工夫をなさるのは何とか變つた模樣を出して見たいといふ事です。この要求にピタリと當てはまるのが『婦人倶樂部』の模樣編の本です。

各種の編物に自由に應用出來、重寶此上なし

美しい模樣編物はトテモ高價ですが、それが、子供もの、男子もの、婦人もの、老人もの、その他各種の編物に自由に應用出來ますから、これ一册あれば、トテモ便利で、素敵な模樣の編物が出來るので大評判です。

說明が親切で行屆き誰方にも直ぐに出來る

カード式や、從來のもの、缺點をスッカリ改め十分に、よく分るやうに、寫眞や圖解を澤山入れ、說明は極く／＼丁寧につくしてあります。

賣切れぬ中に、早くお求め下さい。

▲尚、お子樣方へのお土産として附錄本『凸凹黑兵衞』を贈呈！

定價六十錢　東京本鄕　大日本雄辯會講談社

結核　胃腸　衰弱　ポリタミン

消化不良の者にも容易に吸收されて筋肉や血液を補ふ

消化液の分泌を促し食慾を進め併せて胃腸を強くする

衰弱を去り体質を改善して結核に對する抵抗治癒力を強める。

アミノ酸の濃厚劑なれば少量で充分であり香味もよい

小瓶（一圓五五錢）　中瓶（二圓五〇錢）　大瓶（四圓五〇錢）　全國藥店に販賣す

四百五十醫學博士御推奬

發賣元　大阪　株式會社武田長兵衞商店
關東代理店　大阪　小西新兵衞商店
製造元　大阪　大五製藥株式會社

雜誌週間記念の大奮發で――

『キング』十月號凄じい大賣行！

初版、再版、忽ち賣切れ、全國大騷ぎの所

第三版出來

●日本一の尨大な本誌に添へ
●非常時同胞必讀の「名著」を附錄として贈呈

流石はキング！　奮發の上の大奮發！

諸名家の絶讃　滿天下の熱烈な聲援により

賣れるく全く天井知らず

まだ御覽にならぬ方は、又ぞろ賣切れぬ中、大急ぎお求め下さい。

●別册附錄つき五十錢（送料八錢）

東京・本鄕　大日本雄辯會講談社（振替東京三九三〇）

産婦人科　岩男醫院

大連市三河町十八　電話六四六六番
岩男診察室　保科診察室

リン病コシケ　別府淋藥の大好評

別府鶴水園岩里天然堂家傳別府淋藥は血ウミイタミコシケにキ、メ速く副作用無有効の高貴温泉名藥にて益々高評な博せり急性慢性惡性治らぬ人は七日飲めよ申込次第新品送　藥價三圓、五圓、十圓

小兒良藥　ヒヤ奇應丸

愛育の祕庫　名藥の鍵

そこにこそ　救急――治病――保健――の三大藥効が待つ

主効　カン、ムシ、キツケ、ヒキツケ、チエ熱、風熱、ムシ熱、チ、アマシ、夜泣、青便、胎毒下し、ホウソウ、ハシカ、胃腸衰弱、其他弱イ小兒

藥價廿錢より十円まで

「育兒之友」無代進呈　新聞名記入本舗へ

大阪天滿橋　樋屋合資會社　振替大阪二二六〇

K—S—3

チクオンキなら定評ある田中へ

大連伊勢町

洋家具と室內裝飾　連鎖街　カシノ洋家具店

命は食に！

見るからに　飲むからに　食慾唆る色＝香＝味！　赤玉食前の一杯は　唾液の分泌と胃の活動を促し　剰え　それが實際に消化を助ける力となるので　自然　著輕る　手輕うに　榮養補給が出來るわけ！

補血　强壯　ぶどう酒　赤玉ポートワイン

「食前に赤玉」この良習慣を守りませう

461

情痴行進の系圖を語る【亡き青柳貢の手記】

夫人と知合になつたのは昨年の暮或る喫茶店から私の五年前の音樂の講師で御幡氏が只今○○喫茶店に例の二人とお茶を飲んでゐるから會社歸りに寄らないかとのこと

例の○○夫人とはかれ〴〵噂になつて居た、私の友人松谷夫婦や御幡さんから聞いてゐた、實に高慢ちきな虚榮の高いいやな女とのこと、皆常盤橋メソヂストの信者、どんな奴かと一つは好奇心に驅られて退社後喫茶店にゆき御幡夫人に紹介されました、成る程いやな女でした

◇……◇

その後クリスマスイヴニングの夜遼東レストランで偶然御幡夫人が例の夫人を連れて來られました、その時もいやな感じがしましたがその後度々夫人の呼び出しを受けました、始め二三回は辭退しましたが或る日遼東レストランで待つてゐるから是非とのことに私も夫人に誘はれるのは初めてなので一人で行く勇氣はありませんので、友人二人と參りました、六時近くになりましたが夫人は一向に歸る氣配がないので皆が歸ることを勸めました、夫人曰く「何おやぢ・・・位かまひません、少し位遲くなつても」これには皆もちよつと驚きました、間もなく仕方なしに歸りました、その後一日に二、三回はかならず電話がかゝるやうになりました、それは私の横にゐる小○が好く知つてゐます、彼が取繼ぐ時三度の內一回かゝる位で、後は席にゐないとか、まだ來てないとか逃げてゐました、そんなに嫌なら何故お茶飲みに行つたかとお尋ねになるかも知れませんが餘りの勸めに對して可愛想な氣もしたからです、或る時はおやぢ・・・が宴會だからダンスに行かうとか、夕食を共にしようとか色々ありましたが、ダンスに二回程行きました、初めを快樂に、二度目をベロケに參りました、無論この日は主人が宴會にて留守の日でした

◇……◇

或る日電話で今晩おやぢ・・・が宴會だから是非お茶飲みにかダンスに連れて行つてくれとの事で承知しました、電話は必ず午前中會社にかゝるのです、一人で行くのが何んだか變なので私の横の席にゐる小○氏に何時頃○○喫茶店に來てゐるやう賴んでその日夕方會ひました、そして○○喫茶店に行くと小○氏と偶然會つたことにして三人で雜談を交し約三十分程して散歩に行き赤玉にゆきました、そこで十二時近くになつたので歸ることを進めましたが一向に平氣で「何時計を二時間程遲らしておくから大丈夫だ」と言つた調子」總てがこんな風でした

兒玉勝美

青柳貢

博士の共犯關係 愈よ濃厚となる
中薗に逃走用の大金を與ふ
峻烈な取調べ進む

有閑マダムの戀愛遊戲の犠牲となつた滿鐵用度課勤務青柳貢(二七)は一體誰の意志と手によつて慘殺されたか?この點は怪事件の核心をなすもので捜査本部では問題のキーを

握る 博士夫人と愛人中薗の逃走徑路を辿り追跡の手を遺憾なく伸ばす一方刑事を八方に走らせ兒玉博士の身邊を徹底的に洗ひ立てゝゐたが廿六日午後に至り博士が中薗に對し逃走のための「大金を與へた」といふ事實が中薗の口から某方面に洩らしてゐる事實を探知し俄然博士に對する共犯關係說濃厚となり留置中の博士に就き峻烈な取調べが行はれてゐる、博士が牧田沙河口署長を聖德街官舍に訪れて

自首 した當時は中薗が青柳を博士邸に連れ出し博士と夫人を前に兇行を演じ自分達は餘りの出來事に失神せんばかりであつたと供述してゐるがその後博士も漸次冷靜を取り戾しまた博士の身邊の事情が暴露して來るにつれ自首當時の博士の供述は全く疑問に包まれて信を置けないものとなつた卽ち直接下手人は中薗秀雄であることは最早や動かすべからざるものとなつたが博士が殺人共犯と見られる有力な資料として

一、博士は中薗を密偵に使ひ夫人と青柳が密會したり會食又散歩してゐた

事實 をいちいち報告させてゐたこと

一、博士が無關係なりとせば何故青柳と中薗が博士邸で會見、兇行を演ずるか?

一、兇行後博士自から被害者の腹部の傷口を縫ひ合せてゐるらしい點

一、死體を博士が手傳つて二階押入れの天井裏に隱匿した點

一、博士が事件後二十日間も屆出でを遲らせた點

一、博士が中薗に大金を與へたといふ點

等が擧げられ、これを綜合するに博士夫人は被害者青柳を溺愛してゐたので流石の博士も青柳さへなきものにせば……その意志の下に中薗をして

直接 手を下さしめたものではないかと見られてゐる、かくて世界的病理學の泰斗として學界に名高き兒玉博士の秘められた內面生活は漸次白日の下に暴露されんとしてゐる

新しい情婦 血の舞臺に登場
沙河口署で嚴重取調

有閑マダムから人妻へさらに私娼窟の女將へと情痴の世界を泳ぎ廻つた青柳殺しの元兇で博士夫人と

內地 へ逃亡してゐる中薗秀雄(二〇)と兇行後まで關係を繼續してゐたといふ新しい女が血で彩らる舞臺に登場した——

いま彼はいづこへ　寫眞は最近の中薗秀雄

それは市內信濃町ダンスホール大連會館のクロック・ガールとして一週間前まで働いてゐた佐賀縣生れ川原田ハツ(一八)で沙河口署谷川司法主任は二十六日午後二時ごろ密かに同女を召喚し事件前後の中薗に關する言動に就き嚴重取調を行ふところあつたが、その

結果 いよ〳〵中薗を眞の下手人と決定づける重要なる證據を摑んだ模樣である

ハツは去る六月福岡から來連、市內岩代町サロン・フミで瞳と名乘つて女給稼業中、色魔中薗と情を通じ約一ケ月前大連會館のクロック・ガールとして働くやうになつてからも情交を續け、彼女が會館を辭める直前、本月二十日頃まで毎日のやうに中薗から電話が掛り密會してゐた事實が判明、沙河口署の取調べとなつたので、從つて兇行後における中薗の

言動 を知る唯一人物として重要視されてゐる、彼女を岩代町の居所に訪れると最初留守を使つて記者との面會を避けたが最後に一寸顏を現し「警察から固く口止めされてゐますから」と逃げを打ちやがて二階へ姿を消して終つた

淋しい現在のすがた

殺人共犯の濃厚な渦中にある兒玉博士はいまどうしてゐるか、愛妻の亂倫、血潮の戰慄、良心の呵責と二重三重の精神的打擊にたへかねて遂に自首した兒玉博士は、流石に二十五日は興奮し切つて口も利けぬ有樣であつたが、同夜に至つてやゝ落着きを見せ沙河口署留置場に滿人犯罪者の間に混つてまどろかならぬ夢を結んだのであつた、それでも自首した安心さからか、その眠りは相當深いものであつたらしい、二十六日の晝間も殆ど居眠りを續け時々目が醒めると鐵棒いかめしい小窓から秋の大空を眺め深く何事か瞑想にふけつてゐる模樣であつた、母國に逃れ去つた愛妻勝美の幻を描いてゐるのか、或ひは失意のどん底に陷る原因となつた中薗、青柳に對する憎惡に燃えてゐるのか、博士の眼は常にうつろだ、最初博士はセルの着物にセルの袴を着けて自首したのであつたが、今は袴をぬいで無意識に着物の襟を絕えず搔き合せてゐる、秋冷が一しほ身にしみるのであらう、これが世界的に有名な醫學の權威者、醫學博士兒玉誠氏の淋しい現在の姿なのだ

民間側公判
五・一五事件

【東京廿六日發國通】五・一五事件民間側公判は午前九時廿五分開廷、神垣裁判長の取調に對し橘は低い聲で、大川は重い聲で、その他は元氣な若い聲で答へる、終つて木內檢事は豫審終結通り公訴事實を簡單に述べる、公訴事實の陳述を終り審理開始に先立ち龜山辯護人より全國より集まつた減刑歎願手紙を提出、深作辯護人は愛鄕塾の精神を稱揚し愛國の至情夫人共に泣かんとの叫び

裁判長よ、三千萬の農民の心を心として裁かれよ

と結んで着席その他辯護人次ぎ次ぎに立ち證據書を提出後裁判長より大川周明、頭山秀三、本間憲一郎三名は分離し適當の時機において再び併合する旨を宣し午前十時二十五分休憩、午後零時半から再開、分離審理された大川周明博士、頭山、本間三被告を除き橘外十六被告の訊問に入り各被告の筆記を許す、橘より訊問開始

裁判長・・審理に先立ち云ふことは無きや

橘・・國法を犯し此處法廷に立つことを恐懼の至りと思つてゐますさりながら我等には一點の私利私慾を差挾むものでなく三千萬農民のため又報國救世の一念から行動したものであつて眞意を剖すところなく述べさせて戴きたい

と述べ終つて經歷の訊問に入り橘は一高中途退學より[illegible]の經歷を述べた後

自分は强情我慢だが其半面に曲つた事は大嫌ひで情に脆い一面を持つてゐる

と自己の性格を披露し中學より高等學校に進むに從ひ哲學に深い興味を抱くやうになつた

と述ぶ、更に語をつぎ

一高時代に偉い人は決して出世する事でなく自己の慾望を捨てる救國救世の人格者こそ偉い人物だと信念した只管土に働き神に祈る生活こそ眞の生活だと思ふに至り學校を棄て土の革命兒となるに至り遂に五・一五事件の農民首領となるに至つた

と語る、更に田園生活の喜びを語り

勞働により純眞な生活をしてゐるものは農民だけだ百姓こそ神の惠し給ふ生活だ、然るに今や農民の生活は亡びんとしてゐる

と述べ[illegible]による大獸主義の不運を述べ個性を說きこの意味でマルキシズムが日本には行はれ難いと論じ午後二時五分休憩に入る、少憩の後二時四十分再開、橘は昭和五年愛鄕塾創立の動機に就き

關東震災後不況增大し資本主義の末期的現象として日本の民衆は荒廢の極に達し純朴なる農村は次第に腐り切り遂には救ふべからざる深淵に日本の臨むに至るべきを憂慮し私は一旦土に還りたるも祖國の危機默視するに忍びなかつた

と動機を述べ

これを救ふのには一、人口食料問題二、失業問題三、國民經濟再建の三つを根本的に解決せねばならぬと考へ一はマルサス主義を中心に二にマルクス主義を基にして研究しこれを基づき三つの問題を打建てなければならぬと考へた

國家改造は農村の靑年からと決意し水戶の新聞で意見を發表し農村靑年の自覺を促し遂に愛鄕塾設立に至つた

と述ぶ、次いで

指導精神は天地自然の道に卽し額に汗して大地の底から眞理を摑み利己を捨て救國濟世に身を捧げるこれを愛鄕塾道と云ひ塾はこの精神を基本としてゐる

と述べ、次いで愛鄕塾の組織につき述べ最も得意とする農村改良問題に入り

日本は目下畜產と密接な關係に結ばれずこの缺陷を補つてより能率的な農村の發展を期すべく愛鄕畜產組合の設立をなした日本人は牛乳を飮むことが少な過ぎる小學兒童だけでも充分飮ませたい私が牛乳商店を企てたのはこの點に主な目的がある

といひ最後に機關紙發行に就いて述べ午後三時四十分閉廷した、次回は二十八日開廷の豫定

五族共和の實を擧ぐべし
鹿子木博士の談

九大文學部教授鹿子木博士は大連における滿鐵主催の夏期大學を終へて後七月末興安、熱河各省から北支那一帶を旅行二十六日はさて寄連したが滿洲及び北支那視察の感想を語る

滿洲における將來の重要な問題は日滿兩國の國際法學的また國家學的規定を如何にするかだ、日本は滿洲國を獨立國として承認したが日滿兩國は單に併立する間柄でなくもつと密接な關係を有するものである、またこれに關聯して滿洲國語の制定問題がある、今支那語を滿洲語と呼ぶ愚劣極ることをやつてゐるが滿洲語といふものは元來嚴然として存するものである、で今日の滿洲國語は三種を以て擧ぐべきだと思ふ、第一を日本語を以てし第二を支那語、第三を蒙古語としこの三つを以て滿洲國語とすべきだ、滿洲國日系官吏にのみ支那語を强制すべきは怪しからぬことで同時に滿洲側官吏にも日本語を先づ習はすべきだ新京の如き漢人中心の空氣が濃厚だが斯くの如きでは五族共同の實は擧らない、特に興安熱河省の如き漢人中心の政治をやれば蒙露の民族不平を起して民族鬪爭が起るよろしく日本人が中心となつて日本文化を中心とし五族共和の實を擧ぐべきと思ふ

軍馬に人蔘接待
おでん、まんぢうに凱旋兵大喜び
滿日婦人團大わらは

第六師團第二次凱旋部隊の城島大佐麾下の部隊は市民多數の歡呼裡に二十六日午後五時出帆の春晴丸で凱旋した、滿日婦人團が埠頭待合所內に設けた凱旋將士接待は午前十一時から開始し十二時の晝食を隊長以下全員に供したが非常な感謝を受け引續いて乘船時間の午後四時までおでん、まんぢう、そば等をあるだけ接待し引きも切らずやつて來る凱旋兵に婦人團は多忙を極めた、けふの凱旋は○砲隊であるため軍馬が多かつたので婦人團は折角の凱旋馬へと眞心こめて人蔘を午後二時頃喰はしたが軍馬も大喜びそれにもまして喜んだのは兵隊さん「出征以來人蔘を喰はすのはこれが初めてどす」と涙を浮かべ我が事のやうに喜んだ、二十七日は第三次凱旋兵の出發、婦人團は午前十一時から接待を開始するから婦人團の方は午前十時までに集合を願ひます

全滿學生劍道聯盟構成
十月發會式

豫てより奉天醫科大學、旅順工科大學、南滿工專の三劍道部間に全滿學生劍道界を統一する機關の設置要望あり、前記三校劍道部では旣設の滿洲劍友會とも種々協議し又學校當局の諒解を得たので愈々前記三校を以て全滿學生劍道聯盟を構成することに決し、來る十月八日大連で盛大なる發會式を開催し全滿學生劍道界の淨化向上と斯道普及を計ることゝなつた

同聯盟では毎年六月第一日曜に全滿學生劍道個人選手權大會を又十一月第二日曜には聯盟リーグ優勝戰をまた春秋二回全滿中等學校優勝大會を開催することゝなりその前途大いに期待されて居る

白衣の勇士
卅日內地へ

熱河聖戰に或は長城線確保の戰傷病兵が二十八日來連するが、沿線より五十名が午前七時着列車で旅順衛戍病院より十六名が午後三時着列車で到着大連衛戍病院に一泊の上三十日午後四時出帆の照國丸で歸還する

射擊會
十月一日擧行

大連市民射擊會では十月一日午前八時より大連春日池畔大連市民射擊場で左記規定の下に射擊會を擧行することに決定した

▲參加資格 滿洲在住者にして左記該當のもの
(イ)軍人(旣教育在鄕軍人を含む)警察官吏
(ロ)中等學校(靑訓生徒を含む)以上の學生生徒(但し旣教育在鄕軍人を除く)
(ハ)一般(前各項以外のもの)

▲競技の種類 (イ)團體競技(一班は五名より成るものにして各隊官署學校在鄕軍人分會その他團體は一乃至數班を出場し得)(ロ)個人競技 なほ個人競技は團體競技參加者を以て行ひ團體競技における成績は直ちに個人競技の成績となしその區別は前記の參加資格別とす

▲使用銃 三八式步兵銃

▲射距離 二百メートル

▲標的 十圈的

▲姿勢 隨意但し依託を許さず

▲發射彈 一人五發の連續射擊とす

▲試射 許さず

▲會費 一名一圓(學生靑訓は半額)彈藥實包は大會委員より支給す

▲參加申込 希望者は大連市役所衛生課土屋清人宛二十七日までに所要の用紙を受取り申込みのこと

國際外交の裏

雜誌『雄辯』十月號の附錄、杉村陽太郎氏熱筆の『祖國に歸りて』は外國の秘密や裏の裏までもさらけ出してゐるので、實に珍らしい著だと大評判になつてゐる。

一日は本祭(午前十時)二日は祓祭(午前十時)を執行する

沙河口神社秋季大祭

來る十月一日は沙河口神社の秋季大祭のため三十日午後七時より前夜祭、一日午前十時より本祭を執行し三十日午後は花火、活動寫眞、子供角力、一日は工場各職場對抗競技角力がある

大連霞小學校の秋季運動會

大連霞小學校では二十八日午前八時半より同校々庭に於て秋季運動會開催

伏見臺小學校の運動會

大連伏見臺小學校では廿九日午前八時より同校運動場で秋季大運動會を開催

神奈川縣人會の家族會

神奈川縣人會では來る十月一日日曜日午前十時より中央公園內西園亭で秋季總會を兼ね家族會を催し福引、曾我廼家喜劇、支那手品その他種々の餘興ある由、會費一圓申込は電八四五三松谷事務所へ

聖愛醫院集談會

二十七日午後四時より聖愛醫院講堂で第十七回集談會を開催演題として
一、姙娠腎並に姙娠浮腫に對するロデアリンの實驗例　桑野稔
一、胎兒自己廻轉に關する臨床的並にＬ線學的觀察　的埜中
一、結腸疾患のレントゲン寫眞供覽　松岡杏太郎
一、經靜脈的ピエログラフィーに就て　松岡一彥

實業國際チームの軟式野球

來る十月一日本社主催の下に擧行する第一回實滿對抗軟式野球戰に出場する實業チームでは二十七日午後四時半より大連實業團球場において國際チームと對戰することゝなつた

殉職社員へ

滿洲事變二周年記念として事變のため殉職された滿鐵社員にこのお金を捧げますと丁寧な言葉と一緒に山口縣下關市大字彥島百合野德之介といふ人から二十六日滿鐵に四圓爲替封入の手紙が屆いた

忌明け寄附

滿鐵用度課勤務石原滿泉氏は母堂たか刀自の忌明に際し、時局に鑑み、香奠返しにかへて國防費の一端にと金五十圓也を同封して本社に寄託した

暴風警報解除

二十六日午後七時滿洲附近の警戒を解く

安樂椅子

今度の兒玉博士事件は色々な意味で滿鐵幹部家庭の話題の中心となつてゐるが、御亭主連は何れも大恐慌を來してゐる。

◇……◇

二十五日夜十二時宴會、二次會と心ならずも時を過して歸宅した滿鐵調務部○○審査役が玄關を上ると柔順らしい夫人が「あなた滿日の號外を見ましたか」「いや知らん」「これを御覽なさい」

◇……◇

「だから、あなただつて勝手に夜更かしなどなさると私にも覺悟がありますよ」と夫人にきめつけられた○○君「いや、俺だけは斷然大丈夫だ」とホウ〳〵の體、兎に角課長さん達は何れもこの手で攻められて、大タヂタヂ。

愛婦旅順支部

去る六月發會式を擧げた愛國婦人會旅順支部は現在一千餘名の會員を有するに至り非常なる好成績である、本支部も創立以來旣に傷病兵の慰問、戰病死者の弔慰、出動、凱旋並に傷病兵の歡送迎、國旗代金の寄附、第三艦隊兵員の歡待、入營軍人留守宅慰問等數十回行はれた

大連神社秋祭

大連神社の秋季大祭は例年の通り來る九月三十日より十月二日迄三日間行はれ祭典は三十日宵祭(午後四時)

凱旋將兵接待

二十七日第三次凱旋部隊を十一時より第二埠頭待合所で

滿日婦人團員並に各女學校同窓會有志會員は午前十時までに待合所にお集り下さい

主催 滿洲日報社 滿日婦人團

颱風圈內 (105)

畑耕一作　山田喜作畫

反逆者 (八)

「まあ、船で……どうしませう。巖也さんは海上へ、一人連れてゆかれたのです。あゝ一人……」

織江は半ば喘ぎ半ば叫んだ。

「なに、御心配には及びません。あの首領です。力と術とをもつてゐる首領です。僕も一時は不安な感じを抱きもしましたが、考へて見れば、どれだけの人數がどんな方法によつて打つてかゝらうと、首領の智謀の前には、なんの威力もないのです。僕は首領の無事を信じます。決して憂ふるに足りんです。なあに、大丈夫！指一本、奴等が首領に觸つたが最後忽ち反對に海の中へドンブリですよ。はつはつはつ！」

銀次は朗らかだつた。

「……ですけれど……」

「それがいけません。首領の身の上に關する限り、もしや、とか、ですけれど、とかの言葉は不要です。首領の力と術との前には、どんな力と術も價値はないのです。かうした點は、失禮だが、あなたや乙彦さんよりは、僕がよく知つてゐる。今までにさうした事實を、眼のあたり幾度か見たのです。大丈夫です。首領は今までの生活を淸算して、新しく眞實に生きる自分を築きあげるのだと仰有つた。首領の生命はそのためにいよいよ大切です。滅多に奴等の自由にさせてならない生命です。首領だつて充分の用意はあるにちがひない。いや、大丈夫！今頃は奴等が首領の足もとに手をついて、自分等の生命乞ひをやつてゐるに違ひないです。はつはつはつ。ほんとうに面白い圖だらう。きつと面白い。そこを見物したいな。はつはつはつ！」

「はつはつはつ！さうだ。きつと面白い圖だらう。」さう言つて無理にも安心しやうつてしてゐる貴様達の顏ば――な」

思ひもよらぬ、ドアのその笑ひ聲。

「誰だつ！」

銀次は身構へした。

「お邪魔させて貰はうかな」

グッと開けて、無遠慮に入つて來たのは、斯波繊輔だつた。

「銀次、しばらくだな」

「おゝ、手前か」と、銀次はすぐ低い嘲笑を返した。「しばらくもれえもんだ。毎日のやうに、こゝへ顏を見せてるじやねえか。おれあ、ちやんと知つてゐるんだぞ。手前が鏡子さんを誘惑してるなあ」

「誘惑？――ふむ、女のほうから血道をあげて、やいやい言つて來る僕に、なにがどうした誘惑なんだ？」と、繊輔は肩を搖つて「やあ、乙彦さん。君がすべてを知つておいでだ。ねえ、鏡子さんはむかしつから僕を愛してゐたでせう？ねえ、どうです？僕があなたの以前のお宅をよくお訪ねしてゐた頃から――は。はゝゝゝ」

乙彦は應へなかつた。烈しい憎惡の眼を呉れたゞけだつた。

「はゝゝ。こいつはいけない。乙彦さんもどうやら僕の味方じやないやうだ」

「斯波！」と、銀次は油斷なく、彼の前に立ちはだかつた。「手前は天岸さんの裏切者だ。その手前が、かうして立聞きしてゐるとは……」

「うむ、そりやあ無論理由と目的があるよ。こんな夜更けに、たゞ氣まぐれや物好きだけで、廊下鳶も出來なからうからな。はつはゝゝ」

滿日俳壇

殘暑　島田青峰選

神戸　西田碧天樓
雲走るこゝ山寺の殘暑かな
秋暑く近頃多き地震かな
山深く來て尙殘る暑さかな
誘はるゝまゝ來し山の殘暑かな
いつまでも讀む燈に秋の暑さかな
句座立ちて殘暑の庭に踞みけり
山に雲湧きて殘暑の道を往く
秋暑し雨をあがりし坂道
訪れ來て讀めぬ碑文や秋暑し
朝々を曇りて秋の暑さかな
本降りとなつて暮れたる殘暑かな
句碑探す道せばまりて秋暑き
蕊ひ來し句碑に殘暑の花紅し
摩耶の峰殘暑の雲を吐きにけり
秋暑き夜の街一人歩きけり
旅日記獨り書く夜の殘暑かな
旅馴れぬ宿に物書く殘暑かな
動かざる入道雲や秋暑し
風いつか雨となりたる殘暑かな
秋暑くまだ降りたらぬ曇りかな
陽を浴びて庭一面の殘暑かな
雨雲の覆ひ來りて秋暑し
書き了へし師への便りや秋暑し
一封を書けば殘暑の日落ちたり

大連　高木春蔭
高粱の穗垂れの見えて殘暑かな
干物に鳴くかなかなや秋暑し

滿日案內

◎三行一回 金九拾錢 ◎被雇傭 金六拾錢 ◎五行一回 金壹圓五拾錢 ◎十行一回 金參圓 ◎十五行一回 金四圓五拾錢 ◎二十行一回 金六圓 ◎姓名在社は一回 金三拾錢增
廣告部電話は三六九五 四四九一番です

雇入

外交 數名、女中、給仕、通勤も可履歷書持參本人來談 大黑町十東洋生命 堀川喜藤治
外務 社員多數招聘固定給制度勇敢に奮鬪的人物歡迎指導す履歷書持參 山縣通安田生命
販賣 員募集經驗有無不問確實なる仁、委細面談午前中 播磨町一二 松本商店
店員 募集十五、六歲より二十歲迄、本人來談 浪速町 今中
小店 員入用自十五歲至十八歲迄履歷書持參 連鎖街 井上喜保堂藥房
裁縫 極く熱心なる人を募集す 大連市信濃町市場正門前 三越裁縫部 あたらしや
和服 裁縫見習生十名募集年齡十六七歲より二十歲まで 磐城町二六 富田裁縫所
女給 數名募集 連鎖街ミスダイレン 電話六〇二九番
女給 さん數名入用素人にても可 山縣通第二市場橫 滿洲土木建築協會食堂
看護 婦見習募集、本人來談 永原小兒科醫院 柳町二一二 電話七九八七番
看護 婦及附添婦募集派遣多忙 神明町三二愛國看護婦會 電話八六四二番 寄宿完備

教授

琴古 流尺八正調追分指南 大連市浪速町五丁目山田ビル三階電二二四七九松尾一管
美容 日本髮、洋髮、晝夜短期教授申込次第規則書送呈 大連市春日町一七白百合美容研究所
邦文 タイピスト養成午前・午後・夜間 山縣通日本タイプライター會社
印書 邦タイプライター印書應需 大連市大山通 小林又七支店
邦文 タイピスト短期養成 大連市大山通 小林又七支店
タイ ピスト英文邦文華文短期養成英邦文速記英語印書 近江町映樂館橫電四三〇八英學會

貸家

貸家 初音町六九眺望日當良二階一〇、四半、下六、三二浴室あり賃四十圓電四八二番矢代
貸家 二階八、六、四半階下八六、六、玄關二 楓町一二〇 電八二二二番

貸間

貸間 月廿五圓にて家族的に待遇す平家八疊敷聚樂門附近、御希望の方は電二一六七〇へ

讓店

讓店 なつさふ製造道具一式付工場至急讓渡したし御用の御方は 明治町一番地帶屋へ
讓渡 ダンスホール詳細は直談午後六時＝八時 電七六五一番

下宿

二月 十五圓にて家族的待遇す平家八疊敷御希望の方は一應電二一六七〇番へ聚樂門附近
高級 下宿閑散良室設備良し室八、八、六、日當良し 大連須磨町一八角 加藤
下宿 本社裏大連病院右前御座敷十疊より三疊寢具用意 大連薩摩町九五 米村

旅館

簡易 御宿泊所 大連市監部通六番地敷島廣場電車停留場西へ四軒目末廣館
一圓 トマリ、ペットの設備あり、大勉强は名古屋旅館 大連市吉野町六電六三一一番
圓半 食附氣輕な御泊りはトウソ旅館大滿館へ 大連大黑町一〇六 電二一〇五二

賣買

舶來 ピアノ中古至急讓渡し御用の方は 電七二一二番へ
果樹 園讓度、希望者は滿日旅順支社へ御申出あれ 賣主
毛布 軍隊拂下高級堅牢實用品特別安價分讓希望者滿日西部支局電〇一二九へ問合
和傘 各種提灯材料卸問屋 大連市岩代町五番地 電話七七一四 膨脹堂
債券 來月義債券多數有り四千圓ひろひもの新聞月三錢 大連市西通三五番地大連案內社

商品 券勸業債券電話賣買金融三越商品券五分引買入 西通三五電車通四 大連案內社
白帆 ・天帆高級御化粧紙は此の印に限ります
塵紙 各種卸商 大連市伊勢町五三拓茂洋行紙店
包紙 と紐各種 拓茂洋行紙店 電五四三九番
算盤 と帳簿 拓茂洋行紙店 電五四三九番
ミシ ン高買ます 常盤橋河島ミシン店電六六八四
刀劍 研白鞘鑑定賣買自家製鐔止打粉有り 大連市磐城町五八 南海堂研磨所

貸衣裳

貸衣 裳 日隆町 三浦屋 電話二二六四五番
貸衣 裳 婚禮用 葬儀用 日隆町 さかひや電五四三七番

不用品賣買

不用 品親切本位買受 常盤町渡邊商天電話六八四一番
古着 其他御不用品は他店より特別高價買受ます 日隆町エビス屋電話二二五九五
古着 古道具高價買入 御一報參上 日隆町 たじまや電六六〇一番

電話と金融

極秘 親切丁寧低利にて御貸す滿鐵社員特別便宜取計 西通七番地(商業銀行橫入)佐藤へ
株券 滿鐵電話其他株式賣買金融極秘日步低利 現物店 西通三五電六六六三 大連案內社
金融 信用貸勤人の方極秘低利大口小口恩給小切手 沙河口仲町四九松光社電話〇一六四番
日掛 秘密嚴守迅速貸出 若狹町三〇滿友ビル二ノ五 多田
電話 賣買並に金融月賦販賣名義變更せずとも貸出す 西通三五電六六六三 大連案內社
電話 金融賣買は何と云つても確實だ名義變更せずとも貸出す 正眞洋行電話五五五七番
保險 簡易すぐ立替前借失効可商品券債券買入 天神町二八女子商業前大洋社電二二三六一
信用 貸金御相談に應ず 西通十七番地 (西廣場交番裏通角) 惇光社

和洋紙、封筒、荷札
塵紙、トイレットペーパー
金庫　書庫
印刷用インキ
印刷製本諸材料
特別廉價
大連市大山通六三 小林又七支店販賣部 電話六二二七番

信用 貸小切手割恩給其他迅速融通 大連市龍田町百十五 德盛社

印刷と寫眞

寫眞 大連寫眞館晝夜撮影男女支那服の準備有 日本橋際 電話三五八四番
實印 の御用命は 吉野町 一萬堂 電七八五九番

食料品

牛乳 バター、クリーム 大正牧場 電七七七二
牛乳 バタ、クリーム 大連牛乳株式會社電四五三七番
牛乳 バタ、クリーム アイスクリーム 滿洲牧場 電話六一三四番
ギン ザマンヂユウ 連鎖街銀座通り 日露洋行 電二二一三三

名藥

胃病 には伊勢町藥局の……第二胃の藥を 電話六八二四番、地方繁局直送
水蛭 有ります 大連劇場隣根本藥局電七八六二
淋病 藥・大學ミツテルの出現不思議に良て効御試あれ 大連沙河口大正通八五 三共商會

醫院

鶴見 齒科醫院 西公園町六九 電話八二〇三番

雜件

內地 土產は遼東百貨店支那みやげ部へ 電三一七一番
ピア ノ調律修繕 伊勢町 福音洋行電三八一二番

醫院

早川齒科醫院 大連市西通九三常盤橋附近 電話三九七一番

家政婦

看護婦 家政婦 派遣 家事一切病人附添通勤住込何れも致します 派遣多忙會員至急募集 誠心看護婦會 主 產婆 三浦芳子 聖德街一丁目三四六 電話九二六六

名藥

惡疫豫防 油斷大敵倒れぬ先きに **四ツ目にんにく葡萄酒を** 常に召せ萬病擊滅、健胃腸整貧血、冷症、腺病質、神經痛婦人病に効果偉大 大連市山縣通 發賣元 鈴木商會 電話五八四九番 著名藥店・食料品店にあり

醫療士福原正義先生創製 **强力治淋新藥 トリコノピン 得利格諾賓** Torigonopin 藥價(三十球一圓五十錢)(六十球三圓) 大連市信濃町四四 發賣元 日本橋藥局 電話八三六二 振替大連四四九七

賣買

オートバイ 一九三三年型サイドカー付エー・エス、病氣に附賣渡致します 賣價工場正札の一割引希望者は山縣通百十東鐵內ア・エス・タルミスに問合されたし 電八二四三

卸 仕立衣裳 コート 大連日隆町 電五四三七 さかい本店

讓店

讓店 若狹町目拔場所滿十年の店舖歸國盛業中商品一切急讓堅實初心者の投資安全有利面談は直接電話御斷若狹町局角薇笑堂へ

料理店讓る 現在及將來最有望の地 御一覽の上御相談す 賣價七千圓 一ケ年にして原價償却以上の利益あり(特に事情ありて急賣す)姓名在社滿日廣告係に問合せを乞ふ

家畜

番犬 セパート三ケ月以上各種讓る詳細は面談の上 朝日町 滿花園 電四〇一一番
犬 ヂステムパー狂犬病豫防注射施行入院賣買其他家畜類診療 石井家畜醫院 近江町電停前 電二一〇七四番

雜件

クリーニングは寶ドライへ 大連彌生高女前 電話八三一六番
黑板 鈴木式、福岡式アイデアルボールド 運動用具、學校、幼稚園用具―其他 大連明治町七 電二二六五九 協昭洋行
古着 和服洋服トクニ 破格高價買入 金商・金齒 指環・書畫 骨董・道具 御報參上 ミシン 洋服・時計 出貸强勉 天神町二八女子商業前 渡邊質店 電話二二三六一番
御使は富士へ 電話二二四四四番 大連署公認 メッセンジャース 大連市浪速町五丁目二〇八

大阪着名問屋案內

靴下製造專業 高級品オリオン靴下 製造業者より小賣業各位へブローカーを排除する合理的直接サービス 通學常用好適の耐久品 **鬼底靴下** 冬物防寒用品 豐富品揃 製造發賣元 合名會社 羽田北辰堂 大阪出張所 本店 大阪市東區橫堀二丁目 工場 京都市五條通 大津市湖畔町

萬年筆各種製造批發 各式化學膠質筆桿附金筆尖賣價以金五十錢至五圓上下共有一百二十種 (納茵)萬年筆本舖 各種萬年筆製造元 古村製作所 大阪市南區高津四番町

朝日帳簿複寫簿 高級洋式帳簿 各種バインダー 各種リーフ 韓人帳 ケ紙 カタログ進呈 製造發賣元 椿尾商店 大阪市西區北堀池通三丁目一八 電話新町三九八四番

ハーモニカ バイオリン 樂器全般 發賣卸 (營業者ニ限リカタログ進呈) 中井樂器店 大阪市南區日本橋筋四

男女事務服問屋 綿製ズボン類製品豐富 生地見本進呈 各種事務服 綿布製品 卸商 杉浦幸商店 大阪市東區谷町一丁目 電話東一九九四番 振替大阪一三一一六番

子供服 婦人服 オーバ 製造卸 月報進呈 山本義商店 大阪市東區谷町三ノ二三

紐釦各種專門 服裝付屬品 製服道具 陳列道具 (目錄進呈) 谷村ボタン商店 大阪市谷町三丁目 電話東一八七一 振替大阪一三五一番

滿鮮向 **羅紗洋服卸** 三ツ揃、オーバ、婦人コート 男女子供オーバ、其他各種 カタログ進呈 鍋島久一商店 大阪市東區谷町三丁目五番地 振替口座大阪六九四七四七番

斷然よく寫る!! ウエハーカメラ トキワフヰルム ハイクロームフヰルム 發賣元 合名會社 山本寫眞機店 大阪市西區阿波座中通一丁目 電話新町一二五七番 振替口座大阪七三二六四

ホールド・ナット リベット・軌條附屬品 建築金物並にチエン製作販賣 卸商 松島文七商店 大阪市西區立賣堀南通五丁目 電話新町二四七三五 二四八八番 振替口座大阪七一九二五 カタログ進呈

本案內廣告一手特別取扱 大阪市西區本田一番町建材ビル 滿鮮信報社

淋病・消渇 最新藥 ナイセル

淋病・消渇患者に告ぐ 御存じですか ナイセルの偉効を!! 淋病は斷じて不治でない ナイセルさへ服用すれば絕對安全最高速度に治淋の目的を達し得

ナイセルは 南洋植物を主藥として和漢藥の蒐を蒐め、十數年來の實驗によつて絕對安全最高速度奏効の保證付治淋特効藥であります

當代理店の特徵 本劑にて永年の病苦より救はれ感激の餘り同病者を救ふため特約店になつた方のみにても其數實に一千軒を超過して居ります

藥價 (三日半分壹圓)(八日分二圓) (十三日分三圓)(廿五日分五圓)
各地有名藥店ニアリ

齒痛にセロシン(聖路心) 日本橋藥局 電八三六二

外科 整形 性病 小柳医院 大連市吉の町七一 電話三二六七

わかみな

美濃名藥 家傳 赤木

癌、胃潰瘍、永い胃腸病に苦しむ人を救ふ
大自然植物性皇漢藥
無料 病者へはそれぞれ御質問にお答へ申上げます 說明書や体驗談もハガキで照會次第進呈
美濃國八幡町 本家 おもだか家 電話一三貳番・振替名古屋一八二五九番

粉おもゆ ビオスメール

1、濃くも淡くも思ひのまゝに
2、お湯さへあれば、いつでもどこでも
3、溶けば即座にのぞみのおもゆ
4、乾燥操作は低溫、眞空で
5、お米の中の榮養分はヴイタミンまでもそのまゝ含む粉おもゆです
全國著名藥店にあり
大 一、二〇　小 一〇〇瓦 五〇
(說明書進呈)
株式會社 和光堂 東京市神田區錦町 大阪市東區久太郎町
BM. 4

良品は選ばる!

お醫者様とお產婆さんが科學と經驗の立場から赤ちやんのうぶ湯には必ず花王と御選定下さいます!

赤ちやんのやはらかなお肌には特に穩和な石鹼を選ばねばなりません 秋立つ頃に芽ばえて來る肌荒れなどは是非この信用のある花王石鹼で整へて下さい

純粹度九九・四%

★うぶ湯の時から花王石鹸★

品質本位 花王

東京・花王石鹼株式會社長瀨商會・大阪

滿洲日報
九月二十六日發行
發行所 滿洲日報株式會社
大連市東公園町三十一番地
編輯人 鈴木 昇
印刷人 松本 代治
發行人 武村 盛

關東軍の通告に應じ方振武軍懐柔を撤退
協定線上の順義に移動

【新京特電】北平乗っ取りに乗出した方振武軍は本月二十日懐柔に入城後、關東軍の期限附き撤退要求に一時は强硬態度を示したが、二十四日午後に至り逐次全軍を順義方面に移動を開始し、二十五日朝には懐柔城内には既に一兵をも残留せしめてゐないことが判明した、關東軍の要求に對し恐れをなした方振武軍の移動した順義は不戰協定線上にあり同軍の今後の行動に對し關東軍では極力監視の眼を放つてゐる

南下せる方振武軍
何軍と衝突の危機迫る

【新京二十六日發國通】關東軍の撤退要求に對し懐柔に在つた方振武軍は不遜極まる回答文を二十四日我軍に寄せ大いに强がりを示して來たが、事實同軍の行動はその回答と異り二十四日夜行動を起し順義（停戰協定線）方面に移動を開始せる模様で、二十五日朝懐柔の市街は全く同軍の姿を見ざる状態となつた、同軍今後の行動は停戰協定線に沿ひ南下するものと觀測されてゐるが、既に順義附近には何應欽が待機の姿勢を執りつゝあり空氣頓に險惡化し兩軍の正面衝突は時期の問題とされてゐる

北平の人心漸く動搖

【北平二十五日發國通】方振武問題の擴大と共に北平市當局は城内出入の通行人を一々檢査するなど嚴戒を極めてゐるが未だ何事もなく只謠言蜚語を飛び人心漸く動搖の色が見えんとしてゐる

方振武等反蔣通電

【北平特電二十五日發】方振武、吉鴻昌、湯玉麟、劉桂堂は各二十四日連名にて反蔣通電を發した

鐵道省新京辨事處

【東京二十五日發國通】鐵道省は上海辨事處を滿洲國内に移轉する事になつたが、事務所は恐らく新京におかることゝなる模様で駐在官には少壯書記官を派する筈である

5・15事件
民間側被告を裁く劃期的大公判開く
けふ東京地方法廷で

【東京廿六日發國通】民間側被告法學博士大川周明（四八）愛郷塾主橘孝三郎（四一）天行會長頭山秀三（二七）紫山塾頭本間憲一郎（四四）氏等廿名に對する爆發物取締罰則違反、殺人及び殺人未遂、同幇助事件の第一回公判は二十六日午前九時二十五分より東京地方裁判所第一號法廷において刑事第七部神垣裁判長、八木田、長野兩陪席判事、齋藤補充判事、木内、吉江兩檢事係り、堀田、成瀬、向井三書記、辯護人中川、岡田、鵜澤、占部博士以下秋山（高）平松、竹内、角岡、林、稲本、塚田、江橋、花井氏等合計六十八名立會の下に開廷された、起訴罪名は爆發物取締罰則違反、殺人等に問はれてゐるとはいへその内容は昭和維新の確立を目指した内亂罪に相當するもので、司法裁判所としても劃期的大公判であり、審理は異常なる緊張裡に開始された

被告の氏名と罪名

▲爆發物取締罰則違反殺人及び殺人未遂
本籍 茨城縣水戸市上市馬口勞町二二〇八
住所 同縣東茨城郡常盤村三〇三九愛郷塾主 橘 孝三郎（四一）
本籍 茨城縣那珂郡五臺村字東木ノ倉八一六
住所 愛郷塾内 同塾教師 後藤 圀彦（三二）
本籍 茨城縣東茨城郡常盤村三〇三九
住所 愛郷塾内 橘の義弟 林 正三（四一）
本籍 茨城縣久慈郡世矢村字小目一九八七
住所 愛郷塾内 同塾々生 矢吹 省吾（二二）
本籍 茨城縣東茨城郡上大野村字中大野一九
住所 愛郷塾内 同塾々生 横須賀喜久雄（二二）
本籍 茨城縣西茨城郡笠間町字㟢形一三六二
住所 愛郷塾内 同塾々生 塙 五百枝（二二）
本籍 茨城縣那珂郡勝田村武田五三九
住所 愛郷塾内 同塾々生 大貫 明幹（二四）
本籍 茨城縣那珂郡大賀村岩崎三一九
住所 愛郷塾内 同塾々生 小室 力也（二二）
本籍 茨城縣西茨城郡笠間町一二〇九
住所 愛郷塾内 同塾々生 春田 信義（二七）
本籍 廣島縣安藝郡音戸村字畑
住所 東京市中野區藥師町四五三林方 明大生 奥田 秀夫（二四）
本籍 鹿児島縣出水郡出水町上鯖淵
住所 右同 士官學校中途退學 池松 武志（二四）
▲爆發物取締罰則違反及殺人幇助
本籍 茨城縣鹿島郡沼前村字瀬掛一一三
住所 同縣水戸市上市柵町四ノ一八 商店員 高根澤與一（二三）
▲爆發物取締罰則違反及殺人幇助
本籍 愛知縣寶飯郡蒲郡町字神ノ郷殿屋敷八
住所 愛郷塾内 同塾々生 杉浦 孝（二五）
▲爆發物取締罰則違反及殺人未遂教唆
本籍 茨城縣那珂郡湊町泉町八〇三
住所 同縣同郡神崎村本米崎綿引方本米崎小學校訓導 堀川 秀雄（二八）
本籍 茨城縣那珂郡湊町長畸四八
住所 右同 前渡小學校准訓導 照沼 操（二四）
本籍 茨城縣那珂郡前渡村字前濱八三五
住所 右同 農 黒澤 金吉（二六）
▲爆發物取締罰則違反及殺人未遂
本籍 茨城縣那珂郡前渡村字前濱九九 農 川崎 長光（二三）
▲爆發物取締罰則違反及殺人幇助
本籍 山形縣飽海郡西荒瀬村字藤塚一二五
住所 東京市品川區上大崎町二三一 東亞經濟調査局理事長 法學博士 大川 周明（四八）
本籍 東京市澁谷區常盤松町二三
住所 同市杉並區阿佐ケ谷町二ノ六 天行會々長 頭山 秀三（二七）
本籍 東京市日本橋區蠣殼町三ノ一
住所 茨城縣新治郡眞鍋町字眞鍋臺一三三二 紫山塾々頭 本間憲一郎（四四）

公訴事實概要

橘孝三郎 は昭和六年四月自警的農村勤勞學校愛郷塾を設立し愛郷主義のもとに農村子弟の啓蒙教育に努めて來たが、之れより先き國家革正を志し同志獲得に努めてゐた井上日召、古内榮司等と相識り農村を救濟するためには非常手段によつて政黨財閥並びに特權階級を打倒するに如かずと思惟し海軍中尉古賀清志以下海軍士官十名、後藤映範以下陸軍士官候補生十一名が決行した五・一五事件に參加するに至つたものである、而してその犯罪事實としては

一、昭和七年四月中旬より五月上旬迄の間に古賀中尉より行動資金合計千四百圓を受取り
二、同年五月六日黒岩少尉より手榴彈六個を受取り義弟林正三、教師後藤圀彦と協議の上（イ）塾生矢吹省吾、横須賀喜久雄、塙五百枝、大貫明幹、小室力也、春田信義等をして東京近郊各變電所を襲撃せしめ（ロ）堀川秀雄、照沼操、黒澤金吉の三名を通じ川崎長光をして計畫漏洩の惧れある豫備陸軍中尉西田税の暗殺を擔當せしめた

▲後藤圀彦 は右謀議に參畫した外昭和七年五月十三日古賀中尉より拳銃一挺を受取り林正三の手を通じて川崎長光に交付した
▲林正三 は橘の參謀として計畫に參與した
▲矢吹省吾 は五月十五日の夜變電所襲撃隊に參加し東電龜戸變電所のポンプ小屋に手榴彈を投擲した
▲横須賀喜久雄 は同じく東電鳩ケ谷變電所の屋外變壓器に手榴彈を投擲した
▲塙五百枝 は同じく東電田端變電所に投擲せんと企て未遂に終つた
▲大貫明幹 は同じく鬼怒電東京變電所に投擲した
▲小室力也 は同じく東電目白變電所に投擲せんとしたが未遂に終つた
▲春田信義 は變電所襲撃の謀議に參與し且つ東電田端、鳩ケ谷鬼怒電東京變電所の状況視察並に同志間の連絡に當つた
▲奥田秀夫 は古賀中尉より中村中尉の手を經て手榴彈二個を受取り三菱銀行構内に投擲した
▲池松武志 は古賀中尉の指揮する内府官邸襲撃隊に加はり同官邸に手榴彈を投擲した外警視廳にて拳銃を發射し讀賣新聞記者高橋義雄並びに同廳巡査長坂弘一に貫通銃創を負はしめた
▲高根澤與一 は大貫明幹の勸誘により同人と共に鬼怒電東京變電所に手榴彈を投擲した
▲杉浦孝 は橘、後藤、林等の命によつて
一、救温水秀則、大貫明幹、矢吹省吾等に變電所襲撃に關する協議會に出席すべき旨指令を與へ
二、訴外宮本幸雄に同計畫を通知し
三、川崎長光の上京便宜を計つたりなどして事件決行を幇助した
▲堀川秀雄、照沼操、黒澤金吉 三名は橘、後藤、林等の勸誘によつて直接行動による國家革新に贊意を表し
一、右三名と共に事件決行の謀議に參與し
二、共謀の上川崎長光をして西田暗殺を引受けさした
▲川崎長光 は日蓮宗を信仰し堀川、照沼、黒澤等と共に護國堂に出入し井上日召、古内榮司等の國家革新理論に共鳴してゐたが、前記三名より同志の計畫を阻害する西田税を暗殺すべきことを説かれてその任務を引受け拳銃五發を浴びせかけたが未遂に終つた

大川周明 は神武會を組織し維新日本の建設を企圖してゐたが、古賀中尉より陸海軍民間同志の革新行動援助方を懇請されてこれを承諾し
一、七年四月三日古賀に對し拳銃五挺、實彈百二十五發、現金千圓を交付し
二、同月二十九日現金二千圓を交付し
三、五月十三日黒岩少尉の手を經て二千五百圓を交付して一味の行動を幇助した

頭山秀三 は東亞民族提携を目的とする天行會を創設してゐたが、昭和七年三月十三日頃古賀、中村兩中尉の訪問をうけて國家改造を目的とする直接行動に贊意を表し
一、本間憲一郎に右に要する拳銃の調達方を命じ
二、同年四月十七日古賀に對し拳銃三挺及び實彈五十發を交付して行動を援助した

本間憲一郎 は頭山秀三から説かれて國家革新に贊成し
一、七年四月二十日紫山塾において古賀に對し拳銃一挺及び實彈二十五發を供與し
二、同月三十日土浦町東郷館で染谷忠助の手を經て同じく古賀に對し拳銃一挺實彈七十五發を供與して決行を幇助したものである

“愛國の至情天人共に泣かん”
深作辯護人の辯論

【東京二十六日發國通】五・一五事件民間側公判は九時二十五分開廷、神垣裁判長の取調に對し橘は低い聲で、大川は重い聲で、その他は元氣な若い聲で茨城辯丸出しで答へる、終つて木内檢事は豫審終結通り公訴事實を簡單に述べる公訴事實の陳述を終り審理開始に先立ち、龜山辯護人より全國より集まつた激勵手紙を提出、深作辯護人は愛郷塾の精神を稱揚し

愛國の至情天人共に泣かんと叫び裁判長よ三千萬の農民の心をして泣かれよと結んで着席、その他辯護人次ぎ次ぎに立ち歎願書を提出後裁判長より大川周明、頭山秀三、本間憲一郎三名は分離し適當の時機において再び併合する旨を宣し午前十時二十五分休憩午後零時半再開

近く北上の宋子文
聯盟のライヒマン氏を同伴し
外交方面も援助期待

【東京二十六日發國通】二十五日陸軍省に達したる情報によれば宋子文は河北における財政情況を視察のため本月末北上する事になりその際ライヒマン氏を伴ひ行政、財政に關する改革案を樹てしめ且つ外交方面に關しても或種の援助を期待し以つて歐米の聯絡に資せしむる豫定であるさ

聯盟を監視
佐藤大使急行

【東京二十六日發國通】目下壽府に開會中の聯盟理事會に對し帝國政府は去る三月二十七日の聯盟脱退に基き代表者を派遣せず政治的には全くの絶縁状態となつてゐるが、今期聯盟理事會は對支技術協力委員會を任命せるを始めとして日支問題處理經過報告を求めんとして相當警戒を要するものあり、ベルギー大使館參事官横山正幸氏を特派し、聯盟の動靜を監視せしめることゝなつたが今回更に一般事務會議帝國全權佐藤駐佛大使を壽府に急行せしむるに決し同大使は二十四日ブラッセル出發二十六日中に壽府到着の筈であるが、大使は側面的監視の任に當る筈である

航空事業と電氣統制に努力
遞信局明年度豫算

藤井遞信局長並に加藤航空官は東亞の新情勢に鑑み關東州における航空事業發展の重要性を痛感してゐたが、偶々電信電話事業を電信電話會社に移したので今後特に航空事業と電氣統制に力を注ぐことになり、明年度航空關係事業において航空無線電信電話局新設費九萬二千圓、飛行場設備補足費約十五萬圓を計上し、その他航空事務増加による人件費増額を要求し目下關東廳當局において查定中のところ、これら豫算の可及的承認は關東州をわが極東航空線の根據地にすべしとの意見が有力に行はれる折から好望視さる

市政記念日
十年勤續者表彰

十月一日は大連市の始政記念日に當るので市役所では十年勤續者の表彰式を行ひ民政署長官め市政關係者を招待し祝宴を張る筈である

滿鐵北支情報係員發令

滿鐵では北支方面の新狀勢に適應するため北支一帶に完全な情報網を張ることゝなり、總務部で準備を進めてゐたが、その第一着手として濟南天津兩地に情報關係者を駐在せしめることに決定、二十六

鐵道部新社員
學校出は採らず

奉天地方事務所渉外係長 事務員 河野 通一
北平事務所濟南駐在を命ず 吉林事務所事務員 新田 亮
北平事務所天津在勤を命ず
日附社報で左の辭令を發表した

鐵道省から滿鐵に採用する鐵道省員希望者の顔ぶれは大體揃つたので、これの最後決定をなすため總務部土肥人事課長は二十七日旅客機で上京するに際し語る
大體揃つたので上京することになつた、今度の採用人員は五、六百名であるが、學校出のものは採らない積りで現場で鍛へた實力のあるものを連れてくる積りだ、來月十五日ごろには歸連する

林總裁歸任期

【東京二十六日發國通】上京中の林滿鐵總裁は滿鐵增資後における新規事業其他對滿投資事業等に關する東京支社並に政府當局との打合せ此程終了したので一日午後一時東京驛發朝鮮經由歸任することゝなつた

德川公使着奉

【奉天電話】徳川家正加奈陀公使は滿洲の實狀と北支一帶の狀況を視察のため二十五日午後二時十分の安奉線で峰谷總領事、粟野所長中野副領事その他の出迎へ裡に着奉した

實業學校修了式

大連市立實業學校では三十日午後七時より同校本校專修科第十九回修了證書授與式を擧行する

北支駐屯軍交代部隊
天津に無事到着

【天津二十五日發國通】北支那駐屯軍新交代部隊は今朝塘沽に無事到着、直ちに上陸、山海關、唐山派遣部隊と天津駐屯部隊とに分れ各々午後二時塘沽發の特別列車で目的地へ向つた、中村駐屯軍司令官は午前九時四十五分東站發列車で幕僚を從へ塘沽において山海關派遣部隊（旭川）と唐山派遣部隊（東京）に對し訓示を與へるところがあつた、天津駐屯部隊（大阪久留米）は中村司令官以下便乘のもとに午後三時東站着、威風堂々沿道居留邦人の歡迎裡に海光寺兵營に入つた

その後の熱河（4）
山口特派員撮影 島田特派員記

◇…承徳の東方八十キロ、灤河の上流を渡り、瀑河を渡ると、大寶山の麓に平泉の街がある。
◇…平泉は蒙古街道の十字路に當り、北は赤峰、南は天津東は朝陽に通ずる要衝で、熱河經濟の中心であつたが聚斂前までは軍閥の壓制に疲弊の底にあつた。
◇…現在では市街に五色旗翻へり、人口も四萬を超え、繁榮は日を追ふて増加し、熱河の富源は皆此處に集まつてゐる。

日語學校 魁星閣

人事

▲うらる丸 二十七日午前時二十分大連港外着豫定
▲金子文作氏（日本アルミ製造顧問）二十六日入港あめりか丸にて來連
▲藍重雄氏（同專務）同上
▲寺岡洪平氏（外務書記官）外名、同上
▲岸田正記氏（瀧久屋デパート代議士）同上
▲靜岡縣參事會員一行十名二十六日午前十時出帆ばいかる丸で離連
▲廣島縣尾道商業一行五四名同二十六日午前八時着列車にて連ヤマトホテル投宿
▲姫路師範旅行團一行七九名同午前九時發にて北行
▲金井章次氏（奉天省總務廳長）同上遼東ホテル投宿
▲讃井源輔氏（朝鮮銀行支店長）取締役）同上
▲三浦計氏（大日本製糖株式會社）
▲志波信憲氏（兵站司令官歩兵佐）同上
▲高崎秀夫氏（線區司令部砲兵佐）同上
▲黒瀬積穂氏（航空兵少佐）同上
▲御影池辰雄氏（大連民政署長）關東廳に公用のため二十六日大往復

蛇角

◇…探偵小説を地で行く兒玉博士の怪殺人事件。
◇…登場人物は美貌の人妻、美男の會社員及び船員、それに音樂家世界的の醫學博士等々。
◇…役者は揃つて居るし、舞臺は國際都市大連から尾道へ京都へ。
◇…三角關係、四角關係、或はそれ以上の多角關係さへも。
◇…情痴に狂ふ人々、秘められた、何ぞ事件の複雑多岐なる。
◇…色テープの亂れて散るや海の

東天紅 (210)
田中 純
林 一三 畫

モンナ・ヴンナ（六）

兒玉博士邸殺人事件

中薗と同船歸國した夫人は何處に?

自殺、他殺、生存說を繞つて 舞臺は内地へ轉換

市民の目と耳を獵奇的なるつぼの中に投げ込んだ兒玉醫學博士邸における怪殺人事件は搜査第二日目の二十六日に至りさらに大きいクロスワードの輪を投げて怪奇の謎はいよ〱探偵小說的な興味を添へて來た、卽ち事件解決の重要な鍵を握る博士夫人が直接下手人と見られる中薗秀雄と共に手を携へて同船歸國した事實が確定となつたと同時に、博士夫人らしき死體が廣島縣尾道に現れたといふ情報が同地警察署から沙河口署に達し、これに續いて夫人は中薗の兇手にかゝつたものではないかとの推理が連想され、沙河口署の搜査本部では目下旺んに尾道警察署と電報を交換し眞相把握に懸命となつてゐる、一方生存說を決定づける有力な資料としては別項の如く男女は京都市内に潜伏してゐるとの情報に基き搜査本部では男女取押へ方を京都府警察部に打電してをり當局ではこの方面を眞相に近きものと見て、事件の解決を急いでをり夫人をめぐる自殺、他殺、生存の三說はさらに大きい疑問符の波紋を描いて獵奇の舞臺は日本にまで展開された

夫人らしい死體を尾ノ道で發見

中薗の手で殺したか

怪事件發覺と同時に沙河口署搜査本部では博士夫人と犯人中薗が内地に逃亡したとの見込みを立て殊に夫人は流產後の衰弱で何れかの地に保養するものとの推定の下に内地溫泉地には洩れなく用意周到な手配が施されてゐたが、二十六日朝に至り廣島縣尾道警察署から

夫人らしき死體が當地において發見された

との公電に接したので俄然色めき立ち折返し尾道署宛に人相、風體、所持品等に關する詳細なる調査返電方を依賴したがこの事實により疑問は更に疑問を生み搜査本部でもこの解決に頭を惱ましてゐる

卽ち夫人勝美と中薗は兇行後の九日目の十三日うすりい丸で三等船客に紛れ込み内地へ逃避行してゐる事實があり夫人は流產後の身體養生の爲め尾道に下車こゝで中薗の手にかゝり殺されたものではないかと見られる點であるが、この重大な謎は尾道署の返電を待つて解決するであらう

同時に京都、尾道を始め内地各地に電報手配して中薗を始め兒玉夫人の處在搜査に當る等沙河口署は全く緊張し切つた空氣につゝまれてゐる

有力な潜伏說

京都市上京區塔ノ段町に 府刑事課へ手配

犯人中薗は何處に潜んでゐるのか?兒玉博士夫人勝美は何處に居るのか、最も有力な說として勝美夫人は中薗と共に大連を逃れ、途中尾道に立寄つたが、同地に於いて夫人が發病したためしばらく滯在し、全治を待つて京都に赴き、上京區塔ノ段松ノ木町三三高須合資會社々員高須三雄方に潜伏、初秋の京洛の地に葛藤に疲れきつた魂を休めてゐるとの情報が最も確實性を有して居り、沙河口署では直に京都府警察部刑事課に宛て取押へ方依賴の電報を發し返電を鶴首してゐる、若し事實二人が京都に潜伏してゐるとするなれば遠からず犯人逮捕の運びとなる筈で怪奇極まりなき事件は更に怪奇を生み事件は惡魔の嘲笑にも似て不可解なる謎を限りなく投げつけて行く

沙河口署大活動

參考人を召喚

徹宵犯人中薗の搜査に全力を擧げた沙河口署司法係では二十六日早朝より續々參考人を本署に連行、友人關係をたぐつた上、午前十時過市内各署の司法刑事を沙河口署司法刑事室に招集し、市内に於ける足取りを追つて大活動を開始した

陣痛があり七ケ月で早死產

原產婦人科醫長語る

結婚後十年、子無き勝美夫人が本年一月姙娠した胤は夫博士のものでなく青柳のものか或は中薗のものと見られてゐるがこの謎の肉塊は本年七月三十一日午後一時三十分大連醫院に於いて姙娠七ケ月を以て早死產、つひに闇から闇へ消えて行つた、この疑問の出產を扱つた大連醫院產婦人科醫長原博士の談はこの問題にデリケートな暗示を與へるものとして興味あるものである

七月三十一日朝兒玉博士宅から夫人の陣痛があるから來てくれと電話があつたので當院から北村醫師が往診した、其の時は事實陣痛が來て居り夫人は前から產婆にかゝつてゐたが出產の陣痛が見えたから直ちに當日午前十一時入院させた、入院後痛みがとてもひどいので痛み止めの爲めパントポン注射を行つた、それから間もなく出產したが胎兒は既に死んでゐた、丁度姙娠七ケ月に當り早死產として診斷當院では出產上の疑問は全くなかつたのでそのまゝ濟ました、早死產は初期の姙娠には間々あるがこのほか姙娠中機械的激動を與へた場合起り得る、藥品の墮胎の疑問に對しては血液檢査をしてみたが陰性であり此點には疑はなかつた、そして又普通斯くの如き早死產をなした場合は夫から問合せがあるものだが私は博士とはその後一度も會はないから知らない

勝美夫人と中薗のうすりい丸乘船申込書

大阪商船乘船申込書

乘船申込書

大阪商船株式會社大連支店 電話代表四一三七番

兒玉博士は懲罰か

滿鐵の取扱

依願免になつた兒玉博士と殺された青柳用度課員を滿鐵は如何に取扱ふか――兒玉博士は二十二日に辭表を提出し當時は事件は全然知られてなかつたので滿鐵でもこれを聽許し二三日中に退職手當を支給する筈だつたが、休日が二日續いたゝめ偶然二十五日の事件發覺日まで支給されて居なかつた、故にたとひ博士が無罪であつても家庭納まらず社員の體面を汚した點において懲罰は免れまいと見られてゐる、更に青柳用度課員は若し殺害の事實があれば當然懲戒免職となるべく青柳家では一家の柱を奪はれた上に退職手當も貰へぬかも極端に減らされるといふ窮境に立つわけで最も同情されて居る

滿日婦人團が凱旋兵接待

正午から待合所で

昨日の第一次凱旋を送つてけふ二十六日は城島大佐麾下の野○兵○隊が第二次凱旋の日である春晴丸は九番バースに繋留され甲埠頭では早朝から砲及び軍馬の積込みに多忙を極めてゐる、昨日に引續いて埠頭待合所を利用した滿日婦人團の凱旋兵接待は正午の晝食時間を利用して開始したが、婦人團を始め各女學校同窓會有志會員の心からなる接待を以ておでん、まんぢう、うどん等を特に晝食として食べて貰つた、城島大佐を先頭に凱旋兵全員があの廣い待合所の椅子に腰かけ或は立つたまゝ戰塵に燒けた顏をほころばしながら心よく食べ非常な喜びを受けた

傷にガーゼを詰め縫ひ合せ施術

被害者青柳の死體解剖の結果 兒玉博士に新疑問符

世紀末的戀愛葛藤の末、はかなくもトランク詰となつて現れた青柳貫の死體は廿六日午前八時三十分より博愛醫院に於て解剖に附されることゝなり、午前七時半トランク詰のまゝ沙河口署より博愛醫院に運ばれた、梱裝大トランクは堅く錠が下ろされてゐたゝめ係官と雖もその内の樣子を知り得ず、たゞ腐爛死體より流れ出る汚汁がトランクの外部にまでしみ出して來る有樣に腐爛程度の甚だしさを想像し得るのみであつたが、午前八時半、解剖室にて先づトランクの蓋が打わられ、死體が明るみに取り出された時には、流石物なれた醫員係官も顏をそむけざるを得なかつた、被害者は丸裸にせられ兩手兩足は折曲げられて太いロープでぐる〱卷に縛し上げられ油紙に包んだ上を蒲團包み用ズック袋に入れられてゐたが大膽な犯人と雖も餘程あわてたものとみえ袋からは腐爛してふくれ上つた片脚がヌッと突き出てゐた、死體檢査の結果、外傷は頭部の眞中、咽喉上部、外九ケ所で致命傷は前から後につきぬけた咽喉上部の突き傷であつた、而も此等の傷は何れも傷口にガーゼを詰め、立派に縫ひ合せてあつたが、右施術は兒玉博士の手によつて行はれたものと推定されてゐる、解剖は午後零時卅分頃終了、死體は泣きくずれる老母に引渡されたが、右解剖の結果傷口の施術その他の點より兒玉博士の身邊を繞つて更に疑問符がつけ加へられることゝなつた、卽ち

一、博士は青柳殺害に當つて中薗と共犯關係にあり、施術は進んで行つたものである?

二、博士は中薗より脅迫され止むを得ず傷口を縫ひ合せたものであるか?

何れにせよ右二疑問の解決は兒玉博士を決定的位置におくことゝなる、疑問に續く疑問、謎に繼ぐ謎 青柳殺害事件は何處まで迷路を走つて行くのか?

金井博士來連

兒玉博士家の怪事件の報を聞いて廿六日はとにて來連した金井章次博士は直に滿鐵本社に出頭し土肥人事課長その他と協議を凝したが記者に語る

滿日の奉天支局から電話で知らしてくれたので驚いて汽車にかけつけて來連したわけである、あんな眞面目な男が犯罪に關係したとは思へない、たゞ極端な吃音で研究と論文執筆との他は一切に興味を感じない本當の學究だからこんな學者の家庭に起り易い悲劇であつたといはれても致し方はない

滿洲チフスの病原菌發見者

金井章次博士の談

【奉天電話】この事件の中心人物とされてゐる兒玉博士と數十年來の親交ありし現奉天省公署總務廳長金井章次博士は愕然として語る

夢のやうな感がする、自分と兒玉君とは郷里を同じくし倚千葉醫專、北里研究所當時、滿鐵衛生研究所當時も永い間友交ある間柄だ、氏の兄は郷里の縣會議員であり有數の資產家であるとともに北里研究所時代は寧ろ兄弟子として研鑽を共にして來たものであり、衛生研究所にも私が所長時代氏を招聘した位だ、從つて兒玉博士の性格は他の誰よりも知り盡してゐる、兒玉博士は至極人の好い方で稀に見る純然たる學者肌の人であり且つ世事の何物たるに關心を持たぬ寧ろ世間知らずの人であり研究一方の人である、醫學界の謎である滿洲チフスの病原菌を發見する等細菌學者としては東洋に重きをなす人で昨年の如きは榮譽ある淺川獎學資金をも贏ち得た人である、今回の事件に關係ある如きは氏の數十年來の性格を知り盡せる者としては何人も信じ得ないであらう、こんな事件に關係があるとは考へられもせず、おそらく何かの間違ひではなからうかと思ふ

なほ同夫人は

兒玉博士は溫厚な人であり奧さんは内面的にはよく知りませんが松本女學校出身で美人です

保險金詐欺の大芝居

羅津で急死したのは中本で遊興したのが坂上

【羅津特電二十五日發】奈良縣の素封家坂上富三郎が旅先羅津で急死し遺骨が突然郷里へ送り屆けられた事件は十七萬五千圓の保險に二ケ月前加入した坂上富三郎が中本重太郎の死を早め恰も自己が死亡したる如く世間を欺き保險金を詐取せんとしたる近年稀な大芝居であることが鹽見布教師、宮本醫師、曙旅館の證言で寸分も疑ふべからざる事實となつた

坂上は曙旅館で十日宮本醫師の診察を受ける時宮本醫師に向つて私は中本重太郎ですと述べた事實あり、同日宮本醫師が處方箋に中本重太郎と記載したるに拘らず藥を取りに來た自稱中本は患者は中本にあらず坂上だと申立てるため中本を削除し坂上富三郎と記載させた事實あり、死んだ坂上の人相につき宮本醫師と曙旅館主との談は一致して身長五尺五寸位中肉痩せたる方、顏長く色淺黑く髮七三の左分け上髭少しあり、自稱中本の人相について宮本醫師、鹽見布教師、曙旅館主は丈五尺四寸位顏丸く色白く髮角刈鼻太しと語り、坂上を火葬した十四日の晩から翌朝八時まで百圓札束を持ちながらもケチな遊び方をした自稱中本が遊興した藝妓梅千代(二二)の談話も同一であるのみならず、死んだ者としてその遺骨を送り屆けられた坂上の實弟長谷川淸次郎が「兄坂上富三郎の人相と十五日羅津より姿を消した自稱中本の人相は合致し死者は坂上でない」と語つてゐるなほ中本の死因は今後遺骨につき鑑定の結果毒殺なるか否かが判然するものと見られてゐる、一方赴任早々の羅津警察官駐在所長前田警部補は全署員を指揮し坂上の逮捕に努めてゐる

三角關係の新登場者

中薗と關係し結婚解消した ピアノ教師御旗三輪子

事件の裏に潜む疑惑の女性――ピアノ教師佐藤こと御旗三輪子(二七)は有閑マダムに有勝ちな懶怠の世界を泳ぎ廻り博士夫人、中薗とをめぐつて三角關係を描いた結果、愛兒二人を犠牲に結婚解消までした倫亂な女だけに今度の殺人事件には何等かの關連あるものとの見込みの下に沙河口署では同女の行方を極力搜査してゐるが未だその住居を突き止めるに至らない

……◇……

三輪子は昨年七月頃市内臘燭町北野某方に間借りし中薗とのただれ切つた戀に醉ひしれてゐたがそれが博士夫人勝美の耳に入り、醜い三角戀愛のトラブルが持ち上つたことがある、當時三輪子の夫で某會社に勤務する御旗氏は妻の不貞なる一方、兒玉博士に對し書面をもつて三角關係を知らせて注意を與へた事實がある、博士は既にその當時から夫人の行狀に對し總てを知つてゐたらしいが學究的な博士は研究に全精魂を打ち込んで夫人に對して放任主義を執つた結果、今日の如き重大結果を招く原因ともなつた

……◇……

其後御旗夫人は愛兒二人を棄てゝ結婚解消し沙河口管内田村元雄方に移り住み、相變らず中薗とのたゞれた戀を繼續してゐたもので博士邸における慘劇後、博士夫人と屢々會見し埠頭にまで見送つたといふ事實が判つた、三角關係の男を見送る――こゝにも有閑マダムらしき變質的な色彩を見せてゐるがこれ等の點より綜合し御旗夫人は事件に何等かの役割を勤めてゐるといふことがいよ〱決定的なものとなつた

……◇……

右につき御旗氏を某會社に訪れると

事實上結婚解消しましたが戸籍面では未だ私の妻です、妻の行狀に對しては私としては忍ぶべからざるところを忍んで來ましたがこれも二人の愛兒の爲めでした、中薗と沙河口で居を構へる時など私の宅から世帶道具などを持ち出したこともあり遂に總てをあきらめて別れ今では精神的にも平穩となつてゐる時今度の問題が持ち上り再び私の氣持ちを攪き亂してゐます、妻の住居は私にも判りませんが早速正式離婚の手續きを執る考へです【寫眞は御旗三輪子】

東京から開原へ

十二歲の少女が母を訪ねて

たつた十二の少女が遙々一人で滿洲に居る兩親の許へ二十六日入港のあめりか丸でやつて來た、東京市大森小學校五年生の朝見千代子(一二)さんは兩親と別れて親戚の家から學校に通つてゐたが、開原にゐるお母さんが腎臟病だと聞き、たつた一人で東京から神戶へ、神戶からあめりか丸で大連にやつて來た、親切な水上署のお巡りさんから迎ひの鈴木政子さんに引繼ぎ午前九時發の汽車でいそ〱と開原に向つた

二十七日 北西の風 晴

滿潮(午前二時五十五分 午後二時五十五分)

干潮(午前九時四十五分 午後九時十五分)

各地溫度(二十六日午前十一時)

大連 一六 奉天 一四 旅順 一八 新京 一二 營口 一六 新義州 一一

暴風警報 風强かるべし午前八時滿洲附近を警戒す

善鬼惡鬼 (210)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

電　火（五）

「長吉どの、待たつしやい」と、吉兵衛は心配さうにとめた。

「その死骸に一仕事働かせるといひなすつたが、下手な事をして、吉祥寺どのに、迷惑をかけるのではないかな」

「ははは、御心配にや及びません長吉のする事ですもの、その邊にソツはありませんやれ」

扉がぴつしやりしまつた。扉の外で死骸の始末をしてゐるらしかつたが、外から云つた。

「水門には舟が一艘つないであります。堀割を出れば大川だ。大川を向ふへ突つ切れば、千住の灯がちらちら見える。ははは、吉兵衛さん、長吉の目ろみはお判りになりましたかえ」

「判らないね」

「まア御安心なさいまし。惡いやうにや計らひませんかられ。では行つてまゐります」

死骸をかつぎ出すらしい物音、つゞいて水門の掘わりをぬけてゆく舟の音。

怖ろしいエレキの強藥をかけて二人を殺すまでは、周到な用意と沈着な氣持を持つてゐた樂齋だが目のあたりに、無殘な死骸を見ると、一時に氣ぬけがしたやうになつてゐた。

それでもはじめの中は樂齋が止まないで、頻に獨り言を云ひつゞけた。云ひつゞける中に、だんだん氣ぬけがはげしくなつて、吉兵衛が死骸の始末をはじめた頃は、ぼんやりとして了つたらしい。長吉と吉兵衛の打合せなどはまるきり知らなかつた樣子だつた。

「樂齋どの、御安心なさいまし、都合よく片付けておきましたからな」

さう云つて吉兵衛がふりむいた時、室內のけむりはすつかり晴れてゐた。而も、そこに樂齋の姿は見えなかつた。

「おや、樂齋さん、どこへ行きなすつた。樂齋どの、樂齋どの」

吉兵衛はびつくりした。

樂齋の怖ろしい獨り言をすつかり聽いたのは、長吉ひとりではなかつたらしい。お銀も五郎兵衛さへも、聞いたやうな長吉の口ぶりだ。

おはまと五郎兵衛との間を疑ひぬいてゐる樂齋、そうして、今、目前の無殘な死骸同樣、やがては五郎兵衛までも燒き殺さねば承知しないやうな樂齋の高言。もしそれが五郎兵衛の耳に入つたとしたら、どうなるだらう、どんなことが起るだらう。

吉兵衛は身ぶるひして驚いた。

「樂齋どの、樂齋どの」

小聲でよびかけながら、座敷牢を出て、廊下へ、廊下づたひに離れの一間へとやつて來た。

眞暗がりを、吉兵衛の手にある雪洞がほんのりと照らした。

「樂齋どの」

雪洞で一應、離れを見まはすと堀割に向いた出窓の脇かけに、兩手を打ちかけ、兩手の上へ頭を伏せて、樂齋の痩せてひよろ長い身體が、小さく固まつてゐる。

「どうしました、樂齋どの」

聲をかけてゆすぶつても、返事をしない。

「御安心なさい。あと始末は私がうまくやつて來ましたからな」

さう云つて、も一度、樂齋の肩を叩いた時、吉兵衛はアッと驚いた。樂齋の身體が燒けるやうな熱さだ。而もしつとりとしめつてゐる。おまけに、肩のあたりが、小きざみにゆれてゐる。

「やゝこれは大變だ。ひどい高熱です。樂齋どの、樂齋どの」

齒の根が、がくがくと動くばかりで、ものが云へないらしい。

「しつかりなさいまし。只今、手あてをいたします」

吉兵衛は、大急ぎで床をのべて抱くやうにして樂齋に枕をあてさせた。ありつたけの蒲團をかけ、なほその上に、いろいろなおもしをかけたが、樂齋はがたがた震ひつゞけた。

「寒い、寒い、ウー苦しい」

呻りつゞけに呻つて、あとはこんこんと睡つた。

雁治郎の孫 銀幕へ 『初陣』に主演

關西劇壇の大御所中村雁治郎の愛孫で林長三郎の長男林敏夫（一九）が叔父に當る林長二郎の紹介で松竹京都に入社し銀幕界にスタート切る事になつた彼は明朗溌剌たる近代青年でその前途は非常に囑望されてゐる、第一回主演映畫は冬島泰三監督が原作脚色メガホン執る「初陣」と決定、之には特に林長二郎、阪東好太郎、高田浩吉、尾上榮五郎、阪東橘之助等が應援出演するもので白虎隊を描く悲壯篇である

うわさ話

映樂館は明日から文藝春秋に載つた「十二階下の少年達」と宮川美子のトーキー「笑ふ父」の再上映で短期興行をやつたあと▲十一月三日から野口博士の傳記を映畫化した「ナガナ」を上映するので全市の醫師及び各醫院の看護婦長招待の計畫をたてゝゐる▲中央映畫館は十一月二日から松竹蒲田のオールトーキー「頰を寄すれば」と柳さく子一行の實演を組むが▲近來珍しい吸引力を持つ强力番組として業界の注目を集めてゐる▲この兩館の特別興行に對立して日活館は前篇が受けた大谷日出夫の「曠野の涯」の後篇▲次週常盤座で上映するメリー・ピックフォードの「お轉婆キキ」は無聲時代にノータル主演で知られた名喜劇のトーキー化である

〃お轉婆キキ〃　アンドレ・ピカール原作の名喜劇トーキー化で久振りでメリー・ピックフォードが主演してゐるユナイト映畫、相手俳優はレヂナルド・デニイ、監督はサム・テイラー【常盤座次週上映】

シムラ會商第一日
先づ我方より提案
會議は圓卓で自由討議

【シムラ二十五日發國通】日印會商は愈々廿五日午前十時より立法議事堂で第一次正式交渉が開始されたが、ボア商務長官は遂に缺席したが、日本代表首席澤田代表以下各代表並にインド側代表全部出席し、茲に日印間の重大會議の幕は切つて落された、會議劈頭日本側より或る種の提案が提出され、これに對しインド側では愼重審議の必要あるため明日は會議を行はず内容を檢討し、二十七日より再開したしとの提議あり、日本側はこれを承認して本日の會議を終了した、尙は本日の會議で今回會議の形式が議せられたが、結局圓卓會議とし、日印兩國代表間で形式張らずに自由に問題を論議することに決定した、シムラ會商におけるインド側の態度はもつとも懸念されて居たところだが、會議第一日の會議より押して相當强硬な樣だ

澤田代表から差別待遇を抗議
現行條約存續を希望

【シムラ二十五日發國通】本日の日印會商で劈頭澤田代表はインドの日本に對する差別待遇に遺憾の意を表し議に廢棄を通告された日印通商條約をその儘存續せられん事を希望する旨を述べた、これに對しノイス代表は差別待遇は余も遺憾に思ふ處だ今日はボア長官が缺席のためこれ以上言ふ事が出來ぬのは殘念だが貴下の御意思は充分ボア長官に傳へて置くと答へた後ボア長官の病氣其の他の雜談に入り僅か二十分で散會した

印度側足並亂れ 輿論も不統一
日本は官民代表共結束

【シムラ二十六日發國通】シムラ會商に對する日本側政策は先づ暫定協定に依り十月十日以後印度と無條約關係となる憂ひをなくしておき、しかる後新條約締結の折衝を行はんとするものだが、この暫定協定の締結は印度に外交權が與へられてゐないので諸種の困難を伴ひ、印度には從前から外交自主を要求する聲が相當强く、この機會に完全な外交權を獲得せんと策動するものもあつて、印度政廳はこれを抑壓するに努めんとしてをり、更に印度側では棉花商と貿易業者との間に利害一致せず更に又英本國のランカシアと印度紡績業者の利害も相反するので印度側の輿論は不統一複雜を極め、足並亂れてゐる、これに反し日本側は一致團結政府民間兩代表ともしつくり手を握り合つてゐるがこの點非常に强味である

堂々の戰法に 印度側當惑

【シムラ二十五日發國通】本日の日印會商内容は二十七日の會議の終る迄双方より一切發表しないやうインド側より申出であつた爲め、コムミユニケの發表もなかつた、印度側の眞意不明だが本日の會議でインドはもつとも痛い點を突かれたのでその發表をよろこばぬ爲めと觀られる、仄聞するに日本側は或種の修正を附して現行條約の存續を要求したが、之れはインドの自主權に關する事でインド政廳としては之れに卽答するを得ず、日本の眞正面からの堂々たる戰法に當惑した模樣だ、右に關聯してもボア長官の病氣缺席も之れを恐れて政策的に行はれたものではないかとの觀測も行はれてゐる

北鮮海港の大連對抗は至難
呑吐力と運賃の關係で

【奉天二十五日發國通】京圖線の全通と相俟ち北滿新線に依る羅津、雄基、清津各港の距離短縮し北滿特産物の輸出は一般的に期待されてゐるが、運賃問題で大連港、北鮮港との折合つかず滿鐵において北滿特産の中心地、克山、雄基間と克山、大連間の運賃をほゞ同一價格にすべく傳へられてゐるがこれにしても一年後の北鮮各港の呑吐力は大連に比し雲泥の相違あり、大連現在約九百萬トンに對し清津、雄基兩港合せて約百二十萬トンで、尤も

羅津 は未だ計數に上げ得ないが、非常な相違を示してゐる右に關し九月十一日清津方面を視察せるハルビン特産商の報告によればハルビンを中心とせる特産年額大豆、豆粕、百五十萬噸は北鮮各港に振り向けられる豫想となつてゐるが、右數量は前記呑吐力より見て受取り難いと共に大連には永く特産取引市場としての地盤があり施設船便の點においても便なるを以て内地側において北鮮各港が直に商談に應ずるや否や甚だ疑問とされ、また現在運賃單位を比較するも豆粕一車につきハルビン雄基間六三七、六〇圓、ハルビン大連間七〇〇、四四圓でピクルにすれば僅か五錢の開きしかなく從つて北鮮各港積の場合船運賃は大連積より僅か五錢のマーチンよりないといふ結果となる、この點より見て大連積に對抗することは甚だ困難と見られてゐる、從つて

北滿 特産物に對して北鮮各港が如何に利用されるかは鐵道運賃の調節が最も重要なる問題であり、滿鐵、特産商間に問題となつてゐるが、海運筋の見積りによれば第一年度（明年一月より五月まで）の北鮮各港に輸送される數量は約十萬噸とみられてゐる

朝鮮採鹽高七千萬斤增加

【京城】朝鮮總督府專賣局發表＝九月十日現在採鹽高は合計三億一千六百四十一萬九千斤にして豫想高に比し七千一萬三千斤の增加を示した

大連商議會頭等 長官に陳情

大連商議では電信料引下問題に關し目下旅順滯在中の菱刈長官に更めて陳情するため正副會頭並長永書記長は廿七日午前出旅する筈

三菱支店が特産係を分割
松田富家兩氏任命

三菱商事大連支店では特産業務のいよ〳〵擴大されるに鑑み、特産主任前島純夫氏が今回ハルビン出張所主任に轉任するを機とし、豆粕、豆油係主任に松田榮三郎氏を大豆穀物係主任に富家一一氏を任命して、從來の一係を二係に分類した

國幣の州内不流通
當業者に不便でないか
舊幣の回收順調に進捗
來連の山成中銀副總裁語る

滿洲中央銀行大連支行は二十六日午後六時より大連ヤマトホテルにおいて開業披露宴を開くので榮厚總裁、吳理事らは既に來連してゐたが、副總裁山成喬六氏は五十嵐理事、村上、佐々木兩行員を隨へ二十六日はとにて來連、尾ケ浦ヤマトホテルに投宿した、車中金州まで出迎へれば山成副總裁は快よく語る

我々の銀行の大連支行は今年三月に開いたが、旅大の官民に披露をしてゐないので遲ればせながら今回やることになつたので一同出連したわけである、大連支行も滿洲方面との爲替業務を主とし、あまり表面的な活躍はしてゐないが、すべて漫々的に手を擴げて行くつもりだ、中央銀行券の關東州内流通問題は複雜な問題で沿革は充分尊重せねばならぬが、いづれ便利なところに落ちつくことにならう、すべてマーケットは大きくなる程便利なもので、その意味で我々の支店も出て來て

仲間入 りをすることはそれだけ貢獻し得るものと思つてゐる、中央銀行券が州内に流通せぬことは我々の銀行自體としては別に窮屈に感ぜぬが、税關の取扱貨幣となつて居るので多くの人に不便を與へて居はせぬかと恐れてゐる、結局流通區域の廣い通貨が一般の便利なのではなからうか、中銀紙幣は現在一億五百萬圓出て居り、全滿に亘つて大なる信用の下に堅實に流通してゐる、かく中銀紙幣が短時日中に堅實な基礎を植えつけ得たことは國銀の理想とする純銀を單位としたことが最大の原因だと信じてゐる、中銀紙幣の圓滿な流通と共に舊幣の回收も順調に進行し、現在まで六割五分を回收してゐるから豫定通り來年六月以降は舊幣の流通を禁ずることが出來ると信じてゐる

滿洲國 の幣制を金本位にするか銀本位にするかは長い間の論議の的であつたが當分の間は現在の銀本位を維持することに決したことは事實だ、これは各方面の人が色々研究し盡された結果自ら落ちつくところに歸着したもので、幣制の改革はあまり激變しない方が穩當といへる、中銀の特産買付問題は大分世間を騷がしたが、あれは官銀號に屬してゐた糧業者が中銀に一緒に轉り込んで來たため一個年間を限つて行はした結果で、問題を起したことは我々も遺憾に思つてゐる、これら糧業者は今は全部關係を絕つたから今後は問題を起す餘地はない、尤も特産は滿洲の生命であり從つて特産金融は中銀の使命であるから此の出廻期には他の金融機關を通じ、又特産商に直接に全力を擧げて金融につとめ遺憾なきを期す考へである、しかし

中銀が 直接買付けるより不便はないかといふのかそれは不便を感ずるのは免れなからうが過渡期には色々の事があるものだ、もつともこの不便が實際には相當問題にはなるかも知れぬが

デパートの所在地は何處も賑ふ
小賣店には影響ないと
廿六日歸連の岸田氏語る

デパート時代への躍進、伸び行く百貨店の觸手、近代的な豪壯を誇り濠速ストリートに君臨すべく近く開店の運びにいたる幾久屋デパートの主人、代議士岸田正記氏は約一ケ月半に亘り多忙な旅行を東京、大阪に過ごしてゐたが、二十六日入港あめりか丸で歸連、語る

永らく留守をしてゐたので實はどの位工事が進捗したか知らない、初めは内地から新らしく採用しやうと思つたが、それより澤山の有爲の青年子女が大きな希望をもつて渡滿し、空しく遊んでゐるので、さういふ人達を活用して新興滿洲國で働き場所を作つてやる事は頗る有意義だと信じたので、こちらで募集する事にした、約三百六七十名採用する、このうち百名位は東京、大阪、廣島各地から採つた、かうしたデパートの

進出は 小賣商に痛手を與へるといつて反對する人もある樣だが、内地の例によると百貨店のあるストリートは人出が多く自然近隣の商舗も繁昌してゐるそれが證據には大阪のデパートは八の日休むが、その日は一般小賣商も賣揚げが少い、とにかく自分は出來るだけさうした方面の商舗と協調主義でやつて行く、そして小賣の人にも利益をあげて貰ふ、次にこちらのデパートに影響といふ人もあるが、人口と比較すると京城の如きからみて非常に有利な立場にあると立てるものである、幾久屋デパートは地下ともに四階二千二百六十坪、經營系體は岸田個人の經營にする、これは幾多内地の大デパートの成績を見てもその方が好いと信じたからだ、百貨店は色々な品物を扱ひ經營事務も紛雜だけに統制をとる事が急務でその點個人經營は間違ひあるまい、まあ多少でも植民政策の一端にお役に立てば好いと思つてゐる、そして

若い人 の慰安場所になつてくれる事を期待してゐる、仕入方法は問屋を通さずすべて直接生産業者、製作工場よりとの事にしてゐる、例の地下の小賣市場問題はそのまゝになつてゐるが自分は食料品店舗を作る積りだ、開店は判然とはしないが十月五日頃にしたいと思つてゐる

滿洲國商標法の一瞥（一）
中村如峰

本月二十一日附を以て公布し、來る十一月二十日から實施される滿洲國商標法については本紙は去月廿七、廿九の兩日その全文を掲載したから、その後多少の訂正はあつたが重複を厭ひ再度の掲載を避け、茲に中村如峰氏の執筆にかゝる同商標法に關する解說と批判とを連載することゝした

一、商標法制定と日本

新興滿洲國政府が建國匆々の際に於て、國家建設に對する重要法令の制定に着手すると同時に、商標法の如き工業所有權に關する經濟産業法規の發布を企圖した事は恰も日本が明治維新の直後たる明治四年に、早くも太政官布告第百七十五號を以て、特許法の萠芽とも稱すべき專賣略規則を公布して工業所有權保護の端を開いたにも稍ともすべく、滿洲國政府當局が態東北政權の秕政に鑑み、王道樂土の基調は産業の開發、貿易の振興に在りとなし、夫れに向つて銳意努力を拂ひつゝある一端の具現とも首肯することが出來やう。

元來、工業所有權法規の制定は一國經濟政策上の積極的施設である。國家が法を設けて商工業の不正競爭を防止し、正當權利者を保護し、相當の利益を以て之に酬いんとするものは、一に産業の發達貿易の增進を企圖するからである滿洲國が獨立國家として支那の羈絆を脫した以上は、當然、新に工業所有權に關する保護法規を制定し、文明國家たるの實を示す必要のあることは言ふまでもないが、滿洲國の産業狀態は今のところ事實まだ幼稚であり、文化の程度も日本や歐米先進國に遠く及ばないものがあるからして、必ずしも工業所有權に關する發明特許、實用新案、意匠、商標の四法規を同時に發布する要はないが、日常、商工業と經濟的に最も密接な關係を有つ商標法の如きは、その實施を焦眉の急務としなければならぬ。

◇

滿洲國政府が斯うした事由からして、議を定めて先づ商標法の制定に着手したのは、大同元年（昨年）六月であつた、爾來、種々研究を重ね、結局、我が特許局で作成した滿洲國商標法草案を基礎として審議が進められた。當時特許局方面では日本の商標法その儘を滿洲に持つて行ったらといふ說もあり、又た支那商標法を改訂して施行したらといふ議もあつたが、この兩說とも相當に反對があつた、本文の記者の如きも、前者は日本と文化並に經濟的民度を異にする滿洲に、日本そのまゝの法規を持つて來るは面白くなく、後者の如きは不完全極まるものであるから、これを改訂して見たところが、よいものになる見込はないが、滿洲國には滿洲國の人情、風俗習慣と民度に卽した商標法を制定すべきであると主張したものである。

斯くして滿洲國商標法其他關係法規の審議を終り、漸くその成案を得、九月六日國務院會議に上程し、次で同十二日參議府の諮詢を經、直に執政の裁可を得て、先づ九月十三日に商標局官制、同二十一日には商標法並に同法施行細則を公布した、滿洲國が建國一年有半にして商標法を發布したことは何れからしても成功と稱しなければならぬ。

日本は滿洲國を以て生命線となし、政治的にも國防的にも經濟的にも、特殊地域として古くより緊密不離な關係と交涉を有つて居つた事は、滿洲國が建國宣言後未だ半歲ならずして其の獨立を承認し、次で國運を賭し孤立を覺悟して、國際聯盟を脫退したことに依つても、その間の事情は明瞭である。而もこの關係は日滿經濟の總てにおいて如實に現れ、全面的に交涉を有つが故に、滿洲國商標法の如きも單なる滿洲國の國内法として、これを見ることは出來ない、加之、滿洲建國前、張家二代の侮日抗日排日政策に累せられて我が商標權は隨時隨所に侵害、蹂躪され、市場の開拓、商權の確保は意の如くならず、之が爲に産業の開發を阻止せられ、通商の進展は支障を受け、猶額大の關東州、帶の如き鐵道附屬地に蹐蹐を餘儀なくせられたことは、相當長い年月であつた、この長い年月の苦痛と犧牲を耐へ忍び來つた我が商工業は、柳條溝の銃火に妖雲が一掃されて以來は、軍部の諒解によつて軍警の庇護を受け、辛うじて商標權其他の工業所有權を自衛したが、これは所謂一時的便法に過ぎないのである。

◇

斯うした事情の下にあつた我が商工業者は、滿洲國の出現に依つて、政治、經濟機構の革新を見、着々建國の基礎は成り、産業立國を目標に諸般の施設を進め、之に伴ふ法規の制定に着手し、殊に商標法の實施を急ぎつゝありと傳へらるゝに至つて、擧つて之に多大の注意を拂ひ、その發布の日を鶴首待望したは、久しい苦痛と犧牲の苦い體驗によつたに外ならぬ。滿洲國商標法發布の聲を始めて聞いたのは舊臘のことであるからして、同法の發布を待つたのは僅か九ケ月に過ぎなかつたが、夫れでも我が商工業者に取つては待ち遠い九ケ月であつたこと程、滿洲國商標法と我が商工業者は深刻な利害關係を有つて居る、殊に滿洲國と地理的、歷史的、政治的、經濟的に同じサークル内に在る關東州の業者が一層な關心を之に有ちつゝあつたことはいふまでもない、僅か一年有半で商標法を公布した努力を、支那が列國に督促されつゝ二十年を經過して、漸く商標法を發布し而も强硬な反對を受けた當時の事實に比すれば、そこには餘りに多くの變化を見出すのである。（未完）

大汽株主總會 廿六日開催
前期同樣無配

大連汽船會社の定時總會は二十六日午前十一時より本社重役室に於て開催

一、昭和八年度前半期營業報告書貸借對照表、財産目錄及損益計算書承認の件

二、昭和八年度前半期利益金處分の件（無配繼續）

三、借入金借替の爲社債募集の件

は原案通り可決

四、監査役堀義雄氏辭任に付補缺選擧の件

は改選の結果八木聞一氏が當選した、而して上期の總收入金は六百二萬四千百五十六圓にして總支出金五百七十九萬五千四十一圓を控除し、差引當期の利益金として二十二萬九千百十五圓を擧げ、前期繰越金八萬一千七百四十六圓を合して三十一萬八百六十一圓を計上し得たるも、海運界の實情に鑑み前期通り無配として十八萬八千八百六十一圓を後期に繰越すこととした、利益金處分案を示せば左の如し（單位圓以下切捨）

項目	金額
總收入金	六、〇二四、一五六
總支出金	五、七九五、〇四一
差引	
當期利益金	二二九、一一五
前期繰越金	八一、七四六
合計	三一〇、八六一
此の處分	
法定積立金	一一、五〇〇
社員退職手當資金	一〇〇、〇〇〇
役員賞與金	一〇、五〇〇
後期繰越金	一八八、八六一

管理令懸念で鈔票低落

二十六日前場大連錢鈔市場の鈔票は海外情報としては倫敦銀塊現物十六分の一安、先物同事、紐育銀塊八分の七安、孟買十六分の三安、米日爲替同事、神戸日米第一回報八分の一安、上海標金小旋りとしたる軟材料ではなかつたが本紙所報の通り當地における爲替管理法はいよ〳〵二十七日附關報を以て發令し、來月五日より之れを實施するが可なり嚴格なる内容であるとの報を入れ現物より崩れて安値は百十一圓二十五錢をみせ、先物は一圓四十錢安の百十一圓七十錢に寄りアト小戾しをみせたが結局一圓擦み安に引けた

三井財閥が獨占形態を緩和
傍系會社持株を解放

【東京特電二十六日發】三井財閥は池田成彬氏の合名入りと共にその獨占形態緩和の方針を更に擴大し、傍系會社の持株を賣出す外三井家一手に所有する物産、鑛山、東神倉庫等の株式まで解放する決心をなしたと傳へられてゐる

黄塵

◇…三井では愈々その風說通り傍系會社の持株を一般に解放するらしい新に合名入りをした池田氏の建策かどうか知らぬが、とにも角にも天下の財閥が事業の獨占主義を棄てたことは刮目に値する、これも時代の變轉といふべきか。

◇…シムラ會商いよ〳〵開始、日本の正々の論陣に對して印度側は官民の意見不一致、おのづから足並も亂れ勝だとはさもあらう、背後の怪物、いかにこれをあやつるかゞ問題。

◇…けふの鈔票市場前場、あす發令の管理令懸念でとかく下向き顏、問への相場を見せてる、開けて見て一しほ苦い顏を見ればならぬとあつては當業者も一段ウンザリと來る、さても待たるゝ今宵の一夜かなだ。

市況（廿六日）

特産
銀安と買氣に 大豆强調

今朝の定期は大豆は銀價の低落と買氣ありて强調を辿り、豆粕は米價高を眺めて堅調を示し、豆油は銀安に睨り、高粱は大豆高に强調を呈した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一二〇五	一二〇五	一二〇五	一二〇五
十二月限	一二〇〇	一二〇〇	一二〇〇	一二〇〇
出來高	二千五百箱			

▲高粱（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	一八一〇	一八三〇	一八一〇	一八三〇
十一月末	一九二〇	一九三〇	一九二〇	一九三〇
十二月末	一九二〇	一九四〇	一九二〇	一九三〇
一月末	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇
出來高	三十八車			

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	四三六〇	四三八〇
出來高	六十車	
普通（袋物）大豆（裸物）	四三五〇	四三五〇
出來高	五車	

豆

けさ大豆は銀價落と天候不良を眺め奥地筋及外商の買物に强調を辿り▲豆粕は大豆及内地高を眺めて强調を示し豆油は銀安に睨り高粱は大豆高に强調を呈した▲爲替法施行の聲に先づ銀市場も自然買かされ特産市場も奥地天候不良に奥地筋がなごして輸出筋は一寸一形▲現物大豆も實隆一〇、井五、三菱三、豐年二、五、裕發祥五、油房二〇十車と小手合で閑散▲新の出廻りで到着大豆が漸狀勢にある

銀

昨日後場は爲替法發令近しとのやフランスの金本位側停は宋子文の辭職說等々いろ〳〵の流說あり相場迷ひをみせたがけさ本紙の通り管理法はいよ〳〵七日發令に決定したとの入れ▲定期立會前現物が押した▲管理法の内容はみなければ判らないがり嚴格なことは事實らしいであるが結局實施後は取引が可なり窮屈になるだけで銀自體の原本的弱材料といふ譯ではないからひどく狼狽する必要もあるまい

株

北濱定期の寄は軟弱東新も三圓臺と安寄りしたが引は四圓臺に小戾し▲當市は相變らず氣乘薄で五品は一二十錢安、新豆錢鈔もザリ安商狀で新安値をつけた▲內地主力株も國際情勢の不安定を眺めて氣迷ひ深く依然不透明な商狀を呈してゐる▲株に當限は可なり高値喰合となつてゐるので納會までは不引立を免れまい▲しかし國際事情に甚だしい變化がない限り十月相場は玉整理の進捗と相俟つて買氣の再燃をみるのではあるまいかと思はれる

株式
東新冴えず 五品弱保合

北濱定期の前場寄は大株六十錢安、鐘紡一圓六十錢安、大新九十錢安、鐘新八十錢安、引は殆ど不變、東京短期の東新は寄付き一圓安と圓臺を割つたが引は八十錢高の圓臺へと引戾し當市定期の五品は一、二十錢安の保合、延は寄十錢安、引十錢安、新豆、錢鈔軟弱東新五圓臺割りの四圓六十錢と寄り四十錢安に引けた

◇前場

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
東新（寄）	一九五二	一九六七
東新（引）	[illegible]	[illegible]
五品（寄）	二二九六	[illegible]
五品（中）	二二七〇	[illegible]
五品（引）	二二七〇	[illegible]

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二六八	二六八	二六七	二六七
新豆	—	—	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	一九六	一九六	一九二	一九二
滿鐵新	六九	[illegible]	六九	[illegible]

◇賣取引

東拓新七七、正隆舊二六〇、隆新一三一、正隆二新七五、滿鐵乙新一八三、滿銀丙新七五、鮮銀新一七五、星ケ浦土地三五、郊外土地六九、周水土地四二、不動産信託四五、大連火災一一七、湯崗子溫泉四五

滿鐵株（保合）

銘柄	値段
東短前場 滿鐵新株	六十七圓二十錢
大阪短期 滿鐵舊株	六十七圓八十錢

○爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代引	日步
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

株式出來高（廿五日）

項目	數量
定期	三六〇枚
延	一、〇五〇枚
合計	二〇〇枚
早渡	一、四三〇枚
金額	九八〇枚
	五七、八四〇圓

錢鈔

錢鈔相場（單位錢）

爲替相場（單位錢）

金對洋、銀對洋

手形交換高（廿六日）

	枚數	金額
金	一、三三九枚	四一、四三〇、三三三圓
銀	三六一枚	一、二五〇、七三六圓

爲替相場

鮮銀

項目	相場
倫敦向電信（一圓）	一志三片〇分〇
紐育向電信（金百圓）	二七弗八分五
同上海電信（百弗）	一〇九圓五〇
同 賣（銀百圓）	九七圓三〇
日本向電信（同）	一二圓五〇
同十五日拂買（同）	一〇〇圓〇〇

奥地相場

銘柄	相場
金票對奉天票（現物）	五八、八〇〇
國幣對金票（現物）	一〇七、五〇
金票對國幣（先物）	九三、〇〇
開原國幣對金（現物）	一〇七、〇〇
新京國幣對金（現物）	—
安東鎭平銀（當限）	一、四六五
安東鎭平銀（先限）	一、四六六
哈爾濱國幣對金票（現物）	一〇六、二〇

特産

▲大豆

	限月	寄付	大引
哈爾濱	十月限	[illegible]	[illegible]
	十一月限	[illegible]	[illegible]
	十二月限	[illegible]	[illegible]

▲小麥

	限月	寄付	大引
哈爾濱	十月限	[illegible]	[illegible]
	十一月限	[illegible]	[illegible]
	十二月限	[illegible]	[illegible]

各地特産發送高

驛	大豆	高粱	豆粕	雜穀
▲開原	二車	三車	—	二車
▲公主嶺	三車	—	二車	一車
▲四平街	三四車	一車	—	六車
▲新京	一三車	—	二六車	一〇車

大連埠頭到着高

品目	數量
大豆	一一三車
高粱	五車

商品
麻袋弱保合 綿糸近物高

●麻袋 産地商狀保合、米日同事に地場鈔票は一圓四十錢方安と下賤れに寄付き、あと二圓臺の小往來商狀、當市は買氣にて三十五錢五、六厘擦みの唱へであつたがあと小口乍ら買物現はれて二、三厘方見直した、引際氣配は現物三十五錢八厘、當限先限共に三十五錢八厘の一本相場であつた

銘柄	約定期	値段	枚數
鑛筋	十月限	三五七	一〇
同	同	三五八	二〇
出來高			三萬枚

●綿糸 米棉現物は十ポイント安、先限二乃至九ポイント安、印棉二留比方高に米日爲替不變、大阪三品は近物二圓二、三十錢高と寄付き先限小一圓高、あと近物七、八十錢安、先限小一圓安と引け、當市はマバラ筋の賣物現はれた

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十月限	二二四二	二〇
同	十一月限	二二三四	一〇
同	十二月限	二一〇七	二〇
同	同	二一〇六	一〇
同	一月限	二〇六五	二〇
同	同	二〇四三	一〇
同	二月限	二〇三八	三〇
同	同	二〇四〇	一〇
出來高			二百梱

市場電報（廿六日）

銀塊及爲替

銘柄	相場
倫敦銀塊	一八片一六分七
同 先物	一八片一六分七
紐育銀塊	三九仙八分五
孟買銀塊	五六留比八分五
スチール	四八弗八分三
アナコンダ	一六弗二分一
英米爲替	四弗七〇仙五分一
米日爲替	二八弗〇〇仙
米支爲替	三〇弗七五仙

神戸日米

回	相場
第一回	二七弗四分三
第二回	二七弗四分三
第三回	二七弗四分三

棉花 ●米棉

限月	相場
現物	一〇仙〇五
十月	九仙八六
十二月	一〇仙一三
一月	一〇仙二一
三月	一〇仙三〇
五月	一〇仙四四
七月	一〇仙六一

大阪株式

東京株式

大阪期米

神戸期米

東京期米

印度麻袋

	相場
積	三三留比八分三
横	三五留比〇分〇
場	七七留比四分一

大阪綿絲

大阪棉花

横濱生糸

社説

非武裝地不安と日本の迷惑

方振武、湯玉麟、劉桂堂、吉鴻昌の東省聯合軍と稱するものは北平を指して進軍中にあり、北支又もや風雲の急を告ぐるに至つた。曩に馮玉祥の叛あり、抗日を標榜して實は北平乗取りを策したが、蔣介石と妥協し、軍を捨てゝ山東省泰安に隱退した。そこで宋哲元察哈爾省に入りて殘軍の整理に當り、一時平靜の様であつたが、方振武等尚其間に策動を怠らず漸次勢力を作るに至つた。蓋しこれ等の雜軍は何でもして生活せねばならぬ。隨つて、集まれば一地方を占領して誅求を事とし、散ずれば匪賊となるより外に途はない。宋哲元が察哈爾を整理するに當りて、此等の軍隊が占領地を逐はれたるにより、他に何れにか占領地を求めねばならないので、結局北平を指すに至つたものと思はる。

◇

黄郛、何應欽共力して北支の治安に努めつゝある際、此種雜軍の行動によりて擾亂を受くるは誠に困つたものであるが、それは支那の内政問題として外間よりは如何ともなし難し。併しながらその爲めに方振武軍の如きは懐柔に侵入してその保安隊を解散せしめ、日支協定の違反を敢てする如きは、我軍に於て默視し難き所である。而して此れを討伐せんが爲めに支那中央軍を進めんとする如きも、斷じては、再び此の地域を戰亂の巷と化す可く、折角非武裝地域を作りて、此の地方の治安を保持せんとする精神に背馳する現象を呈することになる。

◇

是に於て我軍にありては、事態の面倒になるを恐れて、方振武軍に對して非武裝地域よりの撤退を求めたるも、方振武よりは、内政關係であるから日本は干與せざることを希望する旨返答して來たと傳へられる。方の此回答は日本軍の主旨を解せざるものといふ可く、日本軍は敢て内政に干與せんとするにあらず、唯日支協定を維持せんとするに過ぎないのである。一方北平に於ては漸く人心の動搖を來したので、各城門を嚴重に警戒してゐるさうだが、日本に對しては、援助と中立とを希望したとの消息である。併し援助といふは恐らく軍事的援助ではあるまい。軍事的には中立を希望し北平の警戒治安に對して相當の援助を希望するのであらう。日本軍としては非武裝地域に於て支那軍同士を戰鬪せしむることは出來ず、又戰鬪の準備をさせる事も出來ないから、方軍にして自ら撤退せずんば、武力を用ひて之を地域外に驅逐するの決意を示したのは已むを得ない。此の決意に恐れたものか、方振武軍は既に順義まで退却した。

◇

而して驅逐された東省聯合軍が一路北平に向ふならば何應欽軍との衝突を見る可きは免れざる勢である。そこで勝敗如何の問題となるが、北平軍にして若し敗北せば此處に新北支政府が發生するわけである。しかもそれにて北支の情勢は決して安定を見るべからず、更に混亂を生ずべきは疑ひない。若し又聯合軍にして敗北せんか、その殘兵潰亂して更に灤東方面の匪賊と響應して非武裝地域を荒すことなきを保し難い。此處に又もや非武裝地域の混亂を生ず可く、何れにしても我軍の默視し難き情態を發生する虞れがある。その場合々々に應じて善處しなければならぬが、兎角支那の無秩序な現狀には、我國としては誠に迷惑至極である。

協定破棄への抗議に
滿鐵より逐條反駁す
烏鐵側駐哈代表に手交

滿鐵が烏鐵當局に發した滿烏協定破棄聲明に對する烏鐵側の抗議文は八月二十二日滿鐵側に手交されその後滿鐵々道部が中心となつてこれの反駁文を作成中であつたが重役會議の決裁も得二十五日附を以て二十六日午後三時滿鐵ハルビン事務所長の手を通じ駐哈烏鐵代表に手渡すところあつた、今回の滿鐵の反駁文は烏鐵側の抗議文を細かに檢討してこれに對する反駁を加へたものでその範圍外に出ることはなく、從つて滿鐵は本問題を徹頭徹尾事務的に取扱ひ、事務的見地から本協定破棄の通告をなしたにかゝはらずソウエート側が本問題を政治問題として取扱ひ北滿鐵路買收問題と結びつけて一種の逆宣傳を行ひつゝある事實に對しては、それが烏鐵抗議文の内容に含まれてゐないため何等の反駁もなさざることゝなつた、なほ反駁文の通告に關し二十六日午後三時滿鐵々道部營業課長室で山口營業課長から談話の形を以て左の如く反駁文の内容の大要を發表した

反駁文内容

一、協約第十二條（本協約を更新するには九月三十日、卽ち協定の終る期日の九十日前に更新の豫告をなすことを要す）に違反してゐる故滿鐵の通告は協定違反なりと主張する烏鐵の抗議に對する反駁

本協定は一九三一年九月三十日を以て滿了しその時滿鐵側から一九三一年七月一日附を以て滿鐵としては協約第五條に定める輸送調節の圓滿なる實行を可能ならしむべき總ての手續が速かに完了せられるに非ざれば一九三一年十月一日以降何時にても本協約を廢棄し得るの權利を留保す、との書面を正式に烏鐵側に提出して居り卽ち今回滿鐵が行つた廢棄聲明はその保留した權利を執行したもので協約第十二條には何等拘束をされずこの豫告を以て充分效力を主張し得るものである

一、輸送調節の細目協定の不成立が滿鐵の責任であるが如きことを主張する烏鐵側抗議に對する反駁

一九三〇年十二月ハルビンにおける共同事務所兩鐵道代表者間にて調節實および同割引の設定に關する細目の取極めをなし滿鐵では何時にても之れを實行し得る手續を整へたるに拘らず烏鐵においては兎角の辯柄を並べて遷延し遂に實行不可能に陷入れた、これ卽ち滿鐵の責任でなくして烏鐵の責任において協定不成立となつた明らかな證據である

一、一九三二年四月十六日に遡つて本協定を廢棄したことを不當とする烏鐵の抗議に對する反駁

四月十六日に遡つて廢棄を發明したことは一九三一年七月一日既に豫告してある理由に基く當然の措置であり、且つ一九三二年四月十七日以降は事實上ポグラニチナヤ經由浦鹽向輸送は不可抗力のため全く運送停止せられたる事實によりその期間中は協約の效力は停止中のものである故四月十六日に遡及して協約の廢棄をなしたことは當然のことである

山口營業課長談

發表後山口營業課長は語る

抗議文は大要三つの點にあるがそれに對する反駁は今説明した通りだ、いづれまた再抗議が來るだらうがこれはソウエートの常套手段で同じことを繰返すだらう

羽田班消息

松花江下流梧桐河へ派遣されてゐる採金調査班中、羽田班はほとんど消息なく案ぜられてゐた處二十五日採金調査部本部より滿鐵あて二名の班員の行方不明を報じて來たが二十六日左のごとく無事歸還の報知が來た

第一報　十九日羽田班員三名匪賊に襲撃され岩崎秀雄、若松瀟の兩氏は行方不明にて目下捜査中渡邊義雄は無事歸還せり

第二報　岩崎秀雄、若松瀟の兩氏は重圍を脱し無事歸還せり

秋を聽く長官

滿鐵では二十六日滯旅中の菱刈軍司令官を招待星ケ浦の鹿乃家に於いて晩餐會を催したが菱刈軍司令官はこの日珍しく和服鳥打帽の打寛いだ輕裝で午後三時旅順より自動車にて來連、滿鐵側は正副總裁が不在の爲め十河、山崎、山西、河本、竹中の各理事が出席、主客共格式を抜きゆつくりした氣持で星ケ浦の秋色を賞でながら夕刻四時半頃から宴を始め歡談した（寫眞は自動車より降り立つ菱刈長官）

承認一周年を迎へて
建設され行く滿洲國（12）

軍政部の沿革
（一）　軍政部總長　張景惠

緒言

それ軍は國を護り民を衞り以てその生存を確保する所以のものである。我滿洲國は舊軍閥の秕政剿滅の後を承け時運に卽して建國の端を發し、國防の充實、内政の整備、人民の統攝より匪逆の剿除に至るまで比々として軍事と相關與せざるはない。之卽ち軍事の向き所以である。

近世列強の軍事の組織慣例を按ずるに概ね軍令、軍政の兩部門に分たれ、軍令は多く參謀本部に屬し和戰其他一切の最高權威を掌握し軍政は卽ち陸軍部海軍部の兩部と訓練總監部等之を掌る、之等部門は各々其任に當り、その權限は自から明らかなるもよく相互に唇齒相輔けて一體同身である。

斯くてこそその效用夙に顯著なるものがあり、もとよりその組織については夫々異る所あるが、其概況大略斯くの如くである、翻つて我滿洲國を觀みるに之卽ち一新興國家にして王道政治を行ふ、故を以て軍事組織に對しては當面の情勢に鑑みて殊更積極的企畫に弃らず出來得べくんば努めて簡略を期すべきである、現時軍事政令の施行發布は均しく軍政部の專ら司るところで、今茲にその端緒を明かにし進んで左にこれを詳述しやう。

成立後の沿革

我國建國當初においては匪賊の跳梁跋扈し、之が征定和平の計は均しく軍力に據らねばならなかつた、故に統軍機關の設置は一刻の猶豫を許さず、こゝにおいてか大同元年三月建國に當り軍政部を設け初め馬占山を以てこれが總長たらしめ、幕僚七十餘名を率ゐて統軍の組織を始め僅かに外形を整へた、然るに月餘に及んで馬占山職を棄て逃亡し、叛旗を飜へして東北に割據し、毅然として戰端を啓ふ、此に於て總長事務は次長王靜修をして兼務代行せしめ司を分ち部を分ちて夫々定員を任命し、五六月の交、參謀司及軍需司の職員を選抜就任せしむるに及んで秩序井然となつた、軍需司は三課に分ち經理、艦政、兵器の三課とし、郭恩霖を以て參謀司中將司長とし趙秋航、郭福綿、郭若霖、張元宜等を以て該司各課の大佐課長となし、張益三を以て軍需司少將司長とし、馬金波、范熙申、王濟衆等を夫々該司各課の大佐課長とし全定員八十八名、下士卒百七十七名に及んだ。

此外軍事監察官八名を附設し専ら各省軍事監察事務を行はしめ同時に綏軍閥の軍備にかゝる私兵を統て國軍軍律風紀の弛緩を一掃せしめ、今や國賊に更新急いで徹底的改善に努め更に軍事人材を養成するの計を樹て、陸軍中央訓練處を相繼いで設立し、王次長自ら處長を兼任し之を奉天に設く、亞いで我國建國成りて秕政の後を承け軍人眞相に暗く政權を誤解し若し再び内部に騷動するあらば軍心動搖し治安を亂す事なからざるを恐れ爰に建國講習會の設立を見るに至つた。

而して各省の部隊將校を此處に招集し日滿教師を聘して以て建國の大綱、日滿提攜の必要なる所以を教へ軍人たるもの、知るべき諸般の事項を授く、斯くて學成り再び原部隊に歸還の上は夫々上官部隊に向つて詳述講解し以て全軍の誤解を深からしむ、本講習會は前後二回之を開き根本的刷新改善に資せしめ、更に又八月一日軍事宣文字漫畫の宣傳に當らしめてゐる員長たらしめ全部を統率して專ら陸部を設置し王之佑をして大佐委本部は始め軍事週報を發行せしるも、今之を改めて精軍旬報となし、各部隊に分發し各軍の將校士卒に合して新國家建設の意義を確認せしめ、全國軍人の新軍人たるの資格を培養し之が向上に資せしめ、同時に馬政統一の見地よりして黑龍江省軍畜牧養場を以て本部の直轄となし王宗周を以て大佐場長に任じ之を從來の場所に置いた

京師は一國の範たるべき地方で特に警備の綿密周到なるを要し、日滿軍の連絡指揮を容易ならしめんが爲めに元年秋期、首都警備司令部を設け王次長を以て之が司令官を兼ねしめ、郭參謀司長及び首都警察の修總監をして副司令とし

十月二十一日國務院滿蒙委員會を組織し訓令實行を計らんとし興總長中央滿蒙委員會幹事長を兼任し王次長幹事を兼ね、郭參謀司長王委員長均しく常任幹事を兼ねしめ之を官廳委員會内に設置す、二年二月熱河湯玉麟叛を起すに及んで討熱作戰軍總司令部を組成し總長自ら之が司令官となり、郭司長參謀總長となり、部隊を率ゐて討伐に向ひ、三月八日錦州を出發し一旬を出でずして湯逆に敗退し國土克復し總司令司屬隊を率ゐて十三日歸還した、而して作戰總司令部之に於て解散した、次いで五月三日盛海艦を以て熱河警備司令官となし同時に洮遼警備司令部及び討熱前敵總司令部を撤廢し、更に滿蒙委員會の如きも亦各省の治安漸次回復せしにより夫々之を解消した、尚情報機關に就ては情勢甚だ之を必要とするものあるに鑑み情報關係なるものを設け軍事課に屬せしめた、且又測量の一課を新設し參謀司に隷屬せしめ重占春を以て中佐課長となし以下各員相繼いで任命せらる、七月一日馬政局を設立して之を本部直屬となし其局長は次長之を兼ね專ら馬種改良を司らしめ、而して黑龍江省軍畜軍用畜類の繁殖及び競馬等の事務牧養場を解消して之を馬政局に歸屬せしめた、これ大同元年三月成立の日より本年七月に至る軍政部の沿革概要の一般である。

尚部外の直屬機關に至つては左表に示すが如くである。

奉天省警備司令部、吉林省警備司令部、黑龍江省警備司令部、熱河省警備司令部、興安省南警備司令部、興安省東警備司令部、興安省北警備司令部、北滿鐵路護路軍總司令部、海軍江防艦隊司令部、京師憲兵司令部、侍從武官處、朝衞軍團部、中央陸軍訓練處、靖安軍、被服本廠、軍械廠、軍畜牧養場（今、馬政局に併入せらる）、新京警備獨立騎兵旅、馬政局

豐作飢饉か
中央銀行の無理解

【奉天電話】例年よりも雜穀產額増收のため三千萬民衆の農村が寧ろ穀物の大暴落で悲鳴を揚げてゐる哀話が全滿各地に漲つてゐる、多年匪賊の災害を蒙り漸く治安の確立でホッと息を吐き本年は天候の惠みで一般農作物は三割乃至三割五分方の増收であり特に粟、高粱の如きは豫想外の收穫であつた匪害防止の爲鐵道線路附近には高粱を植付けさせなかつたに拘らずその產額は昨年より四割強の増收といふ狀態である、然るに豐作で喜ぶ筈の農村がこのために逆に悲しんでゐる、それは高粱が他の農作物とは別に暴落し遼陽附近では斗四十錢から先物は三十八錢或は三十五錢といふ先安漸落の歩調を辿り農民はこれでは勞銀にもならないとこぼしてゐる

その原因は高粱が單に豐作であるといふ點からではなく中央銀行の無理解による全滿的の金融梗塞が大なる影響を與へ所謂デフレーションにより通貨國幣の流通に圓滑を缺き農村のあるところでは物々交換の原始生活を餘儀なくされてゐる實情であり地方の通貨が國幣と同樣の相場をもつて流通してゐるが如き國幣の發行額が全滿の金融を極度に制限してゐる結果をして非常識極まる金融政策であつてこの廣い滿洲に僅かに一億二千萬元の紙幣を發行してゐる狀態であるから一地點の流通程度は如何なるものであるか窺はれる

假りに一縣にこれを割當てゝ見ると全滿五省百數十縣と接治局を包括し三千萬民衆經濟的活動をこれに織込んで通貨としてこの機能が果して十二分に發揮されてゐるか否か檢討してみると思ひ半ばに過ぐるものがある

高粱暴落の最大原因は右の如き金融梗塞と又他の一つとしては事變前まで滿洲から北支一帶に約一ケ年一千萬元の輸出を有してゐる品物が產出税とこれに賦課し北支への輸出を自然に防止してゐるのである、これは財政部が關税の徵收のみを考へて民生に對する何等の經綸を示さず如何に高粱が暴落しても農村が苦しんでゐても税金さへ徵收することが出來ればと單に財政的な數字の觀念に囚はれてゐる結果である、要するに高粱の暴落には中央銀行と財政部の無理解が大なる影響を爲してゐることは免れない事實で、中央政府としては一般農村の疲弊を救濟するためにこの際政權時代の米倉を再興するか新たに民食の調節機關を設けて高粱の買上げ農村の立つて行くやうに何等かの救濟施設を行はれば王道國家としての民衆生活を根本から無視したものとなる、恐らく政府當局においては考へられてゐることではあらうが、奉天省を初め各省は農村の疲弊に今や悲慘の實狀である

作柄は良いが
搬出に困る
奉天省奥地の鮮農

【奉天電話】土地商租の問題は滿洲國の成立によつて自然に解決し鮮農集團の水田經營も今後ますます増加する模樣で本年度の米作は一天地の作柄は平均稻二十石と見られ出產税が徵收されてゐるが鮮農としては水利税一畝五十錢の外一般税を支拂ふことゝなれば米價が高い場合によいとして都市から離れた遼隔の地からこれを市場に搬出する際は全く經費倒れとなるので水利税及び一般税に對し何等か特別の方法を講ぜられたいのであると希望してゐる兎に角百萬餘の鮮農に關する生活問題と直接關係あり當局に於ても考慮中である

發電所の機械注文
昭和製鋼所

久しき紛糾の後撫順に新設されることになつた五萬KWの五十サイクル大發電所は建設費六百萬圓を要する大工事丈けに内地の電氣機械製造業者間に機械納入に關する激烈な競爭を呼び起し就中芝浦、石川島、三菱、日立等の間に競り合ひが演ぜられたが結局三菱に決定、注文が發せられた、なほ同發電所は昭和製鋼所に配電する必要上建設を急ぐので出來るだけ速かに製作納入せしめ來年九月ごろまでには工事完成を見る筈

公債法けふ公布

【新京電話】舊政權に屬する積缺に關する善後處置は約三百萬圓を現金を以てこれを積缺債權者に交附し他は總額六百萬圓は年利三分二十ケ年後償還の積缺善後公債を以て交附することになつて居たが右公債法は二十七日參議府會議の諮詢を經て公布されるはず

大連市參事會

大連市參事會は廿六日午後三時より助役室にて開會、左の諸件を原案通り承認し四時十五分散會した

▲一時借入金の件（一金五萬圓也昭和八年度滿博特別會計豫算内支出をなすため一般會計所屬金の内より金五萬圓を利子金百圓に付日歩金七厘の割合を以て年度内一時の借入金を爲すものとす）

▲一時借入金の件（一金八千圓也昭和八年度大連市特別會計市營住宅經營市豫算内の支出を爲すため一般會計所屬現金の内より金八千圓を利子金百圓に付日歩金七厘の割合を以て年度内一時の借入金を爲すものとす）

▲昭和八年度市税戸別割第二次隨時賦課等級決定の件

▲退職給與金支給の件（前大連市主柴田一勝氏退職給與金五百五十圓）

滿鐵辭令

鮮鐵局から北鮮管理局入りに決定した大橋、小林兩氏及總局入りの諸富氏は何れも二十日附を以て正式鮮鐵局を退任したので滿鐵では二十七日附社報を以て左の辭令を發表した

大橋正己　小林員之輔　參事を命ず鐵道部京城在勤を命ず　齋藤一國

諸富鹿四郎　同鐵路總局勤務を命ず

技師を命ず鐵道部京城在勤を命ず

八相

兵士と鮮銀紙幣

不審生

◇どうも銀行員はとかく市民との行動に一致しない憾みが多く、例へば在郷軍人の集合にも銀行員の會員の集まりは極くまれだといはれてゐるが、面白くない傾向である。

◇自分が先日第六師團の凱旋兵の内地へ歸る日痛切に感じた事だがそれ等の勇士等はいづれも鮮銀の札をもつてゐるわけだが、一つ鮮銀では準備邊に出張して日銀札に交換の便宜を計つたら内地に歸つても頗る便利だらうと思つたが、一向そんな事をしてゐる樣子もない。

◇これなぞ少くも銀行の方から氣を利かせて軍の方にでも申し出るのが本當じやないかと思ふが一つ鮮銀の意見を聞きたい。

お答へ

いや御注意ありがたう、こちらではなるべくやらせてゐるんですが、大抵軍の方からの指示に從ふことにしてゐたものですが、將來はモッと積極的に出たいと思つてゐます（鮮銀支店長）

金州被損害な人へ

大連中央電話局

◇去る二十一日伊勢町公衆電話より御通話に關する當局への御注意を感謝致します。

◇公衆電話機の檢査は局員が隔日に巡回して行ひ障碍のない樣に努めて居るのでありますが未だ斯樣な故障を絶無ならしめ得ないのを遺憾に存じます。

◇貴方のに該當するものと認めらるゝ通話請求の時刻は午後四時三十五分となつて居ります、さうして當日の同公衆電話に對する交換證を調べますとその直前まで通話が出來て居ります。

◇當時貴方の御言葉によつて電話機の檢査を致しました處錢道に不具合な點のあることを認め修理を施し復舊したのであります が交換取扱者の應酬の不行屆と檢査が多少手間取つた爲め御滿足を與へ得ず御迷惑をかけましたことを御詫び申上げます。

關東廳辭令（二十六日）

任關東廳屬　外務省警部補　關東廳警部補　勳七等　白石滿彦

任關東廳警部補　關東廳警部補　谷林定十郎

任關東廳警部（各通）　勳七等　板津清七　中山トク

任關東廳通信書記補

任關東廳中學校教諭　福田章

任關東州公立實業學校教諭　關東廳屬竹本巍、長井有親、關東廳警部田口茂、蜂須賀重雄、關東廳警部補岡平菊夫、山内俊信

依願免本官（各通）　關東州公立實業學校教諭　田中一郎

文官分限分第十一條第一項第四號に依り休職を命ず　山口七郎

任關東廳技手

人事

▲瀬田常男氏（滿洲電信電話會社文書課長）就任挨拶の爲二十六日市内各方面歴訪

▲楊井勇三氏（正隆銀行常務取締役）北滿及北鮮視察のため二十七日朝ハルビンに向け出發約一週間の豫定

▲大場鑑次郎氏（關東廳警務局長）二十六日新任挨拶のため市内各方面訪問

▲金井房太郎氏（大連水上警察署高等係）今回一身上の都合辭職

小觀大觀

高橋藏相、財政の事はおれに任せておけ、それよりも心配なのは思想の不安にあると、緊急對策樹立の必要を持ち出す▲此頃の閣議は何でも大きな問題を持ち出されば幅がきかぬ、各相競爭のてい▲尤も重大時局に直面し、どの方面にも重大問題がころがつてゐる▲苟くも國務大臣として政務に忠なるもの、手ひて重大問題を持ち出すのは當然ではある▲席上、首相より荒木陸相に對し、又大角海相に對して質問する所、並に兩相の答ふる所は何であつたか、何れ重大な意義を含む所あつた筈▲時に小山法相、新聞が自由な言論を發表し得る狀態に置かれることが必要だと陳べた、此れにも深き意味がある▲五一五事件の非軍人側公判開かる、單なる殺人ではなく、事實上内亂罪に當る、しかも思想を背景と爲す、十分に陳述させて下さいは至極最もな要求▲シムラ會議開催、但し黑幕裡の事は發表されない、インド側の申出でによる▲慣例にやるのもよいが、發表を怖れるのも卑怯▲ボア長官の病氣缺席、政策的だらうなどはマサカ。

市況（廿六日）

株式

東新ボンヤリ　五品保合

東新の引不冴な入れ當市の五品は保合ひたるも東新は六十錢安の三圓臺に引けた

◇後場

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品 寄	二六九	二七三
五品 引	―	二七三

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	三六	三六	三六〇	三六〇
新豆	一	三六	三六	一
東新	一〇六六	一〇六六	一〇六六	一〇六六

特產

仕手見送りに　大豆弱含

後場の定期は大豆は仕手見送りに弱含を辿り豆粕は買氣薄に軟弱、豆油は閑散弱保合を示し高粱も弱保合を呈した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（弱含み）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇
十月末	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇
十一月末	四〇四〇	四〇四〇	四〇四〇	四〇四〇
十二月末	四一〇〇	四一〇〇	四一〇〇	四一〇〇
一月末	四一〇〇	四一一〇	四一〇〇	四一一〇

出來高　百車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一二四〇	一二四〇	一二四〇	一二四〇

出來高　一萬枚

▲豆油（弱保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五

出來高　五百缶

▲高粱（弱保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇
十二月末	七三〇	七三〇	七三〇	七三〇
一月末	七四〇	七四〇	七四〇	七四〇

出來高　四車

▲包米　出來不申

◇現物後場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（袋込四三七〇／裸物）	四三七〇	四三六〇
普通大豆	出來不申	
豆粕	一二四〇	一二四〇
豆油	出來不申	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

出來高　三十車（混保）、二千枚（豆粕）

錢鈔

管理法懸念で　鈔票弱含み

材料薄なるも二十七日發令の管理法懸念で弱含み商狀を呈した

◇定期後場（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	一二一七五	一二一七五	一二一五〇	一二一五〇
遠期	一二二三五	一二二三五	一二二〇〇	一二二〇〇

出來高　（期近）百五十萬圓　（遠期）二百九十萬圓

◇現物後場（單位錢）

時	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	一一三五	一一三〇	一一三五
二時	一一三五	一一三〇	一一三五
三時	―	―	―

出來高（銀對金）二萬六千圓　（銀對洋）一萬七千圓

商品

麻袋見送り　綿糸碇り

▲綿糸　大阪三品大引は小碇りたが當市は氣乘薄閑散

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十二月限	二〇〇八	一〇

出來高　千袋

▲麻袋　出來不申

奥地市況

品目	限月	値段
▲奉天奉票對金票	現物	五六〇〇
▲奉天國幣對金票	現物	一〇六四五
	先限	一〇六三五
	現物	九三六五
	先限	九四〇〇
▲開原國幣對金票	現物	一〇六五〇
▲新京國幣對金票	現物	一〇六五〇
▲哈爾濱國幣對金票	現物	一〇六五〇
▲安東鎭平銀	當限	一〇六五五
▲哈爾濱大豆	先限	一四六七
		一四六九

市場電報

神戸特產

品目	限月	後場寄	後場引
▲哈爾濱小麥	十月	六五〇〇	六四五〇
	十一月	六三〇〇	六三〇〇
	十二月	六三〇〇	六二二五
大豆現物	十月	八三〇〇	八三〇〇
	十一月	一〇六七五	一〇六七五
	十二月	一〇八五〇	一〇九〇〇
大豆先物			六一五
豆粕現物			四九〇
豆粕先物			一五八
滿洲小麥			三二四
豆油現物			六五〇
			不申

大阪株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
大株	一〇三〇	一〇〇〇
大新	一二三〇	一二〇〇
鐘紡	二三九四〇	二三九四〇
鐘新	一七四〇	一七三〇
東株	不申	一八〇〇
東新	一九五九〇	一九四八〇

大阪株式（短期）

	大新	東新
寄値	一一四〇	一九四五〇
引値	一一二〇	一九四二〇
高値	一一七〇	一九四六〇
安値	一一一〇	一九四〇〇

大阪綿糸

	鐘新	滿鐵新
寄値	一一六三〇	六七七〇
引値	一一六五〇	六七八〇
高値	一一六五〇	六七八〇
安値	一一六二〇	六七六〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	二二四〇〇	二二四八〇
十一月	二二四二〇	二二五三〇
十二月	二二〇八七〇	二二〇九〇〇
一月	二二〇四六〇	二二〇五三〇
二月	二二〇三七〇	二二〇四六〇
三月	二二〇四二〇	二二〇四九〇

神戸期米

限月	後場寄	後場引
九月	二二三〇九	二二三七三
十月	二二四〇一	二二三八九
十一月	二二三八〇	二二三六六

東京期米

限月	後場寄	後場引
九月	二二〇五	二一九九
十月	二二九七	二二八一
十一月	二二三六二	二二三五五

家庭

九月・十月は　大連兒童の健康增進の季節
運動會シーズンを控へ　家庭人への注意

スポーツに相應しい九、十の兩月は各學校でも頻繁に運動會が催されます、で湯下大連霞小學校長に運動會を控へて家庭人への希望を伺ひませう

大連 兒童の健康狀態を統計的に眺めて見ますと七、八の兩月は身長、體重ともに平均して成績惡く世界的に類のないやうな激減で九、十の兩月は反對に世界に珍しい位身長、體重共に激增といつた極端な差を示してゐます、この事實から見ても七、八月は大連の兒童にとつては健康に相應しい氣候ではない事が判り、九、十の結實、收穫の好シーズンは兒童の健康を

恢復 さす意味で家庭人が充分注意を拂はなければならない事が判ります、この九、十月の好シーズンを覗つて兒童に相應しい運動をさせる事は大へん好い事でこの時季各學校で運動會が催されることは意義ある事と嬉しく思つてゐるのです、運動會近くになれば少々元氣のない兒童も氣が張つて熱心に運動を行ひます、勿論よい事です、然し家庭人に注意して貰ひたい事は兒童の健康狀態をよく觀察して、萬一疲勞の影が見られたり、其他健康上に思はしくない點がある場合は必ず受持先生にその由を告げて、たゞ兒童の

興味 によつて、無理に引ずられて行く事がないやうに聯絡をとつて、無理をしないだけの注意を拂つて頂きたいと思ひます、次に學校によつて規則も違ひますが、學校の希望する所を裏切らないやうにして欲しいと思ひます、小學兒童で過激な運動をさす事はありませんが、相當運動し疲勞を覺えてゐますから、運動直後、食物に充分注意して戴きたいのですことに夜中は晝の疲れで寢冷え勝ちになりますから御注意下さい、それから特に保護者に希望いたしたい事はお辨當包其他食物の紙切れ

果實 の皮などを散らさぬ樣に願ひたいのです、疲勞してゐる兒童を運動會後殘して、それらのお掃除をさせる手數を省く上からも是非お願ひします。

不用品の廉賣會
十月五日・沙河口で
―〃友の會〃が主催―

生活の合理化をモットーとしてゐる大連友の會では昨今の秋の大掃除にあたつて各家庭の物置や押入の隅に全く忘れられて朽ちるに任せてあるやうな家具、衣類、服飾品、娯樂用具玩具等一切の不用品を整理しその利用更生の途を講ずるために來る十月五日午前九時から午後五時まで沙河口霞町クラブ（沙河口神社前下車）で友愛セール（不用品廉賣會）を催しますが、出品希望の方は出品物に希望の賣値をつけて左の三ケ所の何れかへ御屆けになれば友の會で萬事お世話するさうです

▲大連市柳町三八中島美代子◆同草町三九ノ一〇岩山利子▲同一平和臺七七高梨いち

わたしの結婚觀（七）
戀愛をスタートに
近頃の男の方は勇氣がない
大汽の・小泉道子さん

神明高女から同志社の女子英文科を立派な成績で卒業され大汽船客部に唯一の女性社員として働いてゐらつしやる小泉道子さん（二三）を訪れた記者は、そのしとやかな美しさと、高ぶらない上品さと、教養にすつかり驚いてしまひました道子さんにはインテリ女性特有の理智的な冷たさはなく溫かい愛情の持主であることを物語るやうな優しい輝きを持つた瞳……笑ふたびに左の頰に出來るエクボ……何となしに人懷しい感じがただよつてゐました。

……◇……

近頃の男の方つてさあ……社會の影響もありませうが男氣がないやうに思はれます、例へば自分の抱負や思考等を勇敢に發表したりする點等において又婦人に對する見解も私には不滿足に思はれます、人間は兩性が互に補充し合つて向上するものですから婦人の立場の過去から現在への動き等理解すべきであり無關心であつてはならないと思ひます。――目醒めて來た女性がかつての隷屬的な立場から脫しやうとする惱みと、男性への反省をうながすにたるものが道子さんの言葉にもられてゐます。

……◇……

戀愛決して享樂やなぐさみな意味するものでなく魂をゆすぶつて希望に生き大きな愛の下にお互を助長し向上させ生きる道を輿へてくれる美しい力だと思ひます、そして當然結婚もこゝから出發すべきでないでせうか、正しい見解と信賴の上に立つ男女の交際、その結果結ばれる結婚……一番無理のない自然な道程であると思ひます。この意味で私は戀愛結婚が最も理想的な結婚だと考へます、ですけれど見合から始まつて正しい交際期間を經て結婚に到達する見合結婚も現在の日本に於ては喜ばしいものだと思ひます。えゝ勿論或程度までは經濟的に惠まれてゐることが望ましいです、でも經濟的にも惠まれ愛情の上でも滿足出來るつて仲々大變でせうね……。

……◇……

從來の家族制度ですか、さうですわね、もつと改めたいと思ふ點が澤山御座いますけれどご氣付いたとは……自分の時間を持つべきではないか知らと思ひます、餘りに家庭にとらはれ過ぎることは、考へるべきことでも少し解放的であつていゝと思ひます。

……◇……

最後に道子さんは五・一五事件の被告について、こんな御感想をお洩らしになりました。

「勿論あの方達の愛國心は尊いと思ひますが、も少しなんたうな手段はなかつたでせうか？」

「併し三六年の日本の危機を認識したら……？」

「若いといふことは……？」

さういつて道子さんは沈默されました聞けばこの方も滅私運動の歡願書にサインした一人とか……（寫眞は美しい小泉道子さんです）

ネクタイの選び方
こんな御注意が大切です

殿方がネクタイをお求めになる時は次の樣な點を注意して求めて下さい、いつも氣持よいネクタイがきちんと結べます。

◆芯を調べて見て、毛芯がよくすらりと結べません、スルく～と結べて、皺よらずネクタイの感觸を充分發揮するものはやはり毛芯です。

◆次にネクタイの縁はミシンで縫つてあつて差支ありませんが眞ん中をミシンで縫つてあるものはよくありません

入つて居たら先づ上物です、安物ですと、毛芯の代りにネルとか木綿が入つてゐます、木綿では折角結んだネクタイに皺が寄つて見にくゝ又縫…と申すのはミシンであれば結んで袋になりますから必ず手縫ひの物を求めることです

結髮の御注意
こんなカモジがあれば
斷髮でも大丈夫

〃おめでたの〃シーズンです

秋の好シーズンを迎へめでたい結婚式を目前に控へてゐられるお孃樣方のために結髮に必要な注意を申し上げませう

斷髮で前髮、鬢を切つてゐられる方はあの水々しい高島田は望む資格がないものとあきらめ洋髮で洋式に式をお擧げになる方もあるやうですが、斷髮の方でも肩から一寸あれば高島田も結べます、勿論前髮、鬢などご切つて居られる方も心配はありません、前以て專門家に相談されその不足の部を補ふ附屬品（カモジ）をお求めになればよいのです

洗髮は一月程前一度結び、中で洗髮し洋髮、日本髮と交互に結び慣らし三回目位が手頃です、式前に洗髮をされた場合は水油を少量つけます、餘りつけ過ぎると髮が膨れませんから根の所にだけつけます、聊らし髮は桃割れがよろしいでせう、掛物は初めの人はかこよりあつさりと丈長にされたら見た目にも上品に見えます

次ぎにカモジの種類とお値段を紹介いたしませう

▲根かもじ　五、六十錢―二圓
▲びんみの　一圓五、六十錢より二圓
▲ばら毛　一圓（島田用）
▲つりたぼ　一圓（斷髮用）
▲前髮かもじ　七、八十錢―一圓
▲橫毛　五、六十錢より七、八十錢（桃割用）
▲かけみの　七、八十錢（短髮用）

といつた種類があります、カモジをお持ち合はせの方は古いのを使用されて結構です、餘り古く油ぎつてゐるものは前以て洗ひます、然しカモジは染髮したのもあり、餘りひどく洗ひますと色が褪める恐れがありますから次の樣にしてお洗ひ下さい

洗面器にラックスを溶き平な板の上にカモジをおきラックスの液をつけて毛並に從つてなでゝ行きます、萬一もつれましたら平な板の上において逆毛梳かしで梳きますと、どんなもつれでもとけて了ひます（東京美容院德川千代子さん談）

日本髮用かもじ
右から…根かもじ、びんみの、ばら毛、つりたぼ、前髮かもじ、橫毛、かけみの

お惣菜向の支那料理（C）
叉燒（チヤシウ）

豚肉を紅燒したものです、これにきざみキヤベツ、或はマッシュポテトをつけ合はし惣菜にも客膳にも上せられるおいしい料理です、又五目そば、その他の汁物に實として入れることも出來ます

▲材料（五人前）豚股肉百五十匁砂糖茶さじ二杯、食料紅少々、酒大さじ一杯、生姜少々、葱二本、醬油大匙四杯、キヤベツ適度

▲調理法（イ）豚肉三寸角の拍子木に切つておきます

（ロ）生姜を細かに刻み、丼に入れて紅、酒、醬油を加へ、葱は一本を二つに切つたものと豚肉とを加へてよくまぜ成べくは一晩位つけておくとよく味がしみて美味しいのですが卽席の場合でも三十分位はおかねばなりません

（ハ）肉をとり出して天板に並べその上に葱と生姜をのせ、ごく弱火で時々かへしながら卅分位蒸燒にいたします、天火のない時はフライパンに油を引き同樣にのせて上からもう一枚フライパンを鍋ふた代りに被せ弱火にかけて燒きます、この場合は途中で一度かへして兩側とも燒きます

（ニ）燒けたら葱と生姜をのぞき冷めてから薄く切つて皿に盛ります、キヤベツの纖切りを附合せウスターソースを添へて食膳に上せます

面白い統計
イギリス人は？

フランスの一統計ファンが最近英國人について次の樣な面白い統計を發表した

一、イギリス人は毎朝食に鷄卵を總計一千二百萬個食べる
一、一日に飲むビールの量は二千五百萬パイント（一パイントは約三合に當る）
一、日曜日教會に通ふ人より映畫を觀に行く人の方が三十萬人程多い
一、イギリス人は三分間毎に一組の割合で結婚する

卓上日誌

▲音樂會　愛國婦人會旅順支部では十月六日（金曜日）午後四時から高女講堂で同七時から昭和園で音樂會を開催、この收益金を軍事救護並に出動警察官慰問に充てると

▲吉田六郎氏　大連醫院小兒科にお勤めになつてゐた吉田先生が今般市内若狹町二十二に小兒科醫院を開業されました

大連 JQAK　九月二十七日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前十一時　相場（錢鈔、特產株式、各地相場）
▲午前十一時五分（新京より）講演「滿洲に於ける軍用犬の狀態に就て」關東軍獸醫部長渡邊中佐
▲午後零時十分　相場（錢鈔、特產、株式、各地相場、公設市場値段）ニュース
▲午後三時三十分　相場（錢鈔、特產株式、各地相場）ニュース
▲午後六時　ニュース
▲午後六時三十分　子供の時間（一）コドモノシンブン（二）齊唱「運動會」大連下藤小學校三年男神山政孝外二名（三）齊唱「さんび」三年女中村玉子外二名、補導黑子先生（四）對話「十五夜」三年男女島田トシ子三宅テル子、大山忠、補導佐賀田先生（五）齊唱「飛行機」六年女野村島小夜子外七名（六）獨唱「我が駒」六年女佐藤博子（七）二部合唱「船出」六年女古賀美惠子外七名、補導笠木先生

▲洋樂（一）ソプラノ獨唱山本幸子イ「椰子の實」島田英雄作ロ「早春賦」田中章作（二）アルト獨唱加藤富子イ「秋の月」瀧廉太郎作ロ「歌の翼」メンデル

東京 JOAK　九月二十七日

▲午後六時三十分（廣島より）講演「求道と人生」福島政雄▲午後七時管絃樂（新交響音樂團練習所より中繼）一、歌劇「ソロチンクの市場」序曲ムソルグスキー作曲二、交響詩「中央アジアの曠野にて」ボロディン作曲三「マドリッドの夏の夜の思ひ出」グクンカ作曲、日本放送交響樂團、指揮ニコライ・シフエルブラット▲午後七時三十分俚謠野澤神樂獅子舞神歌一「劍の舞岩戸開き」二「御幣舞惡魔祓ひ」唄太鼓河野滿治郎、同片野精一郎、笛畔上俊士、同森虎造、獅子河野正治、同富井周作▲午後七時四十五分連續講談「安政の大獄」（第壹講）伊藤痴遊

スゾーン作
▲新日本音樂一「春の初花」久本支智作二「春興」久本支智作三「輝く陽」箏木村住子、尺八西村韵山、第一箏木村住子、第二箏福森勾當、尺八西村韵山、箏福森勾當、尺八西村韵山
▲筑前琵琶「川中島」町田旭濃
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

本社特選 新棋戰（其四）

先四段△市川一郎
平手
四段▲加藤富久

【圖は六七金迄の局面】
△市川氏持駒歩

▲九二香　△七七桂
▲八五歩　△同桂
▲同桂　△同歩
▲四五歩　△同銀
▲三五桂　△三四銀左
▲三三銀　△同飛
累計六十九手

土居八段講評

加藤君の八五歩の仕掛けは無謀で、却つて自己の玉頭に危險を生じた、茲は六五歩突きの心算の下に一日五三角と上り敵の六、九兩筋を狙へば面白い、續いて四五歩以下の指手も却つて敵の飛車銀に活躍さるゝ樣樣となり形勢一變したのは評者の諒解に苦しむ愚手である、九五歩とつき敵同歩なら九八歩、同香八六桂と打つところ、又九五歩に對し敵八四桂なら同銀、同歩、九六歩の取り込みにて面白い。

萩原七段解說

加藤氏の九二香は八五歩突を逸した爲に指し手に窮したので九二香と上つたのである、之れは模樣に寄つて九一飛と廻り端よりの仕掛けをも含むものである、市川氏の八五歩に對し同桂は至當同歩と取ると同桂、同桂、八四歩と打たれ反つて後手を招くので八五桂と取つたのである、加藤氏の四五歩は以下三三桂の順になつた時三四銀と出られるのを見落して、三四銀で五四銀と引かして四四桂打の順でよいと思つたのであらう、市川氏の三四銀は當然で、五四銀では四四桂と打たれて惡い。

第廿八回 滿日特選碁戰

先　三段　渡邊英夫
　　初段　松林茂比古

●一七一カ十八　○一七二カ十七
●一七三ル十九　○一七四テ十九
●一七五ル十七　○一七六ヌ十九
●一七七ワ十八　○一七八テ十八
●一七九ワ十九　○一八〇タ十九
●一八一カ十九　○一八二ト十五
百八十二手（完）白中押勝

―【11】―

滿日各地版

滿日社印刷所 活版 石版 鉛印刷

九・一八に失敗して擾亂團叉蠢動

支那側靑シャツ黨を組織し反滿抗日の潛行運動

【奉天】九・一八記念日當日を期して一齊に活動を開始すべく南支方面から潛入した不逞團も日滿當局の嚴重なる警戒のため遂にその目的を達することが出來ず依然としてその機を窺つて居り、一方反滿抗日に蹶起となつてゐる南京政府では九・一八當日の擾亂に失敗したため更に最近では日滿要人暗殺隊として「ブリニージャケツ團」（靑シャツ黨）なるものを組織するとともに過般來より募集中であつた朝鮮獨立黨及び朝鮮民族解放運動の團員がこれに聯合參加せしめ滿洲國に派遣飽くまで反滿抗日を企てることゝなり彼等は既に上海を出發北上しつゝあり、滿洲國當局では嚴重警戒を行つてゐる

瀋海線愛護村建設懇談會

【奉天】鐵路總局の國鐵愛護村建設運動はます／＼盛んであるが瀋海鐵路局では二十三日撫順縣、瀋陽縣の兩縣長を初め多數要人知名士集合の上相原撫順守備隊長等出席產業開發文化向上の鐵路に依存する處の多大なる事を力說し更に鐵路の愛護について種々懇談し有意義な會合であつた

二千名參加學生聯合大演習

廿六日から始まる

【奉天】秋晴の滿洲の曠野で華々しく行はれる州外中等學校（醫大豫科生も參加）聯合秋季大演習は本年も愈々廿六、七の兩日遼陽、鞍山間で擧行される事になり、南軍の第一中隊である奉天中學校生徒二百八名は教官、職員に引率され二十六日午前五時發列車で鞍山に又北軍である醫大豫科生百六十名も同日午前七時五分發列車で遼陽に向け出發したが

この演習は北軍の鐵道輸送を防止し首山を占領して南下するを阻止する目的を以て二十六日朝大石橋を出發した南軍は午前八時頃鞍山に到着し北軍約四百名は二十六日午前九時遼陽に下車し南進中との報告に接し直に第一中隊が尖兵中隊となり目的地に向け強行軍で前進續行……との想定の下に首山、欄山に於て南軍圖らずも出會し廿六日正午頃花々しい遭遇戰を展開、目的を達した南軍は鞍山まで後退して同夜は同地に前哨線を張り露營、暗中南軍の狀況を探索しつゝ、南進中の北軍と廿七日拂曉戰を演じ演習終了、次いで鞍山練兵場に於て分列式が擧行され解散することになつてゐる

北軍は安中、新京商業、醫大豫科その他新京、四平街、鐵嶺、奉天本溪湖、安東、遼陽、蘇家屯の各中訓生それに機關銃隊、野砲中隊參加、又南軍は奉中（第一中隊）鞍中（第二中隊）撫中（第三中隊）撫商（第四中隊）その他鞍山以北各地青訓生、野砲中隊、機關銃隊參加し總人員二千餘名に達するので若人の意氣に燃える遭遇戰、秋晴の曠野に轟く砲聲等相呼應して實戰以上の興味ある演習が期待されてゐる

支那內地の旅行邦人も支障なし

支那側護照を發給

【奉天】南京政府に於いては滿洲事變以來邦人の支那內地旅行は支那人との紛糾を惹起する恐れありとて護照を給しなかつたが最近に至り各地の情勢も概ね平靜に歸したので危險區域を除き邦人の支那內地旅行者に對し護照の發給捺印をなす旨各地方政府に對し訓令を發した

樺太の養狐事業滿洲でも有望

詳細な研究に着手

【奉天】奉天居留民會においては內鮮人の副業奬勵のため養狐事業の適否について研究を重ねつゝあるが各方面より多大の興味を持たれて居るので養狐事業に多年の研究と經驗を有する樺太廳農林部に詳細調査報告方を依賴したがそれによると現在樺太において飼育中の種狐銀黑狐二頭の價格六百圓以上千二百圓にて普通七八百圓である、飼育に際して一日一頭の給與食糧は干鰊廿五匁、野菜適宜、穀類十匁、肉類五十匁、肝油少量、骨粉少量、牛乳五勺にて滿洲に於いても有望なる副業として期待されて居るので氣候風土、飼育方法について更に詳細な研究をなす事になつたが毛皮の相場は銀黑狐上等三百圓中二百圓、普通百五十圓十字狐百圓、紅狐九十五圓赤狐五十圓であり毛皮の需要は海外に於て益々增加しつゝあるさ

本溪湖地委戰無競爭か

【本溪湖】本溪湖地方委員選擧は期日の切迫と共に猛烈なる白兵戰が展開されんとするに至つたが、煤鐵公司は從來の公司側候補者三名を一名引退せしめて守屋、阪田の兩氏を推すことゝなつて、市中側候補者五名を全部當選せしむるといふ推量を示したので、さしもに大混戰を豫期された本溪湖の選擧戰も颱風一過平穩になさまりまり、各候補者は悠々無競爭當選といふことになり、市中側は春秋實一時に來たるの觀を示してゐる併し無競爭當選の平和を破らんとする策謀もちらほら聞え出てゐるので各候補者とも未だ戰陣を堅くして油斷怠りないが目下の情勢では今期は無競爭は免れ得ない模樣である

旅順案內書編纂委員會組織

各方面の權威者を網羅

旅順市案內書は種々あるがいづれも多少の間違ひがあり且又不統一である爲め今回之れが統一をなす爲め旅順市役所では陸軍側より飯野要塞參謀、海軍側より加世田參謀、戰史研究者として大塚大佐の外平井民民署庶務課長、島田博物館主事、今井女學校長、村上、中村兩議長、岸田助役等を以て組織せる旅順案內書編纂委員會なる機關を設け來る廿七日午後一時から第一回委員會を開催する事となつた

奉天大東區分校新設

【奉天】民會管內殊に最近大東區方面在住の邦人が日々增加し之等の子弟は何れも敷島小學校に通學しつゝある狀態にて通學兒童は勿論その父兄も多大の不便を感ずるところから大東區に敷島小學校の分校を設置すべく計畫中にて既に民會より總領事館を經て滿鐵當局に要請中であるが更に二十七日野口民會長が赴連し滿鐵と具體的折衝をなす事となつたが校舍は本年度中に決定し來春より開校の運びとなる模樣にて現在大東區方面よりの通學兒童は二十一名にて明春は七八十名に增加の筈である、なほ朝鮮人普通學校、高等普通學校、女學校、中學校も奉天の將來においては增設の必要ありとの論が擡頭しつゝある

戰跡リレー選手旅順の推戴式

【旅順】來る十月十七日擧行される戰跡リレー旅順市代表選手推戴式は二十五日午前十時から昭和園において擧行米岡市長、上島監督よりの激勵辭あり、次で宮本選手より各選手を紹介の上一同を代表し必勝を期する旨を述べ答辭に代へ茶菓を喫し閉式、因に旅順の各選手名並に所屬を示せば左の如し

宮本平次郎（體研）米岡律（市）福永建三（市）藤松輔（博物館）杉山祐安（市）宮永勉（地方課）槇秀雄（刑事課）安永豐（調査課）柳澤忠次郎（市）槇嚴（博物館）宮崎繁治（土木課）

チチハルの晩秋水銀柱は下り坂

【チチハル】蕭々たる晩秋の雨にチチハルの氣溫は漸く低下し朝夕は冬來るの感を抱かせてゐるが、滿鐵事務所の觀測によれば

	最低	平均
十六日	七度三	一四度三
十七日	六度四	一五度六
十八日	二度一	一八度六
十九日	一度二	一六度八
二十日	七度〇	一一度七
廿一日	五度六	一一度五

と水銀柱が漸々下り坂へ奔落の一路を辿つてゐる事を如實に現してゐる

鄭總理の詩行脚

鄭國務總理は二十三、四日の休日を利し目下來京中の詩家國分青厓、長尾雨山、仁賀保香山、土屋竹雨氏等と秋の吉林を訪れて清遊を行ひ直ぐ自來水局（水道局）農事試驗所等を觀察し二十四日午後四時半着にて歸京した（寫眞は吉林北山關帝廟にて一行の記念撮影）

二年前を顧みて實戰參加勇士の手記（八）

河本中尉

茲に二年前の當時を追憶すれば舊東北軍閥の暴虐無盡の行爲が目前に彷彿として現れ今尚鐵拳を振はざるを得ない感に打たる

◇

正義人道に走る我大和民族を、また無盡の力を有する我神國を何等認識せぬ野犬に等しき學良麾下の舊軍閥は徒らに吠え、暴威を振ひ我國を蹂躙し、極度の侮辱を與へたのである

彼の萬寶山事件、中村事件「ビラ」「ポスター」または講演等による排日宣傳、小學校生徒に對する排日教育等の行爲を舉ぐれば枚擧に遑がない

これ等行爲が積り積つて遂に北大營正規兵の鐵道爆破となつたのである

◇

當時北大營第六百二十一團の正規兵は柳條溝北方の煉瓦燒場附近に隱れて午後十時ごろ我等巡察兵の通過した後を爆破した、この時の物凄い爆音は今なほ耳に殘り、天に沖する濛々たる黑煙の有樣も目の前にぶらついて居る

彼等は將校の指揮する六、七名の兵員を以て直接鐵道爆破に當て其後方には約四、五百の兵員を以て之が掩護をなさしめて我巡察兵を猛射した、此の計畫的の彼等の仕打ちには如何に我慢しやうと思つても我慢が出來ないで遂に勘忍袋の緒を切つて火蓋を開いたのである

其の日夕刻彼等が軍用電話線を切斷して居た爲携帶電話器に依る中隊及大隊への報告は全く通せない此の電話報告が水泡に歸するや中隊へは徒步の傳令を又大隊へは柳條溝分遣隊へ馳け付け報告の手段を採つた

◇

此の狀況を知つた川島大尉の指揮する虎石臺中隊は午後十一時過ぎ疾風迅雷の如く我等の戰鬪地點に到着した

敵の一部は我中隊に向ひ攻擊を指向したので最早容赦すべからざるものと中隊長は決心し線路上より敵を猛射することを命じた、我威力に堪兼ねた敵は遂次北大營內に敗退するに至つた

此正規兵の計畫的になつた鐵道爆破この挑戰に對する我軍の行動を檢討すれば何人も首肯するであらう中隊長は益々攻擊の決心を固め演習服裝の儘の兵員僅かに百餘名を提げて約一萬を有する北大營の一角に突入した

◇

正子過ぎに奉天より島本大隊長の率ゐる二ケ中隊が來り北大營總攻擊前進の命令が發せられた

各中隊は各所に於て抵抗する敵を攻擊し敵に四百以上の遺棄死體の損害を與へ、無數の兵器を押收し翌朝太陽出づる頃には全く北大營を占領し故國に向ひ萬歲を三唱したが

此戰鬪にて護國の神と消えし新國伍長以下二名及負傷二十二名の勇士に對しては萬感胸に迫り悶々の情禁ずる能はなかつた

◇

國際聯盟より派遣せられたる「リツトン」一行はこの當然なる我行動なるに拘らず毛色が違ふだけに遂に理解するを得ない

否理解しても理解しない振りをしたのである、然るに權益擁護に基く我帝國の決心は斷乎として微動だにせず遂に國際聯盟より脫退するの餘儀なきに至つた

我帝國の將來は多事多端にして此重大危機に遭遇せる吾人は一層の覺悟を要し更に滿洲事變二周年の日を迎ふるに當り、益々軍民の協力一致日本精神を一層熾烈ならしめ國防の完璧を期するは最大の急務である

◇

茲に當時を追憶し戰死者の靈を弔ふと共に所懷の一端を述べた次第である

邦人ルンペンが意外、自轉車泥棒

生活に窮しての盜み

【奉天】當地附屬地內でも每日の如く數件もある自轉車盜難の犯人は滿人とのみ考へられてゐたが、最近生活に窮した邦人ルンペンが自轉車を窃取するといふ不況の裏面を如實に物語るといふ世の中となつた、二十四日午後十時頃市內藤浪町九番地飲食店大久保吾一が自轉車に乘りオーシャン倶樂部に赴き內に入つた隙に乘して玄關に置いてあつた大久保の自轉車を窃取し逃走せんとしたものあり直に追跡逮捕し本署につき出したが、この奴は意外にも邦人で熊本縣生れ住所不定無職野口實（三）と稱するルンペンで生活に窮しこの始末に及んだもので目下引續き取調中である

安東の市民運動會

【安東】安東市最大の行事である市民運動會は二十四日午前八時から爽涼の鎭江山麓グラウンドで開催された、全市を地區的に赤、白、紫、靑の四組に分ち得點を爭ふ責任競技に爆笑を誘ふ一般競技に各組さりどりの應援物凄く大觀衆はひれもすどよめき賑つた【寫眞は各組責任競技選手の入場式】

大谷紝子裏方

【營口】大谷紝子裏方は廿五日午前十一時四十分營口に到着した此日驛は早くから掃き淸められ本願寺信徒並に世話役有志婦人團等一同出迎へ、裏方一行を乘せた列車到着するや福原本願寺住職は先導して列車より降り續いて裏方並に從者と順々に出迎への小學生、婦人團、信徒、有志の群衆に一々答禮して一と先づ驛長室に入り少憩この間訪問者に面接一々答禮終つて差廻しの自動車にて一旦淸林館に入り晝餐をとり午後二時より營口本願寺に於て法要に列し午後三時過ぎ滿鐵小蒸汽船にて遼河を視察し午後六時より小學校講堂に於て信徒及市民有志の歡迎宴に望んだ

防疫班を組織して奉天驛で望診開始

奉天のペスト豫防策

【奉天】洮南、農安方面のペストの猖獗に鑑み奉天でもこれが豫防のため去る二十日日滿衞生機關代表者は奉天地方事務所に參集し防疫會議を開催したことは既報の通りであるが、その第一期計畫として二十六日から野村細菌檢查所長が班長となり四名の防疫員と共に奉天驛に出張し列車到着每に乘降客の望診を行ふこととなつた、又一般市民に對しては捕鼠、蚤、南京虫等の驅除を奬勵すると共に奉天驛では防疫に關するポスターを各要所に貼付する外講演會を開催し防疫上の大宣傳を行ふことゝなつた、尙第一期の狀況を見て第二期の對策を講じ實施する筈である

チチハルのペスト對策

【チチハル】黑龍江省警務廳にては過般來四洮沿線にペスト發生し逐日蔓延の兆あり四洮、洮昂線旅客によつてチチハルに傳播の恐れあるに鑑み取敢ず二十一日から江橋、三間房、チチハル三驛にて通過客の望診を行ふ事に決定したがチチハル驛にては二十一日早朝から列車到着每に驛改札口にて防疫員により降車客の檢診を開始、萬一被疑患者を發見した場合は一人宛隔離個所に收容し防疫上絕對遺漏なきを期する事となつた

彰武の豫防

【奉天】ペスト發生地打通線彰武に於いては我方派遣の警察官と滿洲國側と協力して通遼方面より來る乘客に對し十九日より徹底的調查を開始すると共に在留邦人の衞生に注意を與へ打通線によるペストの侵入を防止しつゝあると

錦縣農事試驗場

十月一日開場式擧行

【奉天】滿洲國實業部では農業の開發の爲めに滿洲農學會の創設を始め着々其の具體化を計つて居るが奉天省錦縣農事試驗場兗山農事試驗場の開設を企圖し錦縣小嶺子の奉天省農事試驗場はいよ／＼來る十月一日開場式を擧行する事となつた、尙該試驗場は主として棉花の試驗に當る筈で兗山試驗場はもう今年中には開場の運びに至るべく其處では主として小麥の試驗に當る筈である

本溪湖日滿教育座談會

【本溪湖】本溪縣公署は縣內に於ける教育機能の刷新と機關の充實に關心を注いで着々と其の實現を期してゐるが、其の一として日滿教育座談會が二十三日午後一時から本溪湖小學校に開催された出席者は滿洲國側教育者十四名それに教育局長、同課長二名及び縣參事官、同副參事官、日本側から教育者二十一名、管理者父兄會長等出席した、一行は先づ校內を參觀しそれより各自の教育に關する研究を發表して懇談にうつり互に腹藏なき意見を吐露し、秋晴れに輝く校庭に黃昏がせまる頃まで懇談は續き最後に會食して散會

ス總領事歸哈

フラルチに滯在靜養して

【チチハル】駐哈蘇聯總領事スラウツキー氏は過般來病氣靜養と稱して富拉爾基に滯在中なりしため其の行動を注視されてゐたが、滯在中何等疑ふべき行動もなく河遊び等に興じ二十日午前一時半同地發國際列車で歸哈したと

鞍山の競馬

【鞍山】鞍山競馬倶樂部主催秋期競馬會は十月六日より向ふ六日間鐵西馬場に於て開催さることゝなり、二十三日許可されたが、勝馬投票及補券附入場券等前回同樣である

北村博士留學

【奉天】滿洲醫大皮膚科助教授北村綱一博士は皮膚科學研究のため一ケ年中の豫定で歐洲各國大學へ留學を命ぜられ二十五日十三時四十分のはとで奉天大連經由で出發した

孫其昌省長歸齊す

【チチハル】黑龍江省長孫其昌氏は中央政府と重要事務打合せのため約三週間に亙つて滯京中であつたが、一段落ついたので二十日午後十一時中東驛着北鐵で歸任した

教化領事分館

【奉天】吉林總領事館教化分館は草野副領事の着任と共に去る十七日より事務を開始した

宣撫班出發

【奉天】奉天省治安維持會を設置された移動宣撫班三ケ班は曩に寬甸、岫巖、柳河方面を中心として宣撫工作を行ひ豫期以上の成績を擧げて去る十九日無事歸奉したが更に獨立守備隊石橋宣傳主任、情報處大槻主任、平山股長等の訓練を受け準備萬端なりて二十五日朝關係機關の盛んな見送りを受けて第一班は開原より西豐方面へ第二班は鳳城縣東方地帶へ第三班は東豐西安方面へ何れも元氣旺盛出發した

奉天の小火

【奉天】二十四日午前十一時四十分ごろ松島町十四番地建築請負業岩本德松方炊事場より發火し消防隊の活動で大事に至らず消し止めたが原因は煙突の不完全、損害七十圓

撫順の火事

【撫順】二十日午前一時頃撫順西三番町三一番地吳服雜貨商福順增號及鴻方の倉庫より出火、その大半を燒き盡し三十分後鎭火したが損害額一千圓の見込である、出火原因については放火の疑あり目下嚴重取調中

遼陽片々

▲西本願寺裏方は廿四日午後零時三十分遼陽に到着信者を初め多數官民の出迎へあり忠靈塔に參拜した後本願寺で一場の法話をなし午後六時から歡迎會に臨み翌二十五日午前八時三十四分發列車で營口へ▲定員八人の地方委員も七人迄は名乘りをあげるが發表するとかは別として兎も角現はれ未だ一人定員に不足今明日には定員には達するならん▲今回こそ運動もいらぬ譯七票か八票あれば選擧規則で當選者となるのだもの樂なこと▲全國神職會理事一行五名二十五日來遼忠靈塔參拜、衞戍病院軍隊の慰問をなし北行した▲滿鐵弓道部福島教士、三浦幹事が二十四日來遼午後一時から遼陽弓道場で進級試驗を施行したが受驗者は現四段、岸、小山三段片桐、山野井、熊谷、初段紺野、平井、足立一級萩、吉村、長澤、福島の諸氏

旅順放送

▲文英堂書店主催全旅順アマチュア一庭球大會は二十四日午前九時から博物館コートに於て開催出場チーム三十五組にて優勝戰は民政署對タイガーであつたが四對一の戰績を殘し民政署軍榮冠を得主催寄贈のカップを受領した▲明治町十二ノ二岩井練吉氏方では十日四女昭子さんが出生▲要港部二等水兵菊地秋定（二三）君は（愛媛縣中津川信次郎民二△）二十三日御氣衝心にて死亡

社告

本社は九月二十五日付左の通り金州支局擔任者の更迭を行ひました

解任す　金州支局通信員　松尾佐市

囑託す　金州通信員　江口光夫

昭和八年九月二十六日　滿洲日報社

シェークスピヤ全集

實物出來迫る

愈々九月廿日ヨリ配本開始（第一回）ハムレット・以下尺報

文學博士坪内逍遙完譯

國辱を脱す!!

永井柳太郎

曾てバーミンガムの一勞働者街を視察した時、一團屋にも沙翁集を發見したことに驚嘆した。そもそも沙翁一代の興筆は、啻に英國民とのみいはぬ、全人類の血と共に動き心と共に語つてゐる。地位の貴き賤き、教養の深き淺き、貧富も老若も男女も、皆それぞれに、それから裕かなる靈の糧を得來る。英國が一沙翁を生んだことは實に限り無き名譽である。宜なる哉カーライルをして「印度失ふべし、沙翁失ふべからず」と絶叫せしめたるや。沙翁全集は斯くして聖書と並び、今や全人類の一大修養書と化し了つた。

歐洲諸國には必ず其邦語譯を有し、之を缺くを國辱としてゐる。我國にも幸ひに坪内逍遙博士あり夙に盛名ある其翻譯を傾倒して、茲に數十年間の努力に成る沙翁全集の名譯を公にし、初めて國辱より免れしめた。數百歳の下、沙翁が島國日本に再生して新に創作したるとも見るべく、想と筆と相待て原作に接する妙味あるを覺ゆ。敢て確信を以て此書を江湖に推薦する。

豫約募集

申込規定（全四十巻）

申込金一圓（最終の會費に充つ）

會費毎月一圓（送料は別）

毎月一回二冊配本

一時拂十八圓（申込金不要但送料申受く）

送料（二冊分）市内六錢内地十四錢、樺鮮地廿四錢海外卅錢

ハムレット　世に在る、世に在らぬ、それが疑問ぢや。殘忍な運命の矢や石投を只管堪へ忍んでをるが男子の本意か、或は海なす艱難を逆へ擊つて、戰うて根を絶つが大丈夫の志か？　死は……ねむり……に過ぎぬ。（有名なハムレット獨白の一節）

百万の家庭へ

どこの御家庭の本箱にも是非一揃ひを！　尾上菊五郎

どんな有がたい物でも食べしまつておいたんぢやお話にならない。いゝ物は出來るだけ多くの人が樂しまなければいけないといふのが私の主義で歌舞伎劇の事にしても、昔から當然へられた「口傳」とか「型」とか秘密にする人もありますけれど、私は自分の知つてゐる限りは、それを公開して一人でも多くの俳優にいゝものを識へたいと思つてゐます。今度坪内先生のシェークスピヤについて、何も今更私が褒めたてることはありませんが、今までは些か「お倉のもの」の觀がありましたが。中央公論社がそれを普及版でお出しになるといふのは、近頃嬉しい企てゞす。どこの御家庭の本箱にも、坪内先生のシェークスピヤが備へられるといふことは、考へても大に氣持のいゝ話ぢやありませんか。

世界最大の文学
千古不滅の宝蔵
國宝的名譯
空前の廉價
絶後の豪華

決定的普及版

月一円・二冊配本　一冊五十錢

中央公論社　東京丸ビル五階　振替東京三四

本全集の讀者に限り

新雑誌『沙翁復興』毎月無代進呈

羅紗及高級既製品

折衿三ツ揃　詰衿上下　オーバーコート　ズボン

其他格安品豊富　●見本相場表呈（洋服商に限る）

創業明治二十八年

大阪市谷町一丁目　**正司憲商店**　電話東四七四八番

ハギレ卸

少資本にて實行利益の能率よし。モス・ネル・セル・小倉・新モス・大島銘仙・四ツ綾・金巾・天竺・裏地生木綿・其他種々

（商報送呈）

大阪南區瓦屋橋三番丁九六　**岡田商店**

振替大阪二三三五六・二六六〇七　電話南三八三一番

副業

純素人でラヂオの組立と修繕

壹臺組立て六七圓、トランス壹個取替で壹圓乃至壹本で五十錢儲る（副業案内進呈）

ラヂオ組立法素人用　配線圖付一冊六十錢

組立法内容及部分品定價表呈ス

大阪市港區市岡元町四丁目　**森口電機商會**　電話西一〇〇二番

製圖通信教授

機械製圖科と建築製圖科あり御尋ねは規則見本實費各科郵券十錢兩科は廿錢封入申込あれ

明治廿八年創立修學者七千餘◆通學は晝夜教授◆大阪北區川崎町四四　大阪製圖學校

通信教授　個人的に地方も指導

産兒調節

少く産んで强く育てよ　一日運るれば一生の損　郵券二拾錢送れば現品と說明書送る

大阪府下中河内郡八尾町西郷四十八　**増田常**

ゴムバンド　ゴム管專門　現物見本進呈

大阪市西區南堀江一丁目　**村林ゴム工業所**

電話櫻川二八七〇・二五九四

工場　神戸市林田區苅藻通二　電話兵庫一〇一九

登録商標　**蛝稿のオゾンパイプ**　特許式

酸化殺菌力强烈なる本器は感冒と呼吸器病豫防に卓効を有しオゾンと香味の合理的作用は禁煙に絶對有効併も經費一日僅一錢半ニセ物あり御需の節は必ず蛝稿と御指定下さい、カタログ進呈各地有名藥店大百貨店に販賣す品切の節は直接本舗へ御注文願ます定價普通丸型一圓以上十圓迄マドロス型二圓半、三圓半、五圓、七圓半

振替大阪四〇三五九　大阪市天王寺區眞法院町　合資會社オゾン商會

尿の病

正しき皇漢藥　長倉泌尿煎

腎臓病・膀胱炎・尿道炎・乳糜尿に二百五十餘年の歴史ある漢方藥！

◇小便が……近く、放尿後まだ殘る樣で氣持惡く、排尿時痛み、尿の色濃く、ニゴリ、血、ウミも。

◇尿道が狹くなりて尿が出難きも。

◇尿量が少く、色濃く、尿中には蛋白質や血球を混じ、腰痛、ウキハレも尿路の荒れ爛れを治し、排尿の回數と分量を整へ尿の病を氣持よく恢復す。

病理療生法進呈・醫藥併用差支なし

藥價　十日分二圓・卅日分五圓　四日分一圓（小包料十錢）

六大都市の百貨店・大藥店に販賣す

漢方藥專門　本館　大阪市南區日本橋筋五丁目　**長倉製藥所**　振替口座大阪三六〇五五番

洋服

地方御注文ハ身長、體重及ビ年齡御記入ノ上送料金卅八錢振替口座ヘ拂込マレタシ（カタログ進呈）

背廣三ッ揃　黒サージ　A拾五圓　B十七圓　紺　黒メルトン　拾貳圓　黒セル同値

ピッケ スコッチ　A廿圓　B廿五圓

詰衿上下・黒サージA十圓B十二圓黒セルA九圓B十五圓

オーバー　黒スコッチ（A五圓・B十圓）・茶黒（A十五圓・B十八圓）

モーニング上衣チョッキ　A廿五圓　B卅五圓・立縞ズボンA六圓B八圓

財團法人　**大阪洋服學校**

大阪中之島　田蓑橋南一丁　電話土佐堀二七五一番　振替大阪一九〇九八番

洋服裁斷講義錄　裁方三種寫眞版入・裁斷料通信教授　獨學用　金貳拾圓・料毎月金壹圓

生徒募集　規則書ハ二錢郵券封入ノ事

は(かけ)しく　義毛

新案特許

婦人あるべき處に毛ふき方

今回新しく改良したる

前頭部若ハゲ・病氣やお產後のウス毛・コテ・キレ・チヂレ・丸ハゲ・かづら・ヤケド・デキモノ・跡

男女

書者や藥に迷はず久本式義毛をお奬めします（說明書要切手二錢）

大阪市浪速區市岡營業所　**久本茂**　電話西一九九〇番

フイチン

神經衰弱治療劑

顯著なる精力減退・病後回復期等に適用し短時日の服用にて根元的に作用し又身體虛弱神經系疾患に用よく其作用を自覺し得らる（錠劑・粉末）

結核性解熱劑

エルボン

解熱・防腐・殺菌作用顯著・結核菌の繁殖を防ぎ肺自ら治癒の力を生ぜしむ・本劑は又感冒・流感・チブス其他傳染性疾患發熱の適劑たり（錠劑・粉末）

御注意　模倣品

大連汽船出帆

●青島上海行（大連丸　九月廿七日／奉天丸　十月一日／長春丸　十月三日）午前十一時

●天津行（塘沽止）（天津丸・天潮丸・長平丸）

●安東行

●龍口行

●長崎・基隆・高雄行（船客搭載）

山西丸　十月四日前十時

山東丸　十月十四日前十時

●敦賀・新潟・伏木行（船客搭載）

河北丸　十月七日後四時

遼河丸　十月四日後七時

●芝罘・清津・雄基行（船客搭載）

營口大連阪神行　龍鳳丸　十月十日

專屬船客取扱店（大連敷島町）

大連汽船株式會社　電話代表番號七一三二番

永和公司

阪神航路扱店（大連濱町）電話七二七五・七八六八

臺灣航路荷客取扱店（大連敷島町）電話五二六五・四六八一

澤山兄弟商會

丸二商會　電話五八八八・四三六四

乘船切符販賣所（大連伊勢町）

ジャパンツーリストビューロー　大連案内所電話五五五四番

日本郵船出帆

●歐洲行（りま丸・對馬丸）

●鹿兒島行　橫濱行　**摩耶丸**　九月卅日午前九時

近海郵船出帆

●橫濱行（宮浦丸　十月十一日／…　十月廿六日）

●天津行（第八東洋丸・淡路丸）

●長崎橫濱行（淡路丸・竹島丸）

●牛莊行（勝浦丸）

●基隆高雄行（岐阜丸・第二蓬萊丸）

朝鮮郵船出帆

●青島仁川行　會寧丸　九月廿六日

●仁川、博多、長崎、鹿兒島、三角行

平安丸　十月一日

朝鮮沿岸各主要港及本會社寄港地は貨物受託發行滿鐵との連絡貨物取扱致候

右汽船出帆日時は天候其他の關係に依り變更することも有之候

水路團體連絡販賣所　キューナード汽船會社　船客業務代理店

近海郵船株式會社大連代理店

朝鮮郵船株式會社大連代理店

日本郵船株式會社　**大連出張所**

大連市山縣通電話（三七三九番・七八四六番・六七一二番）

阿波國共同汽船

●芝罘、威海衛、青島行（第十一共同丸・第廿六共同丸）

●芝罘、威海衛、仁川行（第廿六共同丸）

●芝罘行（第十八共同丸）

●仁川鎭南浦行　長山丸

●天津行　長山丸

滿鐵及貨物連絡取扱致候

大連市山縣通二〇〇番地

阿波國共同汽船會社　**大連支店**　電話六八九一・五〇〇番

切符發賣所（大連市伊勢町）

ジャパンツーリスト・ビューロー　電話五五五四・四七一三番

島谷汽船出帆

●朝鮮、北鮮、北海道行　朝海丸　十月三日

天海丸　十月廿二日

●日本海丸　十月十日

●朝鮮、北鮮、北海道、樺太行

敦賀、伏木、函館、小樽、新潟、船川、函館、小樽、大泊

國際運輸と貨物の連絡輸送取扱致候

島谷汽船株式會社大連出張所　大連市山縣通二一五三

代理店　**大三商會**　電話四七一一・三四八二

乘船切符發賣所　ジャパンツーリスト・ビューロー　伊勢町案内所　電話五五四・四七一三

日清汽船出帆

●青島上海行（長山丸・芦山丸・廬山丸）

代理店　大阪商船株式會社大連支店

乘船券發賣所（大連山縣通）國際運輸株式會社

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行　午前十時出帆

（船名・日付略）

●橫濱行

●天津行

大阪商船株式會社大連支店

川崎汽船出帆

大阪行　船客及貨物

各船（重量噸數五、〇五〇）

運賃　橫濱行上等三十圓並等十七圓

清水、橫濱行

詳細は左記へ御照會被下度候

川崎汽船大連代理店

山下汽船株式會社大連支店　大連市山縣通一九九　電話代表六一八四番

松浦汽船大連出帆

●芝罘行

●安東行

●芝罘、威海衛、仁川行

門司、廣島、尾道、宇野行　照國丸　九月三十日午後四時

門司着　十月十三日前六時

廣島着　十月十四日前六時

今治尾道着　十月十五日後五時

宇野着　十月十五日後五時

廣島より今治、高濱方面へ接續いたします

廣島、愛媛、岡山縣人に限り二割引

滿鐵と貨物連絡致します

大連市加賀町三〇

松浦汽船株式會社　電話六一一一七・六一一八番

國際運輸株式會社

前門正場市町濃信市連大

安富眼科醫院

明敏富安　電話21819番

花！　花印！

秋の地肌の
美しい榮養として
一番大切な
コールドクリームは
ウテナの花印です。

純な
滑らかな白さ
ほんとに、花！
花の精を思はせる
ウテナ花印クリーム

白粉を落すとき
濃化粧なさるとき
夜おやすみになるとき
最善のコールド
ウテナ花印クリームの
美しい榮養を

ウテナ　コールドクリーム　花印

東京本郷二ノ四・久保政吉商店

圖解 滿洲産業大系

全國民の寶典 滿洲産業案内の最高權威

全五册!!

四六倍判天金クロース上製箱入美本・原色刷三葉入・アート紙美術寫眞統計地圖二〇〇餘頁及解説記事三二頁（斯界の諸權威者執筆）・實物見本全國書店に有り

定價 一册 二圓五十錢　送料 鮮 二十七錢 滿 五十五錢

既刊
- 第一卷 農業篇 上　六月廿日第一回配本濟
- 第三卷 鑛業篇 上　七月廿日第二回配本濟
- 第二卷 農業篇 下　八月廿日第三回配本濟

近日配本
- 第四卷 鑛業篇 下
- 第五卷 各種工業篇　十月廿日配本

解説・滿洲に於ける化學工業鑛産資源槪説（滿鐵計畫部 岡崎直喜）滿洲の銀・亞鉛鑛及銅鑛（滿鐵地質調査所 原口九萬）滿洲に於ける鑛業總論（理學博士 村上飯藏）

寫眞及統計圖大略 菱苦土―苦灰土―石灰石・耐火粘土―礬土頁岩・銅・鉛―亞鉛・銀・黄鐵鑛―硫黄・滿俺黑鉛・滑石―石綿―螢石・硅石―長石―方解石・天然ソーダ・石材・其他鑛石

拓務大臣 永井柳太郎・文部大臣 鳩山一郎 陸軍政務次官兼滿蒙資源館長 土岐章其の他諸權威者絶讃の空前絶後の大快著!! 會社・學校・圖書館・全國家庭に必ず備へよ。

十月號出來!!

定價 各五十錢　送料 各二錢　半年三圓 一年六圓

陸軍

飛行機の山岳征服!!　世界陸軍大畫報!!（未發表の珍しい寫眞、飛行機、山岳、雲、兵器軍裝等々）

目次＝關東防空演習觀戰記（技術本部 町田大尉）陸軍と現代化學（科學研究所長 久村少將）滿洲事變の懷古（調査班 藤堂中佐）劍銃と彈丸（陸軍大學教官 寳藏寺中佐）空中より見たる支那軍の陣地と戰鬪法（辻航空兵大佐）山岳と飛行機（大場少將）青少年戰史・クリカラ合戰（新聞班 松井少佐）軍用氣象の話（能登大尉）列國步兵の軍裝と兵器（平野中佐）海外軍事ニュース。

海と空

大觀艦式記念特別號!!（アート刷り美術寫眞三十數頁、空中より又海上より本社寫眞班により撮影せる一大盛觀他誌に斷じて見能はざる記念大畫集!!）

目次＝四大海戰の勝敗とその主將（安保大將）防空演習と航空母艦の威力…（古田中大佐）佛國の潛水艦…（福田少將）航空母艦の話…（岩本中佐）列强の驅逐艦…（廣瀬大佐）ヴエルダン空中戰手記…（機部機關少佐）成層圏征服飛行…（吉田少佐）世界航空記錄畫解・帝國軍艦圖解・グライダーはどうして飛ぶか…（白石工學士）近代海戰は斯くして戰ふ…（江口海軍大尉）

兵營の異聞と秘話

陸軍省新聞班つはもの編輯部著

軍隊生活の表裏を忌憚なく寫せる珠玉の如き名作品在營者は勿論入營者も一般國民も必ず讀め!!

兵營は血氣盛な各種階級の壯丁が集る一社會の縮圖、軍規整然たる中にも人間生死苦樂の種々相を示現しユーモアあり激情あり過誤失態あり悲哀罪惡又なきにしもあらずである。本書はかゝる軍隊生活の表裏實相を忌憚なく表現し興味津々たる中に自ら讀者をして反省自得せしめんとする興味と感激・教育と修養の爲めの好讀物!!

定價三十五錢 送料四錢

好評・軍隊學校 青訓軍教 注文殺到!!

海鼠は斬る（滿洲國旅行記）

陸軍大學兵學教官 陸軍砲兵中佐 寳藏寺久雄著

定價一圓八十錢　送料二十二錢

全陸軍切つての名筆・日滿兩國人必讀の快著!!

陸軍大臣 荒木貞夫閣下題　陸軍大將 眞崎甚三郎閣下序
陸軍大學校長 陸軍中將 廣瀬猛閣下題　陸軍大學校幹事 陸軍少將 今井清閣下序

之こそ國防經濟産業讀本・地歷風俗教科書とも云ふべく滿鮮の山野都市を敍して寫眞あり短歌あり俳句あり興味津々驚異的一大藝術品＝日滿兩國の軍人教育家政治家實業家中小學生は勿論老人にも一般婦人にも必讀必携の良書!! 眞崎陸軍大將曰く『寳藏寺中佐の「海鼠は斬る」を讀むに滿鮮の風物見るが如く其間中佐獨特の指導精神を藏するが如し而して非常時内外の狀勢と滿洲國及朝鮮の實相とに即し其の可なるもの多きを認む。我が國民一同は非常時を認識し各自其本分に向ひ一層邁進するを要するの秋本書は各種の意味に於て好參考書たり。切に一般各位の閲讀を望み之を廣く江湖に推奬す』以て本書の眞價を知れ!!

好評嘖々!!　注文殺到!!　即刻申込め!!

東京市麴町區内幸町一ノ四　振替東京四〇五七四

新知社

測量機及製圖用品　内田洋行　大連市連鎖街　電四八五六番

婦人倶樂部十月號、毛絲編物の本が二册つい て大賣行!!

第二別册附錄　毛絲模様編み二百種

第一別册附錄

流行新型 毛絲編み物全集

一九三三年型の新型ばかり! 從來の型とはガラリ變つて素敵に立派!! 毛絲編みから仕上げまで、極彩色の實物寫眞と圖解を添へ、十分に説明が、親切につくされてゐますから、どんな初心の方にもスラ〳〵と樂く編めます。編物の本が買ふなら『婦人倶樂部』とトテモ大變な評判です。

尚、お子様方へのお土産として附錄本『凸凹黑兵衛』を贈呈!

定價六十錢　東京本郷 大日本雄辯會講談社

三版出來

婦人倶樂部十月號は、大變な賣行です

編物の本が、二册一度に揃ふ、本誌の愛讀者のみが持つ大特典!! 呉々も大急ぎ、お求め下さい。

惚々する様な素敵な模様の編み方二百種發表

毛糸編物なさる方が一番苦心工夫なさるのは何とか變つた模様を出して見たいといふ事です。この要求にピタリと當てはまるのが『婦人倶樂部』の模様編の本です。

各種の編物に自由に應用出來、重寶此上なし

美しい模様編物はトテモ高價ですが、それが、子供もの、男子もの、婦人もの、老人もの、その他各種の編物に自由に應用出來ますから、これ一册あれば、トテモ便利で、素敵な模様の編物が出來るので大評判です。

説明が親切で行届き誰方にも直ぐに出來る

カード式や、從來のもの、缺點をスツカリ改め十分に、よく分るやうに、寫眞や圖解を澤山入れ、説明は極く〳〵丁寧につくしてあります。

賣切れぬ中に、早くお求め下さい。

結核 胃腸衰弱　ポリタミン

消化不良の者にも容易に吸收されて筋肉や血液を補ふ　消化液の分泌を促し食慾を進め併せて胃腸を強くする　衰弱を去り体質を改善して結核に對する抵抗治癒力を強める。

アミノ酸の濃厚劑なれば少量で充分であり香味もよい

小瓶（一圓五五錢）中瓶（二圓五〇錢）大瓶（四圓五〇錢）　全國藥店に販賣す

四百五十醫學博士 御推奬

發賣元 大阪 株式會社 武田長兵衛商店
關東代理店 東京 株式會社 小西新兵衛商店
製造元 大阪 大五製藥株式會社

小兒良藥 ヒヤ音應丸

愛育の祕庫 名藥の鍵

そこにこそ 救急―― 治病―― 保健―― の三大藥効が待つ

主効 カン、ムシ、キヤツケ、ヒキツケ、チエ熱、チュウ、風熱、ムシ熱、チュウ、アマシ、夜泣、消化不良、胎毒下し、ホウソウ、ハシカ、胃腸病、其他小兒

藥價廿錢より十円まで

「育兒之友」無代進呈　新聞名記入本舗へ

大阪 天滿橋 樋屋合資會社　振替大阪二二六〇

K―S―3

リン病コシケ

別府淋藥の大好評

別府鶴水園岩里天然堂家傳別府淋藥は血ウミイタミコシケにキ、メ速く副作用無有効の高貴溫泉名藥にて益々高評を博せり急性慢性症性治らぬ人は七日飲めよ申込次第新品送

藥價三圓、五圓、十圓

産婦人科　岩男醫院

岩男診察室　保科診察室

大連市三河町十八　電話六四六六番

第三版出來

雜誌週間記念の大奮發で――『キング』十月號凄じい大賣行!

初版、再版、忽ち賣切れ、全國大騷ぎの所

●日本一巻大な本誌に添へ「名著」を附錄として贈呈

●非常時同胞必讀の

流石はキング! 奮發の上の大奮發!

諸名家の絶讃 滿天下の熱烈な聲援により

賣れるゝ全く天井知らず

まだ御覽にならぬ方は、又ぞろ賣切れぬ中、大急ぎお求め下さい。

●別册附錄つき五十錢（送料八錢）

東京・本郷 大日本雄辯會講談社（振替東京三九三〇）

洋家具と室内装飾　連鎖街 カンノ洋家具店

チクオンキなら定評ある田中へ　大連伊勢町

赤玉ポートワイン

補血 強壯 ぶどう酒

命は食に!

見るからに 飲むからに 食慾唆る色＝香＝味! 赤玉食前の一杯は 唾液の分泌と胃の活動を促し 剰え それが實際に消化を助ける力となるので 自然 著輕る 手輕うに 榮養補給が出來るわけ!

「食前に赤玉」この良習慣を守りませう

461

博士の共犯關係愈よ濃厚となる

中薗に逃走用の大金を與ふ 峻烈な取調べ進む

自首 した當時は中薗が青柳を博士邸に連れ出し博士と夫人を前に兇行を演じ自分達は餘りの出來事に失神せんばかりであつたと供述してゐるがその後博士も漸次冷靜を取り戻しまた博士の身邊の事情が暴露して來るにつれ自首當時の博士の供述は全く疑問に包まれて信を置けないものとなつた即ち直接下手人は中薗秀雄であることは最早や動かすべからざるものとなつたが博士が殺人共犯と見られる有力な資料として

一、博士は中薗を密偵に使ひ夫人と青柳が密會したり會食又散歩してゐた

事實 をいちく報告させてゐたこと

一、博士が無關係なりとせば何故青柳と中薗が博士邸で會見、兇行を演ずるか?

一、兇行後博士自から被害者の腹部の傷口を縫ひ合せてゐるらしい點

一、死體を博士が手傳つて二階押入れの天井に隱匿した點

一、博士が事件後二十日間も屆出でず遲らせた點

一、博士が中薗に大金を與へたといふ點

等が擧げられ、これを綜合するに博士夫人は被害者青柳を溺愛してゐたので博士は常識的意識を漸次蘇らせて青柳さへなきものにせば……との意志の下に中薗をして

直接 手を下さしめたものではないかと見られてゐる、かくて世界的病理學の泰斗として學界に名高き兒玉博士の秘められた内面生活は漸次白日の下に暴露されんとしてゐる【寫眞は問題の兒玉勝美夫人と殺害された愛人青柳】

有閑マダムの戀愛遊戲の犧牲となつた滿鐵用度課勤務青柳貢(二七)は一體誰の意志と手によつて慘殺されたか?この點は怪事件の核心をなすもので搜査本部では問題のキーん

擢る 博士夫人と情夫中薗の逃走經路を辿り追跡の手を遺憾なく伸ばす一方刑事を八方に走らせ兒玉博士の身邊を徹底的に洗ひ立てゝゐたが廿六日午後に至り博士が中薗に對し逃走のための「大金を與へた」といふ事實が中薗の口から某方面に洩らしてゐる事實を探知し依然博士に對する共犯關係は濃厚となり留置中の博士に就き峻烈な取調べが行はれてゐる、博士が牧田沙河口署長を訊問官

世界的な權威

腦病理學及び微生物學者として 淺川賞を受けた 兒玉誠博士

兒玉誠博士は昭和二年一月滿鐵衞生研究所長金井博士に聘ばれ同所病理科長として入社以來今日に至つてゐるが同研究所において博士は數年來孜々として滿洲獨得の滿洲チフス病原體の研究に從事しつゝひに昨年これに成功、本年四月日本醫學大會において發表すると共に本年度淺川賞を受け世界醫學界を驚かしたが腦病理學及び微生物學者として世界的權威である

博士は大正五年千葉醫專卒業の秀才で卒業後十有八年朝早くから夜九時十時まで研究室にあつて研究に沒頭、結婚後も自宅ではたゞ寢るだけで無く研究室生活に終始したもので青山女學院出身の派手好きな勝美夫人と趣味性格の相違、また博士の餘りに學究的生活がこの悲劇を釀した原因と博士親近の人は觀てゐる、兒玉博士の略歷は次の如くである

兒玉博士の略歷

原籍長野縣小縣郡和村字和八四八二、大正元年三月東京正則中學卒業、五年五月千葉醫專卒、同六年一月北里研究所入所、九年四月慶大助手、十二年獨逸留學、病理學を專攻、十五年一月歸朝、同年二月慶大醫學部講師同六月醫學博士の稱號を受け昭和二年一月滿鐵衞生研究所病理科長として入所、六年十二月十三日研究所長心得兼病理科長事務取扱を經て八年三月安藤所長の

死體隱匿場所中薗の情婦宅

足取りを知る手掛り

青柳の慘殺死體の發見された土佐町四十番地横山キミの家は外觀は一見見すぼらしい露地内の平長屋であるが、內部は玄關があつて廊下の片側に六疊と八疊の二間續きで床の間付調度類も立派なものがあり奇妙に見えるが隱らずもこの家が嘗て大連汽船の船員相手の私娼であることが判明した、この家は横山キミが獨りで住んでゐたが船員上りの中薗はキミと深い關係を重ね愛慾の惡の華に良心も常識も沒却した揚句つひに勝美夫人の新情夫たる青柳殺害の氣持を起したものらしく、その結果中薗が青柳の死體處分を情婦キミの家に求めたものである、中薗の足取りを知る唯一の手掛りは情婦キミであるため沙河口署では青柳の死體發見と同時にキミを引致目下嚴重取調べ中である、二十五日夜はキミを留置、中薗の足取追求に血眼となつてゐる

なほ土佐町の横山キミ宅は中薗の足取搜求の爲め沙河口署員二名が張り込み監視中であるが二十五日午後七時半船員風の男がキミ宅を訪れキミの所在を訊いたので沙河口署員は有無を云はせず取押へ沙河口署に送致した右は元船員鈴木某と云ひ二十五日夜沙河口署に留置中薗の足取りを嚴重訊問してゐるが鈴木は以前中薗は知つてゐるが今は全然知らぬと云ひ切つてゐる(寫眞は死體の隱匿されてゐた家の女主人横山キミ)

疑獄事件摘發か

地方法院刑事部書記を續る 二市議員も參考取調

大連檢察局池内檢察官は過般來地方法院刑事部書記某氏(特に名を秘す)の身邊につき極秘裡に取調中であつたが二十五日突如市內但馬町三六番地市會議員龍澤?藏氏を召喚約三時間に亘り取調べ、引續き市會議員高橋務兵衞氏は任意檢察局に出頭し池内檢察官と會見、重要なる證言をなした模樣で、久しく身邊疑雲に包まれ、兎角の風評を立てられてゐた某氏をめぐる瀆職事件が暴露されるものと見られ檢察局の取調は各方面の注目を惹いてゐる

事件の內容は極秘に附されてゐるが探聞するに問題の某書記が未だ地方法院民事部書記時代市內武藏町五二倉庫業松村久兵衞氏が東拓から金增保物の競賣を申請され恰く競賣實行の憂目を見んとしたが、當時某書記の斡旋によつて妥協成立し辛うじて競賣を免れた事件があつたが、この間何等かの不正介在するにあらざるかと見られ龍澤市議の召喚は當時同市議が東拓囑託として登記事務に關係してゐた點より瀆職事件に一脈關連あるものではないかとの疑惑によるものである、なほ一說には松村氏が當時某高官を通じて天下り式に某書記をして有利に解決せしめたものと云はれてをり、この點は檢察局の取調の進展につれ明瞭にされるであらう、表面的な事件の發端は右の競賣事件によるも更に某書記をめぐつて官有印紙の賣却不正事件も潛んでゐるらしく檢察局では法院內の出來事だけに頗る愼重な態度をもつて取調べに臨んでゐる

東宮少佐負傷す

吉林騎兵第二旅の 掃匪作戰の指導中

【新京電話】佳木斯自衞移民團の產婆役であり現にその指導官たる關東軍司令部附拓務省囑託東宮少佐に吉林省依蘭地區警備司令于琛澂中將の顧問として吉林騎兵第二旅の掃匪作戰指導中去る二十三日右胸部貫通銃創を負ひ二十五日ハルビン衞戍病院に收容し手當中である、同少佐は先般の寶清方面の匪賊討伐に引續き二十三日早朝六時第二旅團司令部と共に樺營地峽心子を發して柳樹河鎭に向ひ前進中匪首陳東山の率ゐる匪賊三、四百が一部落に據つてゐるのを知つてこれに對し當時旅司令部直接の護衞團は僅かに一中隊の兵員であつたが少佐は旅長を促して勇敢な攻擊に移り遂に一部を潰走せしめたが他の一部は堅固なる家屋によつて最後まで抵抗するので少佐は先頭に立ち手兵を激勵して突擊に移つた時に右胸部に負傷したもので豪氣なる少佐はこれに屈せず遂に敵を完全に擊退したものでその功績は滿洲國軍教官として軍隊改造の指導に當る現役將校の平素に於ける多大の辛苦にまさるものであると

孔子廟釋典

廿八日一齊に擧行 特に執政親行の下

【新京電話】滿洲國文教部では建國以來に春秋二季に孔子祭を復活したが來る二十八日は滿洲國民にとつて大祭禮日たる仲秋丁祭に當るので全國孔子廟で一齊釋典を執行することになつた、首都新京では同日午前五時から二道街孔子廟で盛大な釋典を執行するはずで目下執政府並びに文教部で準備中である、今回は王道建國以來最初の大祭典なので特に執政の親行の下に往昔歷代の皇帝がなされた盛儀に基いて執政は自ら廟に詣でて禮典を閉ぢ式典の儀を行はれるはずである、因に同日午後六時より東三馬路誠春會館で記念大講演會が開かれる

千圓進呈せよ

「當局に報告せば御禮申す」と イヤ恐しい脅迫狀

二十五日午前九時頃市內連鎖街柳屋商家具陶器商山内土佐治郎方のボーイ築(二)が玄關口を掃除中三十恰好の紳士風の男が現れ築をつかまへ「これを主人に渡せ」と云つたまゝ何れかへ姿をくらましてしまつたが、ボーイ築は店用の請求書と思ひ込み家內に持ち込み開封したところ意外にも左の如き脅迫狀だつたので、あわてゝ小崗子署に屆けて來た

貴下相變らず不正商賣されてゐる由我々愛國者としては非常に痛感にたへず、今回大連に愛國正義團創立に當りこゝに金千圓也進呈せよ、萬一當局に進言の場合は我々團員御禮を致す、貴下の如き大惡人は何事も御解りと存ず、その金は、常盤橋電車待合所時計下へ紙包で、午後四時までに置いておけ、大連愛國正義團青年部(原文のまゝ)

とあり、小崗子署では時節柄愛國正義團創設の機運にあるので事重大なりと私服刑事を總動員し常盤橋を中心に全管內要所々々に張り込ませ犯人の逮捕に緊張の色を見せてゐたが、約束の時間四時に至るも犯人は來らずたくみに逃がれたらしいので目下全滿各署と連絡搜査中である

清津新京間の直通旅客列車

十月十日から運轉

清津、新京間(清津—上三峰—南陽—敦化—吉林—新京)の直通旅客列車は北鮮鐵道滿鐵移管實現と共に實施の筈であつたが直通連絡規定その他の決定がおくれたゝめ十月十日から運轉されることゝなつた、運轉は一日往復共一回發車で滿洲國内だけは匪賊の警戒から當分の間警備運轉を行ふ筈

臨時競馬

三日目成績

秋季臨時大競馬三日目午後成績左の如し

[illegible]

今月五日から歸らぬ"貢"

淚ながらに母は語る

殺された青柳貢君の自宅、市內對馬町六二番地には母親いち(六〇)さんと弟二人、妹一人の五人暮しでさゝやかな文房具店を營んでゐるが第二人は病身のため一家の家計は貢君の双肩にかゝつてゐる、二十五日午後慘劇を聞いて同家を訪ふと母親いちさんは「エ、貢は殺されましたか?」と記者の報せに初めて事件を知り恥も外聞もなくワツとばかりに疊に打ち伏したが記者の問ひに對し淚ながらに語る

貢は今日まで私に心配一つも掛けたこともなく、一晩として外泊したこともありません、あんな柔順な子がどうして殺されたのでせう、貢が姿を消したのは五日午後七時三十分ごろ「お母さん遊びに行つて來ますよ」と洋服のまゝ外出しましたがそれ以來杳として消息を絕つたので警察へ搜査願を出して置いたのです、虫が知らせといふのか、もしやと思つて胸騷ぎがしてゐる

以前から知られてゐた

勝美夫人と青柳との戀愛關係は昨年末出來たものであるが本年一月には既に他の關係者に知れてゐたらしく本年一月勝美夫人が出入する常盤橋際日本メソヂスト教會に何者か知れぬが男の聲で電話をかけ「教會の婦人會員である兒玉博士夫人は青柳といふ男と密通してゐるがお前の教會のこの不名譽な出來事を何とするか」と二回も電話をした者があり此れを受けた齋藤牧師が相手の名を訊いても答へずに電話を切つて了つたが二十五日この兇行を知つて齋藤牧師は當時の疑問の電話の主を不審がつてゐた

脅迫の電話があつた

安部勝一氏談

被害者青柳貢と親友の滿鐵用度課勤務安部勝一氏は事件の外廓に就き語る

最近會社の方へ男の聲で青柳君に脅迫がましい電話をかけるものがあり、それが中薗であつたことは云ふまでもないことでその都度僕は青柳君に忠告してゐたのです、博士夫人と青柳君とがどの程度の交渉があつたかといふことは青柳君も話さぬし私も突き込んで尋ねなかつたから多くは知らぬが、夫人に時々連れ出されて散歩位はしてゐたのは事實です、青柳君は眞面目な男で自分の方から夫人に何かを持ちかけるといつた大膽さはありません、全く引きずられて不幸な運命に遭遇したのです

任命と同時に心得を解かれ病理科長となり今日に至る(寫眞は兒玉博士)

ましたが矢張り殺されたのですか、犯人は中薗ですッて……私は顏は見たことはありませんが名前は聞いてゐました、博士邸でしかも博士と奧さんの前で殺されたとしたら勿論三人ぐるになつて貢を殺したのに違ひありません、貢は奧さんを嫌つてゐました、時々奧さんから電話で誘ひが掛けられて來ると貢は逃げるやうな態度を執つてゐました、奧さんのお腹の子は決して貢のたれではありません、あんな柔順な子がそんな關係にあつたとはどうしても思はれません(寫眞は母親いち)

ダンスホールに出入する夫人連

滿鐵社員の噂に上る

兒玉博士事件は關係者の大部分が滿鐵社員であり殊に兒玉博士は滿鐵の社寶視された世界的學者だけに二十六日の滿鐵本社はどこへ行つてもこの問題で持ち切つた、山崎理事を訪れると、いきなり「驕つた問題が起きたものだなー」と

顧みかへて

兒玉博士夫人がよくダンスホールに出入するといふ噂は僕も薄々聞いてゐたが、他にもそんな連中があるとの事であまり氣にも留めてゐなかつた、この事件があつたからとて滿鐵社員の風紀がどうかうとはいはれないが苦しい家庭の紊れてゐるところがあつたらこれをよい見せしめにして早く改めて欲しいと思ふ、僕もこれでダンス反對黨になつた、こゝに夫と一緒でなく女一人でダンスホールに出入する者は嚴に戒しめたいと思ふ

社員の風紀の總元締をしてゐる土肥人事課長の談

困つた問題だ、滿鐵社員關係の事件となると一層注意を惹きやすいんでね、冷やかな學者の家庭に得て起り易い事件で一般の家庭には稀有だが、女だけのダンスホール入りはやめることにしたいね

なほ滿鐵社員夫人連でダンスホールに出入するもの、氏名が社內でしきりに噂されてゐるが、ダンス問題がこれをきつかけに再び滿鐵社員間に是非の論議を起さんとしてゐる

國際外交の裏

雜誌『維新』十月號の附錄、杉村陽太郎氏執筆の『祖國に歸りて』は外國の祕密や裏の裏までもさらけ出してゐるので、實に珍らしい讀物だと大評判になつてゐる。

防疫班特派

農安地方のペスト

【新京電話】農安地方のペストはなほ終熄せず去る二十一日までの死亡患者二百九十六名を出してゐるが民政部では同地方ペスト防疫のために二十六日醫師廣木彥吉氏を班長とし、同じく醫師平石廉人氏外六名、防疫夫三名で組織せる防疫班を特派したが一方乾安地方に發生せるペストの實地調査のため同日醫師高坂知甫氏外二名を特派、藥品その他衞生材料多數を携帶しペスト絕滅を期して徹底的防疫に努めることになつた

全滿學生劍道聯盟構成

十月發會式

同聯盟では每年六月第一日曜に全滿學生劍道個人選手權大會を又十一月第二日曜には聯盟リーグ優勝戰をまた春秋二回全滿中等學校優勝大會を開催することゝなりその前途大いに期待されて居る

豫てより奉天醫科大學、旅順工科大學、南滿工專の三劍道部間に全滿學生劍道界を統一する機關の設置要望あり、前記三校劍道部では既設の滿洲劍友會とも種々協議し又學校當局の諒解を得たので愈々前記三校を以て全滿學生劍道聯盟を構成することに決し、來る十月八日大連で盛大なる發會式を開催し全滿學生劍道界の淨化向上と獎勵普及を計ることゝなつた

滿洲國の領海問題

從來滿洲國には判然たる領海の規定がないため關係者は時々不便を感じ將來問題を惹起する樣な事なきにしもあらずと憂慮され關係官廳、當事者間では屢々同問題につき協議を重ねてゐたが、廿六日安東方面より警備船海鳳號の只木艦長も直ちに水上署、海務局を訪れ具體的問題につき種々協議をなした、近い內に確然とした領海規定が成立する模樣である

聖愛醫院集談會

二十七日午後四時より聖愛醫院講堂で第十七回集談會を開催演題として
一、妊娠腎並に妊娠浮腫に對するロデアリンの實驗例　桑野稔
一、胎兒自己廻轉に關する臨床的並にＸ線學的觀察　的禁中寬
一、結腸疾患のレントゲン寫眞供覽　松岡杏太郎
一、靜脈的ピエログラフイーに就て　松岡一彥

安樂椅子

今度の兒玉博士事件は色々な意味で滿鐵幹部家庭の話題の中心となつてゐるが、御亭主達は何れも大恐慌を來してゐる。

……◇……

二十五日夜、十二時宴會、二次會と心ならずも時を過して歸宅した滿鐵〇〇部〇〇君が玄關を上ると柔順らしい夫人が「あなた滿日の號外を見ましたか」「いや知らん」「これを御覽なさい」

……◇……

「だから、あなただつて勝手に夜更かしなどなさると私にも覺悟がありますよ」と夫人にきめつけられた〇〇君「いや、僕だけは斷然大丈夫だ」とホウくの體、兎に角課長さん達は何れもこの手で攻められて、大タヂタヂ。

【黎明熱河斷描】本日休載

颱風圈內 (105)

畑耕一作　山田喜作畫

反逆者 (八)

「まあ、船で……どうしませう。巖也さんは海上へ、一人連れてゆかれたのです。あゝ一人……」

織江は半ば喘ぎ半ば叫んだ。

「なに、御心配には及びません。あの首領です。力と術とをもつてゐる首領です。僕も一時は不安な感じを抱きもしましたが、考へて見れば、どれだけの人數がどんな方法によつて打つてかゝらうと、首領の智謀の前には、なんの威力もないのです。僕は首領の無事を信じます。決して憂ふるに足りんです。なあに、大丈夫！指一本、奴等が首領に觸つたが最後忽ち反對に海の中へドンブリですよ。はつはつはつ！」

銀次は朗らかだつた。

「……ですけれど……」

「それがいけません。首領の身の上に關する限り、もしやさかですけれど、さかの言葉は不要です。首領の力と術との前には、どんな力と術も價値はないのです。かうした點は、失禮だが、あなたや乙彥さんよりは、僕がよく知つてゐる。今までにさうした事實を、眼のあたり幾度か見たのです。大丈夫です。首領は今までの生活を淸算して、新しく眞實に生きる自分を築きあげるのだと仰有つた。首領の生命はそのためにいよいよ大切です。滅多に奴等の自由にさせてならない生命です。首領だつて充分の用意はあるにちがひない。いや、大丈夫！今頃は奴等が首領の足もとに手をついて、自分等の生命乞ひをやつてゐるに違ひないです。はつはつはつ。ほんとうにそこを見物したいな。きつと面白い圖だらう。はつはつはつ！」

「はつはつはつ！さうだ。きつと面白い圖だらう。さう言つて無理にも安心しやうとしてゐる貴樣達の顔は——な」

思ひもよらぬ、ドアのそとの笑ひ聲。

「誰だつ！」

銀次は身構へした。

「お邪魔させて貰はうかな」

グッと開けて、無遠慮に入つて來たのは、斯波融輔だつた。

「銀次、しばらくだな」

「おゝ、手前か」と、銀次はすぐ低い嘲笑を返した。「しばらくもねえもんだ。毎日のやうに、こゝへ顔を見せてるじやねえか。おれあ、ちやんと知つてゐるんだぞ。手前が鐵子さんを誘惑してるなあ」

「誘惑？——ふむ、女のほうから血道をあげて、やいやい言つて來る僕に、なにがどうした誘惑なんだ？」と、融輔は肩を搖つて「やあ、乙彥さん。君がすべてを知つておいでだ。ねえ、鐵子さんはむかしつから僕を愛してゐたでせう？ねえ、どうです？僕があなたの以前のお宅をよくお訪ねしてゐた頃から——ね。はゝゝゝ」

乙彥は應へなかつた。烈しい憎惡の眼を與れたゞけだつた。

「はゝゝ。こいつはいけない。乙彥さんもどうやら僕の味方じやないやうだ」

「斯波！」と、銀次は油斷なく、彼の前に立ちはだかつた。「手前は天岸さんの裏切者だ。その手前が、かうして立聞きしてゐるとは……」

「うむ、そりやあ無論理由と目的があるよ。こんな夜更けに、たゞ氣まぐれや物好きだけで、廊下鳶も出來なからうからな。はつはゝゝ」

滿日俳壇

殘暑　　神戸　島田青峰選

西田碧天樓

雲走るこゝ山寺の殘暑かな
秋暑く近頃多き地震かな
山深く來て尚殘る暑さかな
誘はるゝまゝ來し山の殘暑かな
いつまでも讀む燈に秋の暑さかな
句座立ちて殘暑の庭に踞みけり
山に雲湧きて殘暑の道を往く
秋暑し舟をあがりし坂道
訪れ來て讀めぬ碑文や秋暑し
朝々を曇りて秋の暑さかな
本降りとなつて暮れたる殘暑かな
句碑探す道せばまりて秋暑き
慕ひ來し句碑に殘暑の花紅し
摩耶の峰殘暑の雲を吐きにけり
秋暑き夜の街一人歩きけり
旅日記獨り書く夜の殘暑かな
旅馴れぬ宿に物書く殘暑かな
動かざる入道雲や秋暑し
風いつか雨となりたる殘暑かな
秋暑くまだ降りたらぬ曇りかな
陽を浴びて庭一面の殘暑かな
雨雲の覆ひ來りて秋暑し
書き了へし師への便りや秋暑し
一封を書けば殘暑の日落ちたり

大連　高木春陵

高粱の穗垂れの見えて殘暑かな
干物に鳴くかなかなや秋暑し